

教科	科目		担当者	
国語	現代の国語 a	単位数： 2単位		
指導目標				
学習単元：論理的な文章、実用的な文章				
(1) 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する。				
(2) 文章の構成・図表などに含まれている情報を解釈する。				
(3) 根拠の示し方、説明の仕方を学び、自分の考えを深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新編現代の国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 新編現代の国語準拠ワーク 第一学習社 新版五訂カラー版新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味 ②思考・判断・表現：評論の読み方を学ぶ ③主体的に学習に取り組む態度：〇〇になるために、何をすればいいのか、という思考を学ぶ	書き手の意図をつかむ。 「目指す世界の地図を作る」鴻上尚史 ①地図を作るという比喩に込められた筆者のメッセージを読み取る。②表現について筆者の意図や効果うい考える。	第1回 第2回①②
2		①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味・按分作り ②思考・判断・表現：形式段落と意味段落、例やたとえと筆者の考えを分けて読み、要旨をまとめる。③自分の考えを持つ。	文章の展開を把握する。 「時間とは何か」池内了 ①具体例を手がかりに、人間は時間をどのようにとらえているかを読み解く。②論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。	第3回①② 第4回①②
3		①知識・技能：漢字の書き取り・語句・接続詞・副詞②思考・判断・表現：東西の対比を読み取る。③主体的に学習に取り組む態度：四字熟語の意味から搭載の考え方理解し、自分の考えを持つ。	対比を読み取る 「水の東西」山崎正和 ①二つの文化の比較を通じて、それぞれの長を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。②日本と西洋の違いをみつけ、考察する。	第5回 第6回①②
4		書き言葉の技術 文章トレーニング①文章構造を理解する。②要約する。③比較する。④意見文を書く。100次要約の練習をする。	日常の中の文章 実用文の読み方、写真を文章で説明する、広告コピーを書く、表現の工夫を読みおる	
5		総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
国語	言語文化 a	単位数： 2 単位		
指導目標				
学習単元：古典・古典を解説した文章・近代以降の文学的な文章				
(1) 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める。				
(2) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。				
(3) 深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばす。				
(4) 言葉がもつ価値への認識を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全 5 回	教科書・学習図書	数研出版 新編言語文化
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 2 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 新編言語文化準拠ワーク 第一学習社 新版五訂カラー版新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 % 以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		古文：古文に親しもう ①知識・技能：歴史的仮名遣いの読み方・古語の意味。歴史的背景 ②思考・判断・表現：有名作品に触れる。③主体的に学習に取り組む態度：冒頭部分を暗唱する。	言語文化と古文 古文の世界を楽しむ いろは歌・竹折物語・伊勢物語・古今和歌集仮名序・土佐日記・枕草子・源氏物語・方丈記・平家物語・徒然草・おくのほそ道	第 1 回 第 2 回①②
2		漢文：日本語の中に生きる漢文 ①知識・技能：訓読の決まりを覚え、書き下し文にする。②思考・判断・表現：格言の意味を覚えて使えるようにする。③熟語の成り立ちを覚え、漢字検定に挑戦する。	言語文化と漢文 訓読のきまり・格言	第 3 回①② 第 4 回①②
3		小説：小説の読み方を学ぶ、登場人物の感情を読み取る。 ①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味 ②思考・判断・表現：題名が持つ意味を考える。③主体的に学習に取り組む態度：自分にとっての思い出の食べ物について文章を書く。	言語文化と近現代 日本語を彩る地域のことば 「とんかつ」三浦哲郎	第 5 回 第 6 回①②
4		古典文学史年表 中国文学史年表 近現代文学史年表	漢字伝来から平仮名の誕生、国風文化へ、歴史の流れと文学の流れをつかむ。	
5		復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語a	単位数：2単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 論理国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 データ・図表を活用して展開された主張を理解する	共同体のいま 「家族化するペット」①	
2		○/○ (△) □限 主張や根拠の妥当性・信頼性などを検討・吟味する	共同体のいま 「家族化するペット」②	レポート 第1回 第2回
3		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など、自分の考えを述べる。	自己と他者 「贈り物としてのノブレス・オブリージュ」①	レポート 第3回 第4回
4		○/○ (△) □限 相手を意識してやさしい日本語で書くことの意義を理解する	自己と他者 「贈り物としてのノブレス・オブリージュ」②	レポート 第5回 第6回
5		○/○ (△) □限 復習 評論文の読解 筆者の主張を理解し、整理する中で自分の世界を広げ考えを深める。	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語b	単位数：2単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 論理国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ほかの教材文や参考文、資料と比較し考えを深める。	政治と社会 「であることとすること」①	
2		○/○ (△) □限 わからないことや、さらに知りたいことなどを調べる	政治と社会 「であることとすること」②	レポート 第1回 第2回
3		○/○ (△) □限 対立した考え方を分析、理解する	政治と社会 「であることとすること」③	レポート 第3回 第4回
4		○/○ (△) □限 データや図表などを活用して考えを深める。	日本語の多様性 「敬語への自覚・他者への自覚」	レポート 第5回 第6回
5		○/○ (△) □限 復習 評論文の読解 筆者の主張を理解し、整理する中で自分の世界を広げ考えを深める。	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	文学国語 a	単位数： 2単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 文学国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「文学国語 a」を学習するにあたって ■小説の内容や構成、展開を理解する。 ■小説の情景や心情の描写を味わう。	○/● (△) □限 小説「山月記」①	
2		○/○ (△) ※限 ■文体の特徴や表現技巧について理解する。	○/● (△) ※限 小説「山月記」②	レポート 第1回 第2回
3		○/◎ (△) □限 ■作品の主題や成立した背景を踏まえ、 解釈を深める。 ■随想について理解を深める。	○/☆ (△) □限 小説「山月記」③ 随想「陰翳礼讃」①	レポート 第3回 第4回
4		○/◎ (△) ※限 ■作品の内容を踏まえ、人間・社会・自然などに対するものの見方を深める。	○/☆ (△) ※限 随想「陰翳礼讃」②	レポート 第5回 第6回
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	文学国語 b	単位数：2 単位		
指導目標				
(1) 韻文（俳句・短歌・詩）に関する基礎知識を身につけさせる。 (2) さまざまな作品について触れ、その面白さを味わわせる。 (3) 作品を通じて、さまざまな視点を身につけさせ、多角的な視点から物事を判断できる力を身につけさせる。 (4) その他にも多くの作品を紹介し、自主的に、かつ能動的にそうしたものに触れる力を養わせる。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 文学国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		■短歌についての基礎知識■さまざまな短歌に触れる■短歌の構造を知る■気に入った短歌を取り上げ、それについての鑑賞	短歌 十三首	
2		■俳句についての基礎知識■さまざまな俳句に触れる■俳句の構造を知る■気に入った俳句を取り上げ、それについての鑑賞	俳句 十五句	レポート 第1回 第2回
3		■文学史、詩人について知る■詩についての基礎知識■詩の構造について■詩的表現から作者の気持ちを推し量る	永訣の朝	レポート 第3回 第4回
4		■さまざまな韻文を読む	レポート復習 知識の整理	レポート 第5回 第6回
5		レポート復習 質問等の受けつけ	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究 a	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 2時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	・古典探究を学習するにあたって ・和歌・俳諧 ・説話(二)	・古今和歌集	第1回・第2回
2		・随筆(二) ・評論	・枕草子 ・無名草子	第3回・第4回
3		・物語(二) ・日記	・源氏物語 ・更級日記	第5回・第6回
4		・漢文編第1部	・故事・寓話 ・漢詩の鑑賞	
5		・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回 学習支援授業第1回～第5回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究 b	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 2時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・ 古典探究を学習するにあたって ・ 説話 (一) (二)	・ 古今著聞集	第 1 回・第 2 回
2		・ 物語 (三)	・ 平家物語	第 3 回・第 4 回
3		・ 随筆 (一)	・ 方丈記	第 5 回・第 6 回
4		・ 説話 (二) ・ 漢文編第 II 部	・ 宇治拾遺物語 ・ 孟子	
5		・ 総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回 学習支援授業第1回～第5回	

教科	科目		担当者	
国語	国語表現 a	単位数 : 2 単位		
指導目標 言葉と表現について考え、理解を深める。 「書く」事を中心に、文章表現への興味・関心を持たせる				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	教育出版 国語表現改訂版
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 2 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	第一学習社 新版五訂カラー版新国語 便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		言葉に替える 言葉を届ける 人の話を聞きながら、メモが取れるようにする。話のポイント 5W1H 伝わり易さを目標に、表記の基礎を学ぶ。	文章表現の基礎 表記の仕方 現代仮名遣いによる表記 漢字と仮名の使い方 メモをとる、メモで伝える 原稿用紙の書き方	第1回 第2回
2		言葉を届ける 手紙の形式を守りながら、気持ちを込める工夫をする。 敬語や手紙特有の表現を学ぶ。 季節を感じる心を育てる。	表現の実践 手紙の書き方 時候の挨拶 便せん・封筒の書き方 はがきの返信の仕方	第3回 第4回
3		意見を論理的に述べる。 プレーストリーミング 論拠をはっきりさせて意見を書く練習をする。反対意見も考えさせる。 セルフディベート	表現の実践 小論文 文章の型と構成の方法 立論・反論・主張 序論・本論・結論	第5回
4		400字の意見文を書く。 テーマの理解 意見、論拠、予想される 反対意見、反論 具体例 の構成を3段落で行う。題名は最後に決める。	表現の実践 テーマにそって意見文を書く。 構成ノートの作成 下書き、推敲、清書	第6回
5		総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語表現S実践の敬語	単位数： 1単位		
指導目標 敬語の基本を学習し、普段使っている敬語を振り返り、アルバイト先など社会で実際に役立つ適切な敬語の使い方を学ぶ。				
学数支援授業	あり	授業数：全2回	教科書・学習図書	国語表現改訂版 教育出版
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	社会生活における敬語の役割に気づかせる。 「人とつながる言葉」待遇表現 教科書、パワーポイントを使い、間違った敬語、間違いやすい敬語に気づかせる。	待遇表現とは	第1回・第2回
2		敬語の基本を学習する。 尊敬語・謙譲語・丁寧語。 社会生活の場面において、よく耳にし、よく使うフレーズから正しい敬語を考える。	具体的な敬語の使い方	第3回
3		間違いやすい敬語の使い方の具体例を提示し正しく直す。	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第2回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習 b 国語の常識	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能のうち、漢字、慣用句、ことわざ等を使いこなす力を身につけるようにする。 (2)常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書けるようにする (3)言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	国語の常識plus 明治書院
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 2時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上		5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	▼常用漢字表にある漢字の読みと書き	漢字の音訓	第1回・第2回
2		▼漢字の音訓	同音異義語・同訓異字	第3回・第4回
3		▼熟語の構成、読み・書きと意味 ▼四字熟語	熟語の成り立ち 漢字の意味 漢和辞典の使い方	第5回・第6回
4		▼よく使う故事成語・慣用句・ことわざ の意味と用法	故事成語 ことわざ・慣用句	
5		▼日本語クイズ ▼総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回 学習支援授業第1回～第5回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習 e 日本語	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)我々が日常、読み・書き・聞き・話している日本語というものを、母語だからという甘えを捨て、改めて見直し正しく適切に使えるようにする。 (2)文化庁の調査では、日本語の運用に不安を抱く人の約8割が敬語についてのそれを訴えている。この現状をふまえ、特に正しい敬語の修得に時間を割き、社会に出て恥ずかしくない人材を育成する。 (3)日本語検定3級/4級受検者(任意)にも対応できるように、本試験で出題される 敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 の六つの分野について対策問題集を中心に演習と解説を繰り返しながら修得する。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数： 4時間以上		
メディア視聴			副教材	東京書籍 「日本語」中級 東京書籍 ステップアップ日本語講座中級
レポート	全 6 回 (ステップアップ全1冊)	合格枚数 全6回分		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	・ 敬語	・ 敬語とは・敬語の三種類と五分類・状況に合わせた敬語の使い分け・第三者を交えた敬語・電話や手紙における敬語・誤った敬語の使い方・さまざまな敬意表現・敬語学習のまとめ	第1回・第2回
2		・ 文法 ・ 語彙	・ 用言の活用と接続・可能動詞/受身と使役・文のねじれ・接続語・助動詞・助詞 ・ 言葉と言葉の関係・類義語・対義語	第3回・第4回
3		・ 言葉の意味 ・ 表記 ・ 漢字	・ 多義語・言葉の使い方・慣用句 ・ 漢字/送り仮名/仮名遣いの誤り ・ 熟語の構成・形の似た漢字・同音異義語・同音異字・同訓異字・四字熟語とその適切な使い方	第5回・第6回
4		・ 総復習・総合問題		
5		・ 総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回 学習支援授業第1回～第5回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習a漢字	単位数： 2単位		
指導目標				
<p>国語を適切に表現し、的確に理解するための基礎力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字をきちんと読み、正しく書けるようになる。 ・漢字の成り立ち、歴史を知ることにより、国際的視野から日本文化を考える契機とする。 ・漢字能力検定3級合格を目指し、漢字検定対策問題に取り組む。 				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	自主教材
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 2 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	新国語便覧 第一学習社
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		漢字能力検定の説明	漢字の成り立ち 六書の理解 漢字の正しい読み	
2		漢字の成り立ちについてのDVD鑑賞 部首の役割を理解する	漢字の部首を見極める	
3		漢字の読み 音読み・訓読みについての理解する 筆画と筆順を確認し美しい文字を書くために筆順が大切だと言うことを学ぶ	漢字の成り立ち 六書の理解 漢字の正しい読み	
4		熟語の構成 漢字一つ一つの持つ意味を考える 同音異義語・同訓異字語	四字熟語・対義語・類義語 漢字だけではなく、その意味を理解する	
5		漢字検定3級過去問題に挑戦	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S	単位数： 1 単位		
指導目標 われわれが普段使用している日本語を改めて見直し、正しい日本語を身につけることによって語彙を豊富にし、そこから豊かな人間性をも育む。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	新国語便覧 第一学習社
レポート	全 3 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	多くの人が間違っ てしまいがちな幾つかの語句、表現について今一度確認をする。	間違いやすい語句	第1回・第2回
2		対義語・類義語・ことわざ・慣用句について、演習—— 合わせによって学習させる。 レポートの一部をパワーポイントで説明し漢字の使い分けを意識させる。	対義語・類義語・ことわざ・慣用句	第3回
3			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第2回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第2回	

教科	科目		担当者	
国語	小論文	単位数：2単位		
指導目標				
(1) 小論文の基本構造を習得する。 (2) さまざまな小論文に触れさせ、文章の構成が分かるようにする。 (3) 多くの社会的情報をインプットさせ、さまざまな視点を獲得する。 (4) 小論文として認められる文章を書けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 小論文チャレンジノート
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	適宜配布
レポート	全6回	合格枚数 6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	■小論文と作文の違いを理解させる。 ■表現力をアップさせるためには何が 必要かを認識させる。■時事問題を取り 上げさせ、それについての小論文を 書かせる。	小論文チャレンジノート VOI.1	
2		■どう書けば小論文になるかを知らせ る。■サンプルを用意し、どのような 構成で仕上げられているかを習得させ る。■文章作成をさせる。	小論文チャレンジノート VOI.2	レポート 第1回 第2回
3		■より説得力のある文章を書かせるた めにはどうしたらよいか考えさせる。■社 会的な問題を取り上げさせ、それにつ いての自身の考えを論理的に述べさせる。	小論文チャレンジノート VOI.3	レポート 第3回 第4回
4		■具体例を挙げて自分の意見を述べるこ とができるようにする	■大学入試過去問	レポート 第5回 第6回
5		単位認定試験：(小論文模試) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回		

教科	科目		担当者	
国語	演劇研究Ⅰミュージカル	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の文化としての演劇に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、舞台表現を通したものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、演劇的表現に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 (4)演劇の歴史、ミュージカルの歴史とその価値について理解を深めることができるようにする。				
学数支援授業	あり	授業数：全1回	教科書・学習図書	自主教材
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：5時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	自主教材
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/		<ul style="list-style-type: none"> ・演劇の基礎知識 ・ミュージカルの基礎知識 	第1回
2			<ul style="list-style-type: none"> ・演劇の起源 ・日本における演劇の歴史 ・宝塚歌劇団と小林一三 ・劇団四季と浅利慶太 ・トニー賞 	第2回
3		ミュージカル鑑賞の心構え 観劇マナー	ミュージカル鑑賞	第3回
4			ミュージカル鑑賞	第4回
5			ミュージカル鑑賞	第5回
6			ミュージカル鑑賞	第6回
				単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S a	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 数と式 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をする。 ②集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 ③二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 ④不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求める。				
(2) データの分析 ①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ②コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 ③具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S a」を学習するにあたって ・簡単な無理数の計算 ・集合と命題	○/● (△) □限 数と集合①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・式の展開と因数分解 ・一次不等式	○/● (△) ※限 数と集合②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・データの代表値 ・分散、標準偏差	○/☆ (△) □限 データの散らばり	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・散布図、相関係数 ・仮説検定の考え方	○/☆ (△) ※限 データの相関	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S b	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 二次関数				
①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。				
②二次関数の最大値や最小値を求める。				
③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S b」を学習するにあたって ・関数 ・1次関数のグラフ	○/● (△) □限 二次関数とそのグラフ①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・二次関数のグラフ	○/● (△) ※限 二次関数とそのグラフ②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・二次関数の最大値・最小値	○/☆ (△) □限 二次関数の最大・最小	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・グラフと二次方程式 ・グラフと二次不等式	○/☆ (△) ※限 二次関数と二次方程式、二次不等式	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S c	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 図形と計量				
①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。				
②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。				
③正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S c」を学習するにあたって ・直角三角形 ・三角比	○/● (△) □限 三角比①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係	○/● (△) ※限 三角比②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・鈍角の三角比 ・正弦定理	○/☆ (△) □限 三角形への応用①	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・余弦定理 ・三角形の面積	○/☆ (△) ※限 三角形への応用②	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学Ⅱ S a	単位数：1単位		
指導目標 (1) 複素数と方程式 式の計算、複素数と方程式、式と証明を学習する。 2次方程式の理解を深め、高次方程式が理解でき、解けるようになること。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学Ⅱ S a」を学習するにあたって ・式の展開と因数分解 ・二項定理 ・分数式の計算	○/● (△) □限 式の計算	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・複素数 ・2次方程式の解と判別式 ・解と係数の関係	○/● (△) ※限 複素数と方程式	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・多項式のわり算 ・因数定理	○/☆ (△) □限 剰余の定理・因数定理	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・高次方程式 ・等式の証明 ・不等式の証明	○/☆ (△) ※限 高次方程式・式と証明	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅡSb	単位数：1単位		
指導目標 (2) 図形と方程式 点と直線、円を学習する。 直線、円という代表的な図形について方程式で表すことおよび領域について学習する。 解析幾何の発想を学習し、図形の状況を文字式で考え、その式を解き調べるといった見方を身につけさせる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学ⅡSb」を学習するにあたって ・直線上の点 ・平面上の点	○/● (△) □限 点について	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・直線の方程式 ・2直線の関係	○/● (△) ※限 直線について	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・円の方程式 ・円と直線	○/☆ (△) □限 円について	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・軌跡 ・不等式と領域	○/☆ (△) ※限 軌跡・領域	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅡSc	単位数：1単位		
指導目標				
(3) 三角関数 三角関数の基本をもとに、その特長を考え、活用することができるようにする。				
(4) 指数関数・対数関数 指数関数・対数関数の基本をもとに、その特長を考え、活用することができるようにする。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学ⅡSc」を学習するにあたって ・一般角と三角関数 ・三角関数の相互関係 ・三角関数の性質 ・三角関数のグラフ	○/● (△) □限 三角関数	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・加法定理 ・いろいろな公式 ・弧度法	○/● (△) ※限 三角関数の応用	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・指数の拡張 ・累乗根 ・指数関数のグラフ	○/☆ (△) □限 指数関数	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・対数 ・対数の性質 ・対数関数のグラフ ・常用対数	○/☆ (△) ※限 対数関数	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学Ⅱ S d	単位数：1単位		
指導目標				
(5) 微分法と積分法				
1. 微分法 微分法という方法により関数の値の変化を調べるということを理解させる。				
2. 積分法 面積が積分法によって求められることを理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学Ⅱ S d」を学習するにあたって ・微分係数 ・導関数 ・接線	○/● (△) □限 微分法の基本	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・関数の増減 ・関数の極大値、極小値 ・関数の最大値、最小値	○/● (△) ※限 微分法の応用	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・不定積分 ・定積分	○/☆ (△) □限 積分法の基本	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・定積分と面積	○/☆ (△) ※限 積分法の応用	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅢS1	単位数：1単位		
関数 具体的な分数関数と無理関数および関数(一般)の逆関数と合成関数 米具体的な関数として分数関数と無理関数を取り上げ習熟させるとともに、逆関数や合成関数の見方によって今までの関数の理解を深める。 数列と関数の極限 米無限数列、無限級数に関する学習によって、数列の極限概念を理解する。また関数についての極限や連続性について考察する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	最新 数学Ⅲ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 「数学ⅢS1」を学習するにあたって 分数関数と無理関数 (1) 分数関数とそのグラフ (2) 分数関数の応用 (3) 無理関数とそのグラフ (4) 逆関数と合成関数の考え	○/● (△) ※限 分数関数と無理関数	○/● (△)
2		○/○ (△) □限 数列の極限と級数 (1) 数列の極限 (2) 無限等比数列 (3) 無限級数	○/● (△) ※限 数列の極限と級数	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 関数の極限 (1) 関数の極限 (2) 極限が有限でない場合 (3) 片側からの極限 (4) 分数関数、無理関数の極限	○/☆ (△) □限 関数の極限	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 いろいろな関数の極限と連続性 (1) 指数関数、対数関数の極限 (2) 三角関数の極限 (3) 関数の連続性	○/☆ (△) ※限 いろいろな関数の極限および 連続性	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅢS2	単位数：1単位		
微分法 米 4次以上の整関数やこれまで学習してきた関数の微分法を学習する。そのため、関数の積や商の微分法、合成関数や逆関数の微分法に習熟する。 また、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数、対数関数の微分の計算ができるようになる。 米導関数を用いて接線の方程式、関数の値の変化等を調べ、様々な問題への応用を行う。また、関数の増減と導関数の符号との関係の論理的な基礎として、平均値の定理も理解する。 米運動等の物理的量との関係についても理解を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	最新 数学Ⅲ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 「数学ⅢS2」を学習するにあたって <u>微分係数と導関数</u> (1) 微分係数と導関数 (2) 積と商の導関数 (3) 合成関数と逆関数の導関数	○/● (△) ※限 微分係数と導関数 積と商の導関数 合成関数と逆関数	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 <u>いろいろな関数の導関数</u> (1) 三角関数の導関数 (2) 指数関数の導関数 (3) 対数関数の導関数 (4) 第 n 次導関数 (5) 2変数の導関数	○/● (△) ※限 三角関数、指数関数、対数関数の導関数、第 n 次導関数、2変数の導関数、媒介変数で表示された関数の導関数	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 <u>接線の方程式と平均値の定理</u> (1) 接線の方程式 (2) 平均値の定理	○/☆ (△) □限 接線の方程式と平均値の定理	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 <u>微分法の応用</u> (1) 関数の増減とそのグラフ (2) 曲線の凹凸 (3) 方程式不等式への応用 (4) 点の運動と微分	○/☆ (△) ※限 関数の増減と関数のグラフおよびその応用	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅢS3	単位数：1単位		
積分法				
米積分法を微分法の逆演算とみて、数学ⅢS1,S2で学習した関数まで積分法の関数の範囲を広げる。 米置換積分法、部分積分法などの方法を理解させ、これらを用いて計算する。 米区分求積法の考えから、定積分の意味の理解を深める。 米一般的な関数について面積や体積が積分によって計算できることを理解する。 米曲線の長さや物理的量が積分で求められることも考察する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	最新 数学Ⅲ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学Ⅲ 2」を学習するにあたって <u>不定積分の定義と基本計算</u> (1) 不定積分とその基本性質 (2) 三角関数・指数関数の不定積分 (3) 置換積分法 (4) 部分積分法	○/● (△) ※限 不定積分の定義と基本性質およびその 置換積分、部分積分	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 <u>いろいろな関数の不定積分</u> (1) 分数関数の不定積分 (2) 三角関数に関する不定積分	○/● (△) ※限 いろいろな関数の不定積分	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 <u>定積分の基本計算</u> (1) 定積分とその基本性質 (2) 絶対値のついた関数の定積分 (3) 定積分の置換積分法 (4) 定積分の部分積分法 (5) 定積分と数列の和	○/☆ (△) □限 定積分についての置換積分、部分積分 の適応およびその応用	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 <u>定積分の応用</u> (1) 面積①曲線 $y=f(x)$ と面積 ②いろいろな式であらわされる曲線の 面積 (2) 体積①定積分と体積 ②回転体の体積	○/☆ (△) ※限 面積・体積を積分より求める	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASa	単位数： 1単位		
指導目標				
(1)場合の数と確率（場合の数）				
①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解する。				
②具体的な事象の考察などを通して、順列・いろいろな順列・組合せの意味について理解し、その総数を求める。				
(2)場合の数と確率（確率）				
①確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、事象の確率を求める。				
②不確定な事象を数量的にとらえ、事象を数学的に考察し処理できるようにする。				
③余事象の意味を理解し、確率の求め方を理解する。				
④独立な試行の確率や反復試行の確率の求め方を理解する。				
⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求める。				
⑥物事を判断する場合に、起こりうる期待を数値で表すことの有意義性を理解し、その値を確率の考えを利用して表す。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ・「数学A」を学習するにあたって ・集合 ・集合の要素の個数 ・和の法則と積の法則	○/○(△)□限 場合の数①	○/○(△) 第1回
2		○/○(△)□限 ・順列 ・組合せ	○/○(△)□限 場合の数②	○/○(△) 第2回
3		○/○(△)□限 ・事象と確率 ・確率の計算	○/○(△)□限 確率①	○/○(△) 第3回
4		○/○(△)□限 ・独立な試行と確率 ・条件つき確率 ・期待値	○/○(△)□限 確率②	
5		○/○(△)□限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASb	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)図形の性質（平面図形）				
①平面図形の性質についての理解を深め、活用できるようにする。				
②三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
③円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
(2)数学と人間の生活（整数の性質）				
①素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察する。				
②ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、二つの整数の最大公約数を求める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ・「数学A」を学習するにあたって ・図形の基本 ・角の二等分線と線分の比	○/○(△)□限 図形の性質①	○/○(△) 第1回
2		○/○(△)□限 ・三角形の外心、内心、重心 ・円周角の定理	○/○(△)□限 図形の性質②	○/○(△) 第2回
3		○/○(△)□限 ・円に内接する四角形 ・円の接線 ・方べきの定理	○/○(△)□限 図形の性質③	○/○(△) 第3回
4		○/○(△)□限 ・約数と倍数 ・ユークリッドの互除法	○/○(△)□限 数学と人間の活動	
5		○/○(△)□限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学BSa	単位数： 1 単位		
指導目標				
1. 数列とその和・・・・・・・・(1)等差数列と等比数列 ① 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。 ② いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し事象の考察に活用すること。 2. 漸化式と数学的帰納法・・・ (1) 漸化式と数列 漸化式について理解し、簡単な漸化式で表される数列について、一般項を求めること、また、漸化式の考察に活用すること。 (2) 数学的帰納法 数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること、				
学数支援授業	あり	授業数：全 5 回	教科書・学習図書	新 高校数学 B (数研出版)
スクーリング	1単位時間× 4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり	単位認定試験	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/◇ (△) ■限 (1)数列 (2)等差数列	○/◇ (△) ■限 数列とその和(1)	○/◇ (△)
2		○/◇ (△) ■限 (1)等比数列 (2)複利法と等比数列	○/◇ (△) ■限 数列とその和(2)	○/◇ (△)
3		○/◇ (△) ■限 (1)階差数列 (2)和の記号Σ	○/◇ (△) ■限 数列とその和(3)	○/◇ (△)
4		○/◇ (△) ■限 (1)漸化式 (2)数学的帰納法	○/◇ (△) ■限 漸化式と数学的帰納法	
5		○/◇ (△) ■限 総復習	単位認定試験：○/◇ (△) ■限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学BSb	単位数： 1 単位		
指導目標指導目標				
1. 確率分布・・・(1)確率変数と確率分布 ① 確率変数と確率分布について理解し、確率変数の平均、分散及び標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえること。 ② 二項分布について理解し、それを事象の考察に活用すること。 2. 正規分布・・・正規分布について理解し、二項分布が正規分布で近似できることを知ること。また、それらを事象の考察にかつようすること。 3. 統計的な推測・(1)母集団と標本 ① 標本調査の考え方について理解し、標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知ること。 (2)統計的な推測の考え ① 母平均の統計的な推測について理解し、それを事象の考察にかつようすること。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	新 高校数学B (数研出版)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり	単位認定試験	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/◇ (△) ■限 第1節 確率分布 (1)確率 (2)確率変数と確率分布	○/◇ (△) ■限 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布(2)	○/◇ (△)
2		○/◇ (△) ■限 (1)二項分布 (2)確率密度関数	○/◇ (△) ■限 第1節 確率分布(3)	○/◇ (△)
3		○/◇ (△) ■限 (1)正規分布 (2)二項分布と正規分布	○/◇ (△) ■限 第1節 確率分布(4)	○/◇ (△)
4		○/◇ (△) ■限 (1)母集団と標本 (2)母平均の推定 (3)仮説検定	○/◇ (△) ■限 第3節 統計的な推測	
5		○/◇ (△) ■限 総復習	単位認定試験：○/◇ (△) ■限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学C Sa	単位数： 1単位		
指導目標				
ベクトル				
①平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。				
②ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ③座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。				
④実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。				
⑤ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 最新数学C
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/● (△) □限 ・「数学C Sa」を学習するにあたって ・ベクトル ・ベクトルの和・差 ・ベクトルの実数倍 ・ベクトルの成分と演算	○/● (△) □限 平面上のベクトル (1)	○/● (△) □限
2		○/● (△) □限 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル	○/● (△) □限 平面上のベクトル (2)	○/● (△) □限
3		○/● (△) □限 ・ベクトルと平面図形 ・ベクトル方程式	○/● (△) □限 ベクトルと平面図形	○/● (△) □限
4		○/● (△) □限 ・空間の座標 ・空間ベクトル	○/● (△) □限 空間ベクトル	
5		○/● (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学C Sb	単位数： 1単位		
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 最新数学C
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/●(△) □限 ・「数学C Sb」を学習するにあたって ・複素数平面 ・複素数の和と差 ・複素数の極刑式	○/●(△) □限 複素数平面(1)	○/●(△) □限
2		○/●(△) □限 ・ド・モアブル ・複素数と平面図形	○/●(△) □限 複素数平面(2)	○/●(△) □限
3		○/●(△) □限 ・放物線 ・楕円 ・双曲線	○/●(△) □限 2次曲線(1)	○/●(△) □限
4		○/●(△) □限 ・媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータといろいろな図形	○/●(△) □限 2次曲線(2)	
5		○/●(△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
理科	科学と人間生活Sa	単位数： 1単位	住田 靖弘	
<p>指導目標</p> <p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>。(2) 【人間生活の中の科学】身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、それらについての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p><イ.物質の科学></p> <p>(ア) 身近な材料に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解させる。</p> <p><ウ.生命の科学></p> <p>(イ) 微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解させる。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 科学と人間生活
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				
6				

教科	科目		担当者	
理科	科学と人間生活Sb	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標				
自然の事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことを通して、自然の事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (2) 【人間生活の中の科学】身近な自然の事象・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、それらについての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 <ア. 光や熱の科学> (ア) 光に関する観察等の活動を行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解させる。 <エ. 宇宙や地球の科学> (イ) 自然景観と自然災害に関する観察等の活動を行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 科学と人間生活
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				
6				

教科	科目		担当者	
理科	生物Sc	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (4) 【生物の環境応答】生物の環境応答についての観察等の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア. 動物の反応と行動> (ア) 刺激の受容と反応に関する資料に基づいて，外界の刺激を受容し神経系を介して反応する仕組みを，関与する細胞の特性と関連付けて理解させる。 (イ) 動物の行動に関する資料に基づいて，行動を神経系の働きと関連付けて理解させる。 <イ. 植物の環境応答> (ア) 植物の環境応答に関する観察等の活動を行い，植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見だして理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 生物
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	/		
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	生物Sa	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (2) 【生命現象と物質】生命現象と物質についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア.細胞と分子> (7) 生体物質と細胞に関する資料に基づいて、細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解させる。 (4) 生命現象とタンパク質に関する観察等の活動を行い、タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解させる。 <イ.代謝> (7) 呼吸に関する資料に基づいて、呼吸をエネルギーの流れと関連付けて理解させる。 (4) 光合成に関する資料に基づいて、光合成をエネルギーの流れと関連付けて理解させる。 (4) 遺伝情報とタンパク質の合成DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 生物
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	/		
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	生物Sb	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (3) 【遺伝情報の発現と発生】 遺伝情報の発現と発生についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア. 遺伝情報とその発現> (7) DNA の複製に関する資料に基づいて、DNA の複製の仕組みを理解させる。また、遺伝子発現に関する資料に基づいて、遺伝子の発現の仕組みを理解させる。 (4) 生命現象とタンパク質に関する観察等の活動を行い、タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解させる。 <イ. 発生と遺伝子発現> (7) 遺伝子の発現調節に関する資料に基づいて、遺伝子の発現が調節されていることを見いだして理解させる。また、転写の調節をそれに関わるタンパク質と関連付けて理解させる。 (4) 発生に関わる遺伝子の発現に関する資料に基づいて、発生の過程における分化を遺伝子発現の調節と関連付けて理解させる。 <ウ. 遺伝子を扱う技術> (7) 遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 生物
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	/		
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	生物Sd	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標				
<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 【生物の進化】生物の進化についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p><ア.生命の起源と細胞の進化></p> <p>(7) 生命の起源と細胞の進化に関する資料に基づいて、生命の起源に関する考えを理解させるとともに、細胞の進化を地球環境の変化と関連付けて理解させる。</p> <p><イ.遺伝子の変化と進化の仕組み></p> <p>(7) 遺伝子の変化に関する資料に基づいて、突然変異と生物の形質の変化との関係を見いだして理解させる。</p> <p>(4) 交配実験の結果などの資料に基づいて、遺伝子の組合せが変化することを見いだして理解させる。</p> <p>(5) 【生態と環境】生態と環境についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p><ア.個体群と生物群集></p> <p>(7) 個体群内の相互作用に関する観察、実験などを行い、個体群が維持される仕組みや個体間の関係性を見いだして理解させる。</p> <p>(4) 個体群間の相互作用に関する資料に基づいて、生物群集が維持される仕組みや個体群間の関係性を見いだして理解させる。</p> <p><イ.生態系></p> <p>(7) 生態系の物質生産と物質循環に関する資料に基づいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連付けて理解させる。</p> <p>(4) 生態系と人間生活に関する資料に基づいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解させる。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 生物
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	生物基礎S1	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 【生物と遺伝子】生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。 <ア. 生物の特徴> (7) 生物の共通性と多様性生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解させる。 (4) 細胞とエネルギー生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。 <イ. 遺伝子とその働き> (7) 遺伝情報とDNA遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解させる。 (4) 遺伝情報の分配DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解させる。 (9) 遺伝情報とタンパク質の合成DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 新編 生物基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「生物基礎S1」を受講するにあたっての注意事項の説明 ・【生物の多様性と共通性】 【エネルギーと代謝】 の学習の前提になる小中学校理科単元の学び直しと発展	【生物の多様性と共通性】 ・生物の多様性 ・生物の共通性とその由来 ・生物に共通する構造－細胞	
2		・【呼吸と光合成】 【遺伝情報とDNA】 【遺伝情報複製と分配】 の学習の前提になる小中学校理科単元の学び直しと発展	【エネルギーと代謝】 ・生命活動とエネルギー	
3		・総復習	【呼吸と光合成】 ・呼吸・光合成 ・エネルギーの流れ ・酵素の性質	
4			【遺伝情報とDNA】 ・遺伝情報を含む物質－DNA ・DNAの構造	
5			【遺伝情報の複製と分配】 ・細胞周期とDNA ・遺伝情報の複製 ・遺伝情報の分配"	
6			【遺伝情報の発現】 ・遺伝情報とタンパク質 ・タンパク質の合成 ・細胞の分化と遺伝情報 ・遺伝子とゲノム"	
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	生物基礎S2	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (2) 【生物の体内環境の維持】生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識させる。 <ア. 生物の体内環境> (7) 体内環境が保たれていることを理解させる。(4) 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解させる。(7) 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解させる。 (3) 【生物の多様性と生態系】生物の多様性と生態系について観察、実験などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解させ、その保全の重要性について認識させる。 <ア. 植生の多様性と分布> (7) 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解させる。(4) 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解させる。 <イ. 生態系とその保全> (7) 生態系と物質循環生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解させる。 (4) 生態系のバランスと保全生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 新編 生物基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「生物基礎S2」を受講するにあたっての注意事項の説明 ・【生物の体内環境の維持】の学習の前提になる小中学校理科単元および「生物基礎S1」の学び直しと発展	【体内での情報伝達と調節】 ・体内での情報伝達 ・神経系による情報の伝達と調節 ・内分泌系による情報の伝達と調節	
2		・【生物の多様性と生態系】の学習の前提になる小中学校理科単元および「生物基礎S1」の学び直しと発展	【体内環境の維持の仕組み】 ・体内環境の維持 ・血糖濃度の調節のしくみ ・血液の循環を維持するしくみ	
3		・総復習	【免疫のはたらき】 ・からだを守るしくみ ・自然免疫 ・適応免疫 ・免疫と健康	
4			【植生と遷移】 ・植生とその成り立ち ・植生の遷移 ・植生の再生 【植生の分布とバイオーム】 ・植生とバイオーム	
5			【世界のバイオーム】 ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム 【生態系と生物の多様性】 ・生態系の成りたち ・生態系における種多様性	
6			【生態系と生物の多様性】 ・生態系における生物どうしのつながり 【生態系のバランスと保全】 ・生態系のバランス ・人間生活と生態系 ・生態系の保全	
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	地学Sa	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 【地球の外観】地球の形状や内部構造についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア. 地球の形状> (7) 地球楕円体や地球表面における重力に関する資料に基づいて、地球の形状と重力との関係を見いだし地球の自転と公転に関する観察等の活動を行い、地球の自転と公転の証拠となる現象を理解させる。 (4) 地磁気に関する観察等の活動を行い、地磁気の特徴とその働きを理解させる。 <イ. 地球の内部> (7) 地震波の伝わり方についての資料に基づいて、地球内部の構造を見いだし理解させる。 (4) 地球内部の温度、密度、圧力及び構成物質の組成について理解させる。 (2) 【地球の活動と歴史】地球の活動と歴史についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する <ア. 地球の活動> (7) プレートテクトニクスとその成り立ちを理解させる。 (4) 世界の震源分布についての資料に基づいて、プレート境界における地震活動の特徴をプレート運動と関連付けて理解させるとともに、それに伴う地殻変動などについて理解させる。 (9) 島弧-海溝系における火成活動の特徴を、マグマの発生と分化及び火成岩の形成と関連付けて理解させる。 (3) 変成岩に関する観察などの活動を行い、変成作用と変成岩の特徴及び造山帯について理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 高等学校 地学
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				
6				
単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
理科	地学Sb	単位数： 1単位	住田 靖弘	
<p>指導目標</p> <p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(2) 【地球の活動と歴史】地球の活動と歴史についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p><イ.地球の歴史></p> <p>(ア) 風化、侵食、運搬及び堆積の諸作用による地形の形成について、身近な地形と関連付けて理解地表の変化を理解させる。</p> <p>(イ) 地層に関する観察等の活動を行い、地層の形成及び地質時代における地球環境や地殻変動について理解させる。</p> <p>(ウ) 大気、海洋、大陸及び古生物などの変遷に関する資料に基づいて、地球環境の移り変わりを総合的に理解させる。</p> <p>(エ) 日本列島の地形や地質に関する資料に基づいて、島弧としての日本列島の地学的な特徴と形成史をプレート運動などと関連付けて理解させる。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 高等学校 地学
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	/		
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	地学Sc	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (3) 【地球の大気と海洋】地球の大気と海洋についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア. 大気の構造と運動> (ア) 大気の組成、太陽放射と地球放射の性質を理解させるとともに、大気に関する観測資料などに基づいて、各圏の特徴と地球全体の熱収支など大気の構造を理解させる。 (イ) 大循環と対流による現象及び日本や世界の気象の特徴を理解させる。 <イ. 海洋と海水の運動> (ア) 海水の組成を理解させるとともに、海洋に関する観測資料などに基づいて、水温と塩分の分布との関係など海洋の構造を理解させる。 (イ) 海水の運動と循環及び海洋と大気の相互作用について理解させる				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 高等学校 地学
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	地学Sd	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (4) 【宇宙の構造】 宇宙に関する事象・現象についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア、太陽系> (7) 地球の自転と公転に関する観察等の活動を行い、地球の自転と公転の証拠となる現象を理解させる。 (8) 太陽系天体に関する観測資料などに基づいて、太陽系天体の特徴を理解させるとともに、惑星の運動の規則性を見だし、視運動と関連付けて理解させる。 (9) 太陽に関する観察等の活動を行い、太陽表面の現象を太陽の活動と関連付けて理解させる。 <イ、恒星と銀河系> (7) 恒星に関する観察等の活動を行い、恒星の性質と進化の特徴を見だして理解させる。 (8) 銀河系に関する観測資料などに基づいて、銀河系の構成天体とその分布について理解させる。 <ウ、銀河と宇宙> (7) 銀河についての観測資料などに基づいて、様々な銀河の存在と銀河の分布の特徴を理解させる。 (8) 宇宙の誕生や進化について調べ、現代の宇宙像の概要を理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 高等学校 地学
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				
6				
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	地学基礎Sa	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 【地球のすがた】地球のすがたについての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア. 惑星としての地球> (7) 地球の形や大きさに関する観察・実習などを行い、地球の形の特徴と大きさを見いだして理解させる。 (4) 地球内部の層構造とその状態を理解させる。 <イ. 活動する地球> (7) プレートの分布と運動について理解させるとともに、大地形の形成と地質構造をプレートの運動と関連付けて理解させる。 (4) 火山活動や地震に関する資料に基づいて、火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解させる。 <ウ. 大気と海洋> (7) 気圧や気温の鉛直方向の変化などについての資料に基づいて、大気の構造の特徴を見いだして理解させるとともに、太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量が釣り合っていることを理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 高等学校 地学基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「地学基礎Sa」を受講するにあたっての注意事項の説明 ・【地球】 【活動する地球】 の学習の前提になる小中学校理科単元の学び直しと発展	【地球】 ・地球の概観 ・地球の内部構造	
2		・【大気の構造】 【太陽放射と大気・海水の運動】 【日本の天気】 の学習の前提になる小中学校理科単元の学び直しと発展	【活動する地球】 ・プレートテクトニクスと地球の活動	
3		・総復習	【活動する地球】 ・地震	
4			【活動する地球】 ・火山活動と火成岩の形成	
5			【大気の構造】 ・大気圏 ・水と気象 【太陽放射と大気・海水の運動】 ・地球のエネルギー収支 ・大気の大循環	
6			【太陽放射と大気・海水の運動】 ・海水の循環 【日本の天気】 ・日本の位置 ・冬から春の天気 ・夏から秋の天気	
			単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
理科	地学基礎Sb	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (2) 【変動する地球】変動する地球についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <ア. 地球の変遷> (7) 宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解させる。 (4) 地層や化石に関する観察などを行い、地質時代が古生物の変遷に基づいて区分されることを理解させるとともに、地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互の関わりを見いだして理解させる。 <イ. 地球の環境> (7) 地球規模の自然環境に関する資料に基づいて、地球環境の変化を見いだしてその仕組みを理解させるとともに、それらの現象と人間生活との関わりについて認識させる。 (4) 日本の自然環境を理解させ、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関わりについて認識させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 高等学校 地学基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「地学基礎S1」を受講するにあたっての注意事項の説明 ・【地球の誕生】 【地球と生命の進化】 の学習の前提になる小中学校理科単元の学び直しと発展	【地球の誕生】 ・宇宙の誕生 ・太陽系の誕生	
2		・【地球史の読み方】 【自然との共生】 の学習の前提になる小中学校理科単元の学び直しと発展	【地球と生命の進化】 ・先カンブリア時代 ・顕生代	
3		・総復習	【地球史の読み方】 ・地層からわかること	
4			【地球史の読み方】 ・地層の形成 ・地層の読み方	
5			【自然との共生】 ・地球環境と人類 ・地震災害・火山災害 ・気象災害	
6			【自然との共生】 ・災害と社会 ・人間生活と地球環境の変化	
単位認定試験 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
理科	物理基礎Sa	単位数： 1 単位		
指導目標				
物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 新編 物理基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		物理基礎を学ぶにあたって	運動の表し方 ・物理量の測定と扱い方 ・運動の表し方	
2		エネルギーとその利用 ・エネルギーとその利用	運動の表し方 ・直線運動の加速度	
3		総復習	様々な力とその働き ・様々な力 ・力のつり合い	
4			様々な力とその働き ・運動の法則	
5			様々な力とその働き ・物体の落体運動	
6			力学的エネルギー ・運動エネルギーと位置エネルギー ・力学的エネルギー	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
理科	物理基礎Sb	単位数： 1 単位		
指導目標				
<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 新編 物理基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		物理基礎を学ぶにあたって	波 ・波の性質	
2		物理学が拓く世界 ・物理学が拓く世界	波 ・音と振動	
3		総復習	熱 ・熱と温度	
4			熱 ・熱の利用	
5			電気 ・物質と電気抵抗	
6			電気 ・電気の利用	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
理科	物理Sa	単位数： 1 単位		
指導目標				
物理的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、物理的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				
【様々な運動】 物体の運動についての観察等の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。				
<ア. 平面内の運動と剛体のつり合い>				
⑦ 曲線運動の速度と加速度 ―― 平面内を運動する物体の運動について理解させる。				
⑧ 放物運動 ―― 水平投射及び斜方投射された物体の運動を直線運動と関連付けて理解させる。				
⑨ 剛体のつり合い ―― 大きさのある物体のつり合いに関する観察を通して、剛体のつり合う条件を見いだして理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 物理
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1	/	4/12(金) 1限 ・物理Saを受講するに当たっての 諸注意 ・Google Classroomを使った レポート提出/補助資料学習の やり方の説明	4/28(金) 1 限 平面内の運動 ・平面運動の速度・加速度		
2		4/21(金) 2限 地学 Sa を学ぶに当たって 必要となる地学基礎の 既習事項についての復習	4/28(金) 2 限 平面内の運動 ・落体の運動①		
3		5/26(金) 1限 総復習	5/12(金) 1 限 平面内の運動 ・落体の運動②		
4		/		5/12(金) 2 限 剛体 ・剛体にはたらく力のつり合い	
5				5/19(金) 1 限 剛体 ・剛体にはたらく力の合力と重心①	
6				5/19(金) 2 限 剛体 ・剛体にはたらく力の合力と重心②	
		単位認定試験：(5/26 [金] 2 限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回			

教科	科目		担当者	
理科	物理Sb	単位数： 1 単位		
指導目標				
物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 物理
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		物理を学ぶにあたって	運動量の保存 ・運動量と力積①	
2		円運動と万有引力 ・万有引力	運動量の保存 ・運動量と力積②	
3		総復習	運動量の保存 ・運動量保存則①	
4			運動量の保存 ・運動量保存則②	
5			運動量の保存 ・反発係数	
6			円運動と万有引力 ・等速円運動	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
理科	物理Sc	単位数： 1 単位		
指導目標				
物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 物理
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		物理を学ぶにあたって	気体のエネルギーと状態変化 ・気体の法則	
2		演習	気体のエネルギーと状態変化 ・気体分子の運動	
3		総復習	気体のエネルギーと状態変化 ・気体の状態変化	
4			波の伝わり方	
5			音の伝わり方	
6			光	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
理科	物理Sd	単位数： 1 単位		
指導目標				
物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 物理
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		物理を学ぶにあたって	電場	
2		演習	電流	
3		総復習	電流と磁場①	
4			電流と磁場②	
5			電磁誘導と電磁波①	
6			電磁誘導と電磁波②	
単位認定試験：(○)/◇(△)※限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
保健体育	保健Sa	単位数：1単位	岡野 拳大	
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病などの予防と回復 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることなどを理解できるようにする。 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることなどを理解できるようにする。 				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	現代高等保健体育
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全回	合格枚数 4枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		<ul style="list-style-type: none"> 「保健1」を学習するにあたって 生活習慣病の種類と要因 生活習慣病の予防方法 (○月○日)	「生活習慣病の予防と回復」 (○月○日)	レポートNo.1 (□月□日)
2		<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者やその周囲の人に起こる害 喫煙対策 (□月□日)	「喫煙と健康」 (□月□日)	レポートNo.2 (△月△日)
3		<ul style="list-style-type: none"> 飲酒による健康への影響 飲酒対策 (△月△日)	「飲酒と健康」 (△月△日)	レポートNo.3・No.4 (◆月◆日)
4		<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用が及ぼす影響 薬物乱用防止のための対策 (◆月◆日)	「薬物乱用と健康」 (◆月◆日)	
5		<ul style="list-style-type: none"> 総復習 (☆月☆日)	単位認定試験：(☆月☆日※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
保健体育	保健Sb	単位数：1単位	岡野 拳大	
指導目標				
<p>・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であることを、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	現代高等保健体育
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全回	合格枚数 4枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		<ul style="list-style-type: none"> 「保健2」を学習するにあたって 男女の思春期における体の変化 心の発達にかかわって起こる問題 (○月○日)	「思春期と健康」 (○月○日)	レポートNo.1 (□月□日)
2		<ul style="list-style-type: none"> 性意識の男女差について 性情報が性行動の選択に及ぼす影響 (□月□日)	「性意識と性行動の選択」 (□月□日)	レポートNo.2 (△月△日)
3		<ul style="list-style-type: none"> 妊娠と出産の過程における健康問題 母子保健サービス (△月△日)	「妊娠・出産と健康」 (△月△日)	レポートNo.3・No.4 (◆月◆日)
4		<ul style="list-style-type: none"> 家族計画の意義と適切な避妊法 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響 (◆月◆日)	「避妊法と人工妊娠中絶」 (◆月◆日)	
5		<ul style="list-style-type: none"> 総復習 (☆月☆日)	単位認定試験：(☆月☆日)※限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
保健体育	体育s理論a	単位数：1単位	青山 淳子	
指導目標				
<p>運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解する。運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになることや技術の種類に応じた学習の仕方があることを理解する。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けており、運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり一定の期間がかかるため、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあることを理解する。さらに、運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることえを理解する。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数：5時間以上		
メディア視聴			副教材	アクティブスポーツ
レポート	全 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「体育s理論a」を学習するにあたって (○月○日)	「スポーツにおける技能と体力」 ・技能と体力の関係 ・技能と体力を高めるときの注意点 (□月□日)	(□月□日)
2		・運動やスポーツの効果的な 学習の仕方について (○月○日)	「スポーツにおける技術と戦術」 ・技能の型の違いや練習方法 ・用具の改良やメディア発達 (□月□日)	(△月△)
3		・総復習 (☆月☆日)	「技能の上達課程と練習」 ・技能の上達過程について ・練習による技能上達の特徴 (△月△日)	(◆月◆日)
4			「効果的な動きのメカニズム」 ・動きの開始と持続について ・動きの調整力について (△月△日)	
5			「体力トレーニング」 ・目的に応じたトレーニング方法 ・具体的なトレーニング方法 (◆月◆日)	
6			「運動やスポーツでの安全の確保」 ・スポーツ外傷と障害の違い ・スポーツ活動中の重大事故 (◆月◆日)	
7			確認テスト：(☆月☆日) 確認テスト範囲は 学習支援授業第1回～第3回 レポート第1回NO.1～NO.3 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
保健体育	体育s理論b	単位数：1単位	青山 淳子	
指導目標				
スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解する。また、現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していることやスポーツの文化的価値を失わせることを理解する。その他にも現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数：5時間以上		
メディア視聴			副教材	アクティブスポーツ
レポート	全 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「体育s理論b」を学習するにあたって (○月○日)	「スポーツの始まりと変遷」 ・スポーツの始まりについて ・スポーツの世界的な広がりについて (□月□日)	(□月□日)
2		・スポーツの文化的特性や 現代のスポーツの発展について (○月○日)	「文化としてのスポーツ」 ・文化としてのスポーツの特徴 ・スポーツ文化の変容 (□月□日)	(△月△)
3		・総復習 (☆月☆日)	「オリンピックと パラリンピックの意義」 ・オリンピズムとオリンピックの価値 ・パラリンピックの価値と意義 (△月△日)	(◆月◆日)
4			「スポーツが経済に及ぼす効果」 ・経済活動におけるスポーツの役割 ・スポーツにかかわる業種 (△月△日)	
5			「スポーツの高潔さとドーピング」 ・スポーツの高潔さを脅かす要因 ・ドーピング行為がもたらすもの (◆月◆日)	
6			「スポーツと環境」 ・スポーツにおける環境問題 ・スポーツと環境の調和について (◆月◆日)	
7			確認テスト：(☆月☆日) 確認テスト範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回NO.1～NO.3 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
保健体育	ピラティス	単位数： 1 単位	青山 淳子	
指導目標				
○正しい呼吸方法、正しい姿勢を身につける。 ○ストレッチとトレーニングにより、楽に体を動かせる体作りを行う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【ガイダンス】 (○月○日) ○授業を受けるにあたっての諸注意 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について	【姿勢のチェック】 ○姿勢をチェックし、自分の体のゆがみを確認する。 ○柔軟性・筋力のチェックを行い今後の目標をたてる。 (□月□日)	○レポートNo.1 ○ピラティスの特徴 ○姿勢作りについて (□月□日)
2		【説明】 ○ピラティスの歴史について説明 ○教科書・プリントを用いて説明を進めていく。 (○月○日)	【ピラティス呼吸】 ○胸式ラテラル呼吸と腹式呼吸の練習 ○動きながら呼吸ができるようになる。 (□月□日)	
3		【学習支援・総復習】 ○エクササイズ総復習 (☆月☆日)	【肩甲骨の動き】 ○肩甲骨の動きを理解し、自分でコントロールして動かせるようになる。 (△月△日)	
4			【正しいアライメント】 ○立位・座位・伏臥位・横臥位での正しいアライメントを作る。 (△月△日)	
5			【ボールエクササイズ】 ○ミニボールを使ってバランス感覚を養う。 ○ミニボールでのマッサージの仕方を練習する。 (体のこりに気づく) (◆月◆日)	
6			【全身のエクササイズ】 ○正しいアライメントで呼吸を止めないように流れるよう動く。 (◆月◆日)	
7			【総復習】 ○体感エクササイズ ○下肢エクササイズ (☆月☆日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	バドミントン	単位数： 1 単位	岡野 拳大	
指導目標 ○バドミントンの基礎から、互いにラリーができ簡易ゲームで楽しめるまで体感する。 ○スポーツとしてのバドミントンを理解し、体感することを目的とする。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【ガイダンス】 ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について (○月○日)	【バドミントンに親しむ】 ○出席確認・ランニング・体操 ○ストローク練習 (フォアハンド・バックハンド) (□月□日)	レポートNo.1 ○バドミントンの歴史 ○ラケットの名称 ○コートについて ○ゲームについて (□月□日)
2		【説明】 ○バドミントンの歴史について 説明 ○教科書・プリントを用いて 説明を進めていく。 (○月○日)	【ネットを挟んでラリー】 ○出席確認 ○ネットを挟み、距離感を掴み つつラリーを繋げる。 (□月□日)	
3		【学習支援・総復習】 ○コートの開放 ○各自必要な練習を行う。 (☆月☆日)	【基本技術の習得】 ○出席確認・ランニング・体操 ○サーブ・レシーブ・ラリー (ハイクリアー・スマッシュ・ ロブ) (△月△日)	
4			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○ダブルスでのゲーム。 ルール説明・戦術・役割分担 (△月△日)	
5			【乱打】 ○出席確認・ランニング・体操 ○感覚を掴む為、ネットを挟み ラリー練習。 (◆月◆日)	
6			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○シングルスでのゲーム ルール説明・戦術・役割分担 (◆月◆日)	
7			【実技テスト】 ○サーブテスト ○ラリーテスト (☆月☆日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	卓球	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標 ○卓球の基礎から簡易ゲームで楽しめるまで体感する。 ○卓球を理解し、体感することを目的とする。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【ガイダンス】 ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について (○月○日)	【卓球に親しむ】 ○出席確認・ランニング・体操 ○ストローク練習 (フォアハンド・バックハンド) (□月□日)	レポートNo.1 ○卓球の歴史 ○ラケットの持ち方 ○コートについて ○ゲームについて (□月□日)
2		【説明】 ○卓球の歴史について説明 ○教科書・プリントを用いて 説明を進めていく。 (○月○日)	【ネットを挟んでラリー】 ○出席確認 ○ネットを挟み、距離感を掴み つつラリーを繋げる。 (卓球台1台に4人で乱打) (□月□日)	
3		【学習支援・総復習】 ○コートの開放 ○各自必要な練習を行う。 (☆月☆日)	【基本技術の習得】 ○出席確認・ランニング・体操 ○サーブ・レシーブ・ラリー (ハイクリアー・スマッシュ・ ロブ) (△月△日)	
4			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○ダブルスでのゲーム。 ルール説明・戦術・役割分担 (△月△日)	
5			【乱打】 ○出席確認・ランニング・体操 ○感覚を掴む為、ネットを挟み ラリー練習。 (◆月◆日)	
6			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○シングルスでのゲーム ルール説明・戦術・役割分担 (◆月◆日)	
7			【実技テスト】 ○出席確認・ランニング・体操 ○サーブテスト ○ラリーテスト (☆月☆日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	バスケットボール	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標				
○バスケットボールの歴史を理解し、楽しくゲームができるようにする。				
○バスケットボールの基本的な技術を身に付け、ゲームを楽しめるようにする。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【ガイダンス】 ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について (○月○日)	【ドリブル】 ○出席確認・ランニング・体操 ○ドリブル (コーン間をドリブルで走る) (□月□日)	レポートNo.1 ○バスケの歴史 ○ルールについて ○コートについて ○ゲームについて (□月□日)
2		【説明】 ○バスケットボールの歴史について説明 ○教科書・プリントを用いて説明を進めていく。 (○月○日)	【パス】 ○出席確認 ○二人一組でのパス練習 (チェストパス練習) (□月□日)	
3		【学習支援・総復習】 ○出席確認・ランニング・体操 ○コートの開放 ○各自必要な練習を行う。 (☆月☆日)	【基本技術の習得】 ○出席確認・ランニング・体操 ○ドリブルシュート (レイアップシュート) (△月△日)	
4			【基本技術の習得】 ○出席確認 ○フリースロー ○ロングシュート シュートを行う上での留意点の説明 (△月△日)	
5			【簡易ゲーム】 ○出席確認・ランニング・体操 ○10分5分ハーフでのゲーム。 (1チーム10人) ハーフタイムで交代 (◆月◆日)	
6			【簡易ゲーム】 ○出席確認・ランニング・体操 ○10分5分ハーフでのゲーム。 (1チーム10人) ハーフタイムで交代 (◆月◆日)	
7			【実技テスト】 ○出席確認・ランニング・体操 ○レイアップシュートテスト ○フリースローテスト (☆月☆日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	ソフトバレー	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標 ○ソフトバレーボールの基礎から簡易ゲームが楽しめるまでを体感する。 ○生涯スポーツの観点で、様々な人とソフトバレーボールを楽しめる技術・ルールを覚える。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【ガイダンス】 ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について (○月○日)	【パス】 ○出席確認・ランニング・体操 ○オーバーハンドパス ○アンダーハンドパス (形を気にしながら直上パス) (□月□日)	レポートNo.1 ○バレーの歴史 ○ルールについて ○コートについて ○ゲームについて (□月□日)
2		【学習支援】 ○ソフトバレーの歴史について説明 ○教科書・プリントを用いて説明を進めていく。 (○月○日)	【パス】 ○出席確認 ○対人でのパス練習 ・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス (手投げでの練習) (□月□日)	
3		【学習支援・総復習】 ○出席確認・ランニング・体操 ○コートの開放 ○各自必要な練習を行う。 (☆月☆日)	【基本技術の習得】 ○出席確認・ランニング・体操 ○4人・6人での円陣パス (人数を増やしていきパス練習) ○ネットを挟んでラリー (△月△日)	
4			【基本技術の習得】 ○出席確認 ○サーブ練習 (主にアンダーハンドパス) (△月△日)	
5			【簡易ゲーム】 ○出席確認・ランニング・体操 ○チーム分けを行い簡易ゲーム (パス・サーブができるように意識する) (◆月◆日)	
6			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○チーム分けを行い簡易ゲーム (パス・サーブができるように意識する) (◆月◆日)	
7			【実技テスト】 ○出席確認・ランニング・体操 ○直上バステスト (アンダー・オーバー) ○サーブテスト (☆月☆日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	バウンドテニス	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標 ○スポーツとしてバウンドテニスを楽しみながら、生涯スポーツとして身体に身につかせる。 体の調子を整えたり、仲間と交流したりする。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×7	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【ガイダンス】 ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について (○月○日)	【卓球に親しむ】 ○出席確認・ランニング・体操 ○ストローク練習 (フォアハンド・バックハンド) (□月□日)	レポートNo.1 ○テニスの歴史 ○ラケットについて ○コートについて ○ゲームについて (□月□日)
2		【学習支援】 ○テニスの歴史について説明 ○教科書・プリントを用いて 説明を進めていく。 (○月○日)	【ネットを挟んでラリー】 ○出席確認 ○ネットを挟み、距離感を掴み つつラリーを繋げる。 (□月□日)	
3		【学習支援・総復習】 ○コートの開放 ○各自必要な練習を行う。 (☆月☆日)	【基本技術の習得】 ○出席確認・ランニング・体操 ○サーブ・レシーブ・ラリー (ラリー・サーブができていないか 確認) (△月△日)	
4			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○ダブルスでのゲーム。 ルール説明・戦術・役割分担 (△月△日)	
5			【乱打】 ○出席確認・ランニング・体操 ○感覚を掴む為、ネットを挟み ラリー練習。 (◆月◆日)	
6			【簡易ゲーム】 ○出席確認 ○シングルスでのゲーム ルール説明・戦術・役割分担 (◆月◆日)	
7			【実技テスト】 ○出席確認・ランニング・体操 ○サーブテスト ○ラリーテスト (☆月☆日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	バスケ観戦	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標				
実際のバスケットボールの試合を観戦し、楽しさなどを理解できるようにする。 する。という事よりも見る・応援するという観点から競技の特性に気づく事ができる。				
学数支援授業	あり	授業数：全 1 回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間× 5	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	【ガイダンス】(○月○日) ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について ○集合場所・時間について	【バスケの歴史について】 ○教科書を用いての授業。 ○ルールの理解 ○試合展開など理解 (○月○日)	レポートNo.1 ○バスケの試合観戦した 感想 ○今後の健康について (□月□日)
2			【当日】 バスケットボール観戦当日 ○集団行動を心がける。 ○迷惑行為をしない。 (□月□日)	
3			【当日】 バスケットボール観戦当日 ○集団行動を心がける。 ○迷惑行為をしない。 (□月□日)	
4			【振り返り】 ○当日の試合観戦を振り返り 感想分を作成 (△月△日)	
5			【振り返り】 ○当日の試合の展開を振り返り 観戦する前とした後の考え方の 違いなどで理解を深める。 (△月△日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	野球観戦	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標				
実際の野球の試合を観戦し、楽しさなどを理解できるようにする。 する。という事よりも見る・応援するという観点から競技の特性に気づく事ができる。				
学数支援授業	あり	授業数：全 1 回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間× 5	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	【ガイダンス】(○月○日) ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について ○集合場所・時間について	【野球の歴史について】 ○教科書を用いての授業。 ○ルールの理解 ○試合展開など理解 (○月○日)	レポートNo.1 ○野球の試合観戦した 感想 ○今後の健康について (☆月☆日)
2			【当日】 野球観戦当日 ○集団行動を心がける。 ○迷惑行為をしない。 (□月□日)	
3			【当日】 野球観戦当日 ○集団行動を心がける。 ○迷惑行為をしない。 (□月□日)	
4			【振り返り】 ○当日の試合観戦を振り返り 感想分を作成 (△月△日)	
5			【振り返り】 ○当日の試合の展開を振り返り 観戦する前とした後の考え方の 違いなどで理解を深める。 (△月△日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	箕面の滝ハイキング	単位数： 1 単位	柳光 真輔	
指導目標				
自然の中で、ウォーキングしながら心身をリフレッシュし、健康・体力を増進させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全 1 回	教科書・学習図書	現代高等保健体育 (大修館)
スクーリング	1単位時間×5	合格時間数： 5 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 1 回	合格枚数 1 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1	/	【ガイダンス】(○月○日) ○授業を受ける際の注意事項 (服装・装飾品類などの着用) ○レポート提出方法 ○単位認定について ○集合場所・時間について	【ハイキングについて】 ○服装や当日までの準備など理解 させる。 ○自然の理解を深める (○月○日)	レポートNo.1 ○ハイキングをした感想 ○今後の健康について (☆月☆日)	
2			【当日】 ○感性や知的好奇心を育む ○創造性や向上心、物を大切に する心を育てる。 ○直接体験から学ぶ (□月□日)		
3			【当日】 ○自主性・協調性・社会性を育む ○自己を発見し、余暇活動の楽しみ 方を学ぶ。 ○健康・体力を増進する。 (□月□日)		
4				【振り返り】 ○当日を振り返り感想分を作成 (△月△日)	
5				【振り返り】 ○当日を振り返りハイキングする 前とした後の考え方の違いなど 理解を深める。 (△月△日)	

教科	科目		担当者	
保健体育	乗馬	単位数： 2 単位	北條	
指導目標				
○体育の単位修得が7単位未満の生徒を対象に実施。乗馬指導料など別途1万円ほど必要。 実施場所には、現地集合・現地解散となる				
○基本の馬術（乗馬・下馬・常歩・軽速歩）を体感する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	LETS ENJOY RIDING
スクーリング	2単位時間×10	合格時間数：10時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Active sports アクティブスポーツ (大修館)
レポート	全 2 回	合格枚数 2 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【馬についての説明】 ○出欠確認 ○馬の品種・毛色・特徴など ○馬体の名称・馬の性質を理解する (○月○日)	○初めて馬を前にして乗馬・下馬の方法を修得。 ○手綱の正しい持ち方 ○基本となる事をマスターする事が目的。 (○月○日)	○レポートNo.1について 馬の品種・毛色・特徴 馬体の名称など (□月□日)
2		【乗馬に必要な道具の説明】 ○出欠確認 ○乗馬する際に必要な道具の説明（鞍・ゼッケン・手綱・籠など） (□月□日)	○初めて馬を前にして乗馬・下馬の方法を修得。 ○手綱の正しい持ち方 ○基本となる事をマスターする事が目的。 (○月○日)	
3		【馬の手入れについて】 ○出欠確認 ○乗馬前・乗馬後に必要な毛の手入れを説明 (専用のブラシなど) (△月△日)	○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○正しい騎乗姿勢を学ぶ ○常歩歩法 (□月□日)	
4		【蹄の手入れについて】 ○出欠確認 ○乗馬前・乗馬後に必要な蹄の手入れを説明 (専用の器具など) (◆月◆日)	○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○正しい騎乗姿勢を学ぶ ○常歩歩法 (□月□日)	
5		【テキスト講習】 ○出欠確認 ○テキストを用いてライセンス初級問題を解説・回答する。 (☆月☆日)	○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○馬上での体操 ○常歩歩法 (△月△日)	
6			○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○馬上での体操 ○常歩歩法 (△月△日)	
7			○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○馬上での体操 ○常歩歩法から軽速歩歩法 (◆月◆日)	
8			○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○馬上での体操 ○常歩歩法から軽速歩歩法 (◆月◆日)	
9			○乗馬・下馬・手綱の持ち方を復習 ○馬上での体操 ○常歩歩法から軽速歩歩法 (☆月☆日)	
10			○実技テスト (常歩歩法から軽速歩歩法) (☆月☆日)	○レポートNo.2について 乗馬を経験した感想と今後の自分の健康について (◎月◎日)

教科	科目		担当者	
音楽	音楽 I Sa	単位数：1単位	溝口茜	
指導目標				
<p>(1) 楽器の演奏や様々な曲の視聴などの音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力の育成を目指す。</p> <p>(2) 音楽の基礎的な知識を増やすとともに、曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。</p> <p>(3) 演奏を通して音楽表現をするために必要な技能、表現を身に付ける。主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、感性を高め、音楽を愛好する心情を育む。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	教育出版 トゥッティプラス
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	SUZUKI トレモロカリン バキット
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価
回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		授業①楽典基礎 音楽の授業を受講においての注意事項を確認。鍵盤の長さや音程の関連性を理解する。 記譜法の知識を身に付ける。	授業③楽器作りと調律 楽器作りによって独創性を身につけ、自ら音程の調節を行うことにより、音を聴く力を身に付ける。	音程レポート (次の授業の前日まで)
2		授業②カリンバについて 聴いたことのある音色と楽器の紐づけを行う。楽器の種類による音色の違いを認識し、カリンバ楽器を基に楽器について学ぶ。	授業④楽典基礎2 記譜法から、音符の種類と五線譜の読譜力を身につける。既存の曲からリズムの練習と音階を理解し、曲の演奏を行う。	
3			授業⑤⑥輪唱・和音伴奏 輪唱や和音構成の知識を身に付け、曲の構成、演奏方法の幅を広げる。	音階の音源レポート (次の授業の前日まで)
4				
5			授業⑦記譜法 リズムの種類と音の長さの違いを学ぶ。音の長さや身の周りにある言葉との関連性から、音楽との密接な関わりを知る。	楽譜レポート (次の授業の前日まで)
6			授業⑧曲づくり これまでのリズムを組み合わせ、曲を作成する。リズムの種類の違いを把握し、音階構成音の中から音を取り出し曲を作り、表現法や独創性を	
7			授業のまとめと実技テスト (創作楽曲の演奏)	

教科	科目		担当者	
音楽	音楽 I Sb	単位数：1単位	溝口 茜	
指導目標				
<p>(1) 世界の音楽、日本の音楽の基礎知識を習得し、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(2) 各国の伝統的な楽器と曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付け、実際に創意工夫できるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、曲想と音楽構造や歴史的背景との関りを学び、音楽表現をするための必要な技能を身につける。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		「音楽 I Sa」を学習するにあたって 授業①和楽器について1 音楽の授業上の心得を伝える。日本の古典芸能と伝統楽器の関りを知り知識を身につけ、音楽の可能性を探る。	授業③民謡 日本各地の民謡を学び、音楽の基礎知識を養う。実際の演奏を聴きながら音階構成音と音楽、曲の内容を理解することで日本の伝統音楽の表現方法を学び創造性を養う。	音色の分析と授業内容のまとめ (次の授業の前日まで)
2		授業②和楽器について2 箏、三味線を中心に和楽器の音色を知り、知識を身につける。各楽器の音色を聴き比べ、音楽を聴く力と表現力を養う。	授業④世界の歌曲 イタリア、ドイツ、フランスの歌曲の学習 「サンタルチア」「わが太陽」「野ばら(違う作曲家による2作品の比較)」「おおシャンゼリゼ」の鑑賞により、音楽を聴く力と表現力を養う。	
3			授業⑤日本歌曲について 山田耕筰と北原白秋の原点を探る。世界の歌曲との比較を行う。歴史的背景から、作曲への思いを考え、鑑賞と分析をする。表現力と分析力を身に付ける。	授業内容レポート (次の授業の前日まで)
4			授業⑥オペラとミュージカルの原理 オペラ、オペレッタ、ミュージカルの構成や違いを歴史と代表作品から理解する。実際に歌唱をし、生徒にオペラ鑑賞の体感をさせ、表現力や柔軟な思考を身に付ける。	
5			授業⑦人と音とジャンルの関わり 同じ曲でも人、楽器、声帯によって表現方法や曲の雰囲気が変わることを学ぶ。比較することで分析力と表現力を養う。	
6			授業⑧創作演奏 管、弦、打楽器の種類の知識を基に、身の回りの物を利用し、楽器になるものを探る。	音源レポート (次の授業の前日まで)
7			総復習	

教科	科目		担当者	
音楽	音楽 II Sa	単位数：1単位		
指導目標				
『音楽 I』の内容を受けて、より豊かな表現と音楽的視野を広げることを目指すとともに、生涯学習につながる基礎を築くための学習を、より幅広いジャンルでの表現活動や鑑賞を通して行う。				
音楽に対する興味、関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む姿勢を身につける。				
音楽 I を基礎に音楽を通して自己表現する能力を養う。楽器の知識の習得を基に、より幅広い知識を持つことにより、音楽への愛好心を深めるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。また、音楽について知識を広げ、音楽の多様性を知覚し、興味関心を深め、柔軟な思考と意欲的に音楽活動に取り組む姿勢を身に着ける。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	教育出版 Tutti音楽 II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		授業①楽器の種類 オーケストラの音楽について知る。 「ラプソディ・イン・ブルー」を鑑賞し、楽器について、楽曲構成を学ぶ。	授業③オーケストラの構成 オーケストラの各楽器の配置を学ぶ。弦楽器、管楽器、打楽器について各楽器の音の違いを知り、楽器の構成を学ぶ。	授業のまとめ、鑑賞内容の分析と感想、楽器の配置を書く (次の授業の前日まで)
2		授業②オーケストラの曲 オーケストラ曲目について学ぶ。交響曲の構成から、曲目の解説を行う。トッカータとフーガ二短調とくるみ割り人形の基礎知識と楽曲構成を学ぶ。曲の分析を通し、楽器の種類と特徴を知る。	授業④吹奏楽の構成 楽器の構成、オーケストラとの違いを知り、知識を身に付け楽器の種類による音楽表現の可能性を見出す。	
3			授業⑤オリエント急行 吹奏楽による音楽における場面や物語を想像しながら聴くことで想像力を養う。	鑑賞内容の分析と感想 (次の授業の前日まで)
4			授業⑥パール・ギュント オーケストラによる音楽における場面や物語を想像しながら聴くことで想像力を養う。	
5			授業⑦表現の可能性 オペラでの「喜怒哀楽」の表現を通して、表現の可能性を探り、創造性を養う。	感情表現の分析の提出 (次の授業の前日まで)
6			授業⑧映像の効果音 映像と音の組み合わせを知り、様々な物と音の創造力を考察する	
7			授業のまとめ 実技テスト (映像に合わせた音の創作演奏)	

教科	科目		担当者	
音楽	音楽Ⅱ Sa	単位数：1単位	溝口 茜	
指導目標				
『音楽Ⅰ』の内容を受けて、より豊かな表現と音楽的視野を広げることを目指すとともに、生涯学習につながる基礎を築くための学習を、より幅広いジャンルでの表現活動や創作活動を行う。				
音楽に対する興味、関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む姿勢を身につける。				
音楽Ⅰを基礎に音楽を通して自己表現する能力を養う。楽器の知識の習得を基に、より幅広い知識を持つことにより、音楽への愛好心を深めるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な創作活動による自己表現の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。また、音楽について知識を広げ、音楽の多様性を知覚し、興味関心を深め、柔軟な思考と意欲的に音楽活動に取り組む姿勢を身につける。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	教育出版 Tutti音楽Ⅱ
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		授業① 今後の授業内容の説明カリンバの音程と音階 カリンバの音階を変更しチューニングを行い、音を聴く力を養う。	授業③ 長調の曲と短調の曲の演奏 教材を用いて音の変化を識別する力を養う。	ハ長調とハ短調の音源提出 (次の授業の前日まで)
2		授業② 音階と長調・短調 音の変化による曲調の見極めを行い、音楽表現の幅を広げる。	授業④ 和声 音楽Ⅰで学んだ3コードから幅を広げ、様々な和音を知り、応用を行う。	
3			授業⑤ リズム演習 様々なリズムによる曲想の変化を学び、実際の演奏により身に付ける。	創作楽曲と音源の提出 (次の授業の前日まで)
4			授業⑥ リズム演習2 リズムの知識を応用し、創作活動を行い創造性を養う。	
5			授業⑦ 和声演習1	テーマに沿った曲の提出
6			授業⑧ 和声演習2 リズムの知識を応用し、創作活動を行い創造性を養う。	
7			授業のまとめ 実技テスト (レポート課題の楽曲の演奏)	

教科	科目		担当者	
書道	書道 I s a	単位数： 1単位	木村 光彦	
指導目標 書道の多様な書体を学ぶ中に、篆書体を理解し、篆刻の文化を学習し、篆書体を石に刻むことを目標とする。 ①篆書体を学ぶ。 ②篆刻の歴史と文化を学ぶ。 ③印材(石)に篆書を写し印刀で刻む。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	光村図書
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	オリエンテーション 篆刻について学ぶ。 篆刻に必要な用具の説明。 篆刻に使われる篆書体を学ぶ。	篆刻に用いる、用具用材を理解する。篆書体を学ぶ。	第一回レポート 『篆刻を学ぼう』
2		篆書体を書き印材に写し印刀で彫る。	白文か朱文で彫るかを決め、篆書体を書く。	第二回レポート 「篆書体を書く」
3		篆刻を完成させる。	篆書体を書き印材に写す。印刀で彫る。	第三回レポート 「印箋に完成印を押す」
4			印刀で彫り試し押しをする。	
5			補刀をし篆刻を完成させる。	
6				
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
書道	書道 I s b	単位数： 1単位	木村 光彦	
指導目標 書道の幅広き活動をとおして、書に関する見方、考え方をはたらかせ、生活や社旗の中の文字や書、書の伝統文化と幅広く関わる資質、能力を育成することを目標とする。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	光村図書
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1		オリエンテーション 書写から書道へ。 書の古典の学び方。 書体の変遷について。	書写と書道の共通性と相違点、用具 用材の使い方を理解する。書体の変 遷と書の古典について学ぶ。	第一回レポート 『書写から書道へ』	
2		古典における唐の四大家の楷書 を学ぶ。 王羲之、空海の行書を学ぶ。	唐の四大家の楷書の特徴、書風を学 ぶ。欧陽詢の楷書を臨書する。	第二回レポート 「唐の四大家」について 第三回レポート「九成宮 醜泉銘」の臨書	
3		古典における楷書と行書を学んだこ とを生かし創作する。	顔真卿の「顔氏家廟碑」の書風、特 徴を学び臨書する。行書について学 び、王羲之の書、空海の書について 学ぶ。	第四回レポート 顔氏家廟碑」の臨書 第五回レポート 「王羲之、空海の書につ いて」	
4			王羲之の書「蘭亭序」の特徴と書風 を捉え臨書する。空海の書「風信 帖」の特徴と書風を捉え臨書する。	第六回レポート 『蘭亭序』の臨書 第七回レポート 『風信帖』の臨書	
5				古典の臨書から創作作品制作。	第八回レポート 「創作作品」
6					
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回					

教科	科目		担当者	
書道	ペン字演習	単位数： 2単位	木村 光彦	
指導目標 自ら書く喜びを知り、硬筆書写技能検定3級合格を目指して取り組む意欲を育成する。日常生活の様々な場面で、目的に応じたペン字表現があることを学ぶ。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 8 時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	硬筆書写技能検定合格のポイント 日本習字普及協会
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	・漢字の部首の名称 漢字(楷書)の筆順 (楷書、行書、を書く)	・漢字を構成している部首の名称を学ぶ。 ・教育漢字と常用漢字の筆順を学ぶ。	第一回レポート 「技能検定第7問・第8問」
2		・漢字仮名交じり文(縦書き)の書き方を学ぶ。	硬筆書写において縦書きは行書もちいて罫の中を書く	第二回レポート 「技能検定第3問」
3		・漢字仮名交じり文(横書き)の書き方を学ぶ。	・横書きの漢字仮名交じり文を、字の大きさや行間、全体の構成に注意して書く。	第三回レポート 「技能検定第4問」
4		・はがきの宛名書きを学ぶ。	受取人と差出人の住所、氏名を体裁よく書く。書く位置、文字の大きさ、行間のバランスを整えて書く。	第四回レポート 「技能検定第5問」
5		・硬筆書写技能検定3級 模擬試験	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
芸術	美術 I Sa	単位数： 単位1	谷川 竜次	
指導目標 芸術に親しみ、理解を深めるため、世界の美術を鑑賞し、作家のエピソードや美術作品の鑑賞を行う。遠近法を知る。奥行きのある絵を描き着色する。 美術の幅広い創造活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現活動と鑑賞の能力を伸ばす				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	光村図書 美術 I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	日本文教出版 表現と技法
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習内容		レポート (締切期日)
1～2 学習支援	/	第1回スクーリング オリエンテーション 鑑賞	受講内容の説明と美術作品の鑑賞及び作家の歴史、使用技法を説明する。	第1回レポート配布 授業最終日まで
3～4 スクーリング		第2回スクーリング 遠近法基礎1	遠近法の技術を知る。 1点透視図法の基礎を学ぶ	第2回レポート配布 授業最終日まで
5～6 スクーリング		第3回スクーリング 遠近法基礎2	遠近法の技術を知る。 1点透視図法の基礎を学ぶ 2点透視図法の基礎を学ぶ 3点透視図法の基礎を学ぶ	第3回レポート配布 授業最終日まで
7～8 スクーリング		第4回スクーリング 遠近法応用	学んだ技術を使って身の回りにある環境を遠近法を使って描く	レポートについての質疑応答
9～10 学習支援		総復習	遠近法の応用 消失点の考え方と数について	第1回～第3回 レポートの回収

教科	科目		担当者	
芸術	美術 I Sb	単位数： 単位1	谷川 竜次	
指導目標 芸術に親しみ、理解を深めるため、世界の美術を鑑賞し、作家のエピソードや美術作品の鑑賞を行う。鉛筆デッサンをする。明暗を考えた絵を描き着色する。 美術の幅広い創造活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現活動と鑑賞の能力を伸ばす。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	光村図書 美術 I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	日本文教出版 表現と技法
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習内容		レポート (締切期日)
1～2 学習支援		第1回スクーリング オリエンテーション 明暗のスケール	美術I受講上の心得と第1～5回までの内容を説明する。美術実習制作の楽しさを理解させる。 グラデーション演習 明度による色彩基礎 遠近法について	第1回レポート配布 授業最終日まで
3～4 スクーリング		第2回スクーリング デッサン 植木鉢 前半	目の前にある植木鉢を写実的に形をとらえる。 進学入試での心構えと対策 合格作品の鑑賞 デッサン 鉛筆画 制作	第2回レポート配布 授業最終日まで
5～6 スクーリング		第3回スクーリング デッサン 植木鉢 後半 色彩基礎演習 基本的な色彩理論	モノトーンの効果を理解しデッサンの技法を修得し平面の紙であるが立体的に表現する。 デッサン 鉛筆画 制作 色彩・配色の基礎知識を身につける。 (色の三要素・三原色・補色・トーンなど) 色彩・配色によるグラデーション	第3回/第4回レポート配布 授業最終日まで
7～8 スクーリング		第4回スクーリング トランスペアレンシー構成 色彩+線の構成	形体が重なることによって新しい形を生み出し色彩によって美しく表現する。 トランスペアレンシー構成 色彩+線の構成からの可能性	第5回/第6回レポート配布 授業最終日まで
9～10 学習支援		総復習	着色の応用 制作案の組み立て方 表現方法と素材の選択	第1回～第6回 レポートの回収

教科	科目		担当者	
芸術	美術Ⅱ Sa	単位数： 単位1	谷川 竜次	
指導目標 デザイン・絵画の重要な要素でもある色彩の基礎力・構成力を身に付け、色彩感覚を育てる。また、受験の対応・準備に備えるとともに身近な生活に活用できるデザイン力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	光村図書 美術Ⅱ
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし	合格枚数 3 枚	副教材	日本文教出版 表現と技法
レポート	全 3 回			
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習内容		レポート (締切期日)
1～2 学習支援		第1回スクーリング オリエンテーション 制作活動とは オリジナルすごろく コンセプト	美術Ⅱ受講上の心得と第1～5回までの内容を説明する。美術Ⅰの発展と応用について理解し色彩構成し制作に臨む。 進学するまで、進学後についての心得 オリジナルすごろくの作成 コンセプト作成	第1回/2回レポート配布 授業最終日まで
3～4 スクーリング		第2回スクーリング 動物の擬人化	人間以外のものに人間が持つ特長、特性を加えて進化させること。 コンセプト作成	第3回/4回レポート配布 授業最終日まで
5～6 スクーリング		第3回スクーリング 空想の世界 コンセプト	現実にはありえない事。実在しないもの。 私達が住む世界ではない新たな世界を作成。 コンセプト作成	第5回/6回レポート配布 授業最終日まで
7～8 スクーリング		第4回スクーリング ○○のデザイン	○○の中は自分で決め、この世界に存在しない新しいデザインのモノをつくる。 コンセプト作成	レポートについての質疑応答
9～10 学習支援		総復習	合評会	第1回～第6回 レポートの回収

教科	科目		担当者	
芸術	芸術鑑賞Sa	単位数： 単位1	谷川 竜次	
指導目標 芸術に親しみ、理解を深めるため、美術館に行き、文化財や美術作品の鑑賞の仕方を学ぶ				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし	合格枚数 3 枚	副教材	なし
レポート	全 6 回			
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		第1回スクーリング オリエンテーション 鑑賞方法と注意事項	受講上の心得と美術館での鑑賞上の注意、今回の展示内容までを説明する。	なし
2～4		第2回スクーリング 現地集合 美術館を楽しみながら学習 現地解散	美術館会場の空間の特性を理解し、会場における鑑賞者の気持ちや行動を考えた展示位置、作品の特性にあった照明の当て方も鑑賞を行う。また、会場における鑑賞者の気持ちや行動も観察する。	感想・気になった作品 作家についてピックアップ 3枚（翌週提出）

教科	科目		担当者	
芸術	総合造形a	単位数： 単位2	谷川 竜次	
指導目標 素材の性質を活かし造形することにより、素材の価値や造形美に触れる。				
学数支援授業	あり	授業数：全10回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：8時間以上		
メディア視聴	なし	合格枚数 3 枚	副教材	なし
レポート	全 3 回			
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習内容		レポート (締切期日)
1～2 学習支援		第1回スクーリング オリエンテーション 制作の流れ	総合造形a受講上の心得と第1～5回までの内容を説明する。実習制作の楽しさを理解させる。 土の性質 菊練りについて 道具の説明・手び練り実演	第1回レポート配布 授業最終日まで
3～4 スクーリング		第2回スクーリング 手び練り練習 鑑賞 デザイン案作成/制作	実演を見て技法を理解し、実際に簡単な円柱をつくる。 焼き物で何を作ることが可能か陶芸家の作品を鑑賞する。 デザインを考え制作に入る。	第2回レポート配布 授業最終日まで
5～6 スクーリング		第3回スクーリング デザイン案作成/制作	8割程度まで作業を進め、次週削りとヤスリの工程だけにする。制作途中、強度や空気が混入しそう等、判断したら案を見直し、無理のないデザインに変更する。	第3回/第4回レポート配布 授業最終日まで
7～8 スクーリング		第4回スクーリング 制作		第5回/第6回レポート配布 授業最終日まで
9～10 学習支援		総復習	着色の応用 制作案の組み立て方 表現方法と素材の選択	第1回～第6回 レポートの回収

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーション I Sa	単位数：1 単位		
指導目標 中学での既習事項を補完しつつ、身近なトピックを用いて高校英語の語彙、構文等を学習する。 学習した知識を用いて、自分の考えを表現したり、相手の意見をできる限り理解できるような能力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I ベーシックノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 過去形	○/●(△)□限 Lesson 1-1 What Did You Do In Japan?	○/●(△)
2		○/○(△)□限 進行形	○/●(△)□限 Lesson 1-2 What Did You Do In Japan?	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 助動詞 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 2-1 When Do You Feel Happy?	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 2-2 When Do You Feel Happy?	
5			○/☆(△)□限 Lesson 3-1 Onigiri Goes Overseas	
6			○/☆(△)□限 Lesson 3-2 Onigiri Goes Overseas	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションI Sb	単位数：1単位		
指導目標 中学での既習事項を補完しつつ、身近なトピックを用いて高校英語の語彙、構文等を学習する。 学習した知識を用いて、自分の考えを表現したり、相手の意見をできる限り理解できるような能力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I ベーシックノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 不定詞	○/●(△)□限 Lesson 4-1 Pictograms	○/●(△)
2		○/○(△)□限 動名詞	○/●(△)□限 Lesson 4-2 Pictograms	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 that節 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 5-1 Morita Yuko Hospita Facility Dog Handler	○/☆(△)
4		○/◎(△)□限 Lesson 5-2 Morita Yuko Hospita Facility Dog Handler		
5		○/☆(△)□限 Lesson 6-1 Convenience Stores : Keys To Their Success		
6		○/☆(△)□限 Lesson 6-2 Convenience Stores : Keys To Their Success		
			単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションI Sc	単位数：1単位		
指導目標 中学での既習事項を補完しつつ、身近なトピックを用いて高校英語の語彙、構文等を学習する。 学習した知識を用いて、自分の考えを表現したり、相手の意見をできる限り理解できるような能力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I ベーシックノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 現在完了形	○/●(△)□限 Lesson 7-1 High School Aquarium	○/●(△)
2		○/○(△)□限 受け身	○/●(△)□限 Lesson 7-2 High School Aquarium	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 比較 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 8-1 Smart Farming	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 8-2 Smart Farming	
5			○/☆(△)□限 Lesson 9-1 Food Waste	
6			○/☆(△)□限 Lesson 9-2 Food Waste	
			単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅡSa	単位数：1単位		
指導目標 コミュニケーション英語Ⅰ習得後の積み上げ科目として、英文内容を読み取る力を養い、表現方法を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1	/	○/○(△)□限 人に要求する(want/ask/tell+ 人+to不定詞) 受動態	○/●(△)□限 Lesson1 Places Worth Visiting 本文	○/●(△)	
2		○/○(△)□限 人に要求する(want/ask/tell+ 人+to不定詞) 進行形 疑問詞+to不定詞	○/●(△)□限 Lesson1 Places Worth Visiting 本文	○/◎(△)	
3		○/◇(△) ※限 進行形 疑問詞+to不定詞	○/◎(△)□限 Lesson1 Places Worth Visiting 文法	○/☆(△)	
4		/		○/◎(△)□限 Lesson2 Iwago Mitsuaki 本文	
5				○/☆(△)□限 Lesson2 Iwago Mitsuaki 本文	
6				○/☆(△)□限 Lesson2 Iwago Mitsuaki 文法	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回					

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅡSb	単位数：1単位		
指導目標 コミュニケーション英語Ⅰ習得後の積み上げ科目として、英文内容を読み取る力を養い、表現方法を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1	/	○/○(△)□限 分詞 現在分詞/過去分詞 不定詞	○/●(△)□限 Lesson3 The Haka 本文	○/●(△)	
2		○/○(△)□限 分詞 関節疑問 動名詞	○/●(△)□限 Lesson3 The Haka 本文	○/◎(△)	
3		○/◇ (△) ※限 関節疑問 動名詞	○/◎(△)□限 Lesson3 The Haka 文法	○/☆(△)	
4		/		○/◎(△)□限 Lesson4 Digital Detox 本文	
5				○/☆(△)□限 Lesson4 Digital Detox 本文	
6				○/☆(△)□限 Lesson4 Digital Detox 本文/文法	
	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションII Sc	単位数：1 単位		
指導目標 コミュニケーション英語I 習得後の積み上げ科目として、英文内容を読み取る力を養い、表現方法を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1		○/○(△)□限 不定詞 話し手の印象・判断を表す動詞 (seem)	○/●(△)□限 Lesson5 Goal Setting 本文	○/●(△)	
2		○/○(△)□限 話し手の印象・判断を表す動詞 (seem) 助動詞+ have + 過去分詞	○/●(△)□限 Lesson5 Goal Setting 本文	○/◎(△)	
3		○/◇ (△) ※限 助動詞+ have + 過去分詞 不定詞	○/◎(△)□限 Lesson5 Goal Setting 本文/文法	○/☆(△)	
4				○/◎(△)□限 Lesson6 The High School Hair Salon 本文	
5				○/☆(△)□限 Lesson6 The High School Hair Salon 本文	
6				○/☆(△)□限 Lesson6 The High School Hair Salon 本文/文法	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回					

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅡSd	単位数：1単位		
指導目標 コミュニケーション英語Ⅰ習得後の積み上げ科目として、英文内容を読み取る力を養い、表現方法を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 過去の時をつなぐ(過去完了形) 受動態 不定詞	○/●(△)□限 Lesson7 You Can Make a Difference 本文	○/●(△)
2		○/○(△)□限 過去の時をつなぐ(過去完了形) ～するもの [こと] (関係代名詞 what)	○/●(△)□限 Lesson7 You Can Make a Difference 本文	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 ～するもの [こと] (関係代名詞 what) 進行形 動名詞	○/◎(△)□限 Lesson7 You Can Make a Difference 本文/文法	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson8 Nudge 本文	
5			○/☆(△)□限 Lesson8 Nudge 本文	
6			○/☆(△)□限 Lesson8 Nudge 本文/文法	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現 I Sa	単位数： 単位		
指導目標 英語で論理的に正しく表現するための基礎知識を習得し、英作文や英会話の技術向上につなげる。英文法の項目に沿ってさまざまな表現を習得し、論理表現IIにつなげていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 肯定文 否定文 疑問文 現在形・現在進行形 過去形・過去進行形	○/●(△)□限 Lesson 4 My Friends	○/●(△)
2		○/○(△)□限 未来表現 現在完了 過去完了	○/●(△)□限 Lesson 5 My Family	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 助動詞(能力・許可・推量・必要・義務) 過去についての推量・後悔 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 6 Pastime	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 7 My Town	
5			○/☆(△)□限 Lesson 8 Our Teachers	
6			○/☆(△)□限 Lesson 9 Visiting a Museum	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現 I Sb	単位数： 単位		
指導目標 英語で論理的に正しく表現するための基礎知識を習得し、英作文や英会話の技術向上につなげる。英文法の項目に沿ってさまざまな表現を習得し、論理表現IIにつなげていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 不定詞の用法	○/●(△)□限 Lesson 12 Studying Abroad	○/●(△)
2		○/○(△)□限 過去分詞・現在分詞の用法	○/●(△)□限 Lesson 13 Advice	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 比較級・最上級 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 14 Hobbies	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 15 My Vacation	
5			○/☆(△)□限 Lesson 16 In a Zoo	
6			○/☆(△)□限 Lesson 17 Our Team	
単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現 II Sa	単位数：1単位		
指導目標 基本英文法と様々な英語表現を身につける。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 時制/完了形 現在形/現在進行形 過去形/過去進行形 現在完了形/現在完了進行形	○/●(△)□限 Lesson1 School Festival	○/●(△)
2		○/○(△)□限 受け身/不定詞 不定詞の動詞の語法 使役動詞/知覚動詞 不定詞の意味上の主語	○/●(△)□限 Lesson3 My Dear Friend	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 不定詞/動名詞 不定詞の完了形 不定詞の慣用表現 動名詞の慣用表現	○/◎(△)□限 Lesson5 Japanese Food	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson6 Volunteer Activities	
5			○/☆(△)□限 Lesson7 A Stage Actor	
6			○/☆(△)□限 Lesson8 I Like Singing	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現 I S b	単位数：1単位		
指導目標 基本英文法と様々な英語表現を身につける。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 好き嫌いを述べる表現 prefer/What's your favorite ~?/a big fan of~/be fond of ~/not care for/ dislikeなど	○/●(△)□限 Part2 Lesson1 What's your favorite dish?	○/●(△)
2		○/○(△)□限 希望・欲求を述べる want to~/would like to/hope to/would rather ~ than ..//feel like /be longing for ~	○/●(△)□限 Part2 Lesson Uniforms of casual clothes	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 賛成する・反対する agree with/ can't agree with more/ be favor of / I see what you mean/ I disagree with/ be against	○/◎(△)□限 Part3 Lesson3 Project studies program	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Part3 Lesson4 A guitar concert	
5			○/☆(△)□限 Lesson7 A Stage Actor	
6			○/☆(△)□限 Lesson5 Studying abroad	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
家庭	服飾手芸	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の制作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	住生活デザイン	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)快適な住空間の計画やインテリアデザインに関する課題を発見し、豊かな住生活の実現を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)豊かな住生活の実現を目指して自ら学び、住空間のデザインに主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	調理	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	実教出版 調理Book 基本・応用・理論
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	保育基礎	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1) 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	教育図書 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	消費生活	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)経済社会の動向、消費者の権利と責任、消費者と行政や企業との関わり及び連携の在り方などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)消費生活に関する課題を発見し、消費者の視点をもった職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい消費生活の実現を目指して自ら学び、消費者の支援や持続可能な社会の形成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	教育図書 消費生活
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	服飾文化	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)副食の変遷と文化、着装などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)服飾文化に関する課題を発見し、服飾文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)豊かな衣食住の実現を目指して自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	教育図書 服飾文化
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	フードデザイン	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協動的に取り組むし態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	教育図書 フードデザイン cooking & arrangement
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
家庭	家庭基礎	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者
工業	フォークリフト	単位数： 2 単位	
指導目標 フォークリフト技能講習修了証取得。 フォークリフトについての構造、安全、法律などの総合的な知識を習得するとともに、実習により運転技能を取得する。 キャタピラー教習所(株)近畿教習センター(茨木教習所)と共同で実施。			
学数支援授業	あり	授業数：全 4 回	教科書・学習図書 フォークリフト 運転者教本テキスト
スクーリング	1単位時間× 4	合格時間数： 4時間以上	
メディア視聴	なし	なし	副教材 なし
レポート	全3回	合格枚数3枚	
単位認定試験	なし		評定 5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		(1) 修了証取得までの流れ (2) 受講申込書作成について (3) レポート作成について	ガイダンス (学校)	
2		(1) 教習所で受講するにあたって (2) フォークリフトの安全性についての ビデオ鑑賞	ガイダンス (学校)	○/△(●)
3		(1) フォークリフトの基礎知識 (2) 走行装置の構造・機能 (3) 走行装置の取り扱い (4) 荷役装置の構造・機能 (5) 荷役装置の取り扱い ※学科試験	学科講習 (教習所)	
4		(1) フォークリフトの点検・整備 (2) 安全運転の心得 (3) 災害事例 (4) 関係法令	学科講習 (教習所)	
5		(1) 各部の名称の確認 (2) 乗降時の安全確認 (3) 各レバーの説明 (4) リフトの上げ下げ・前身・後進の練習	実技講習 (教習所)	
6		(1) コースを回る (2) フォークに荷物をのせて上げ下げ の練習 (3) フォークに荷物をのせてコースを まわる	実技講習 (教習所)	
7		(1) フォークに1トンの荷物をのせて コースをまわる (2) 本試験に備えて規定時間内の 練習 ※実技試験	実技講習 (教習所) ※資格取得のため原則、全出席	

教科	科目		担当者
工業	パワーショベル	単位数： 2 単位	
<p>指導目標 パワーショベル技能講習修了証取得。 パワーショベルについての構造、安全、法律などの総合的な知識を習得するとともに、実習により運転技能を取得する。 キャタピラー教習所(株)近畿教習センター(茨木教習所)と共同で実施。</p>			
学数支援授業	あり	授業数：全 2 回	教科書・学習図書 小型車両系建設機械 運転者教本テキスト
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4 時間以上	
メディア視聴	なし	なし	副教材 なし
レポート	全3回	合格枚数3枚	
単位認定試験	なし		評定 5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		(1) 修了証取得までの流れ (2) 受講申込書作成について (3) レポート作成について	ガイダンス (学校)	○/△(●)
2		(1)パワーショベルの基礎知識 (2)走行装置の構造・機能 (3)走行装置の取り扱い (4)作業装置の構造・機能 (5)作業装置の取り扱い	学科講習 (教習所)	
3		(1)各部の名称の確認 (2)乗降時の安全確認 (3)走行装置の扱いの練習 (4)作業装置の扱いの練習 ①掘削作業 ②くい打ち作業 ③機体の落下力による掘削 ④積み込み作業	実技講習 (教習所) ※資格取得のため原則、全出席	

教科	科目		担当者	
商業	ビジネス・マネジメント	単位数： 2単位		
指導目標 (1)ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2)ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	実教出版 ビジネス・マネジメント
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
商業	簿記	単位数： 2単位		
指導目標				
(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	実教出版 高校簿記
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
商業	ビジネス基礎	単位数： 2単位		
指導目標				
(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	実教出版 ビジネス基礎
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
商業	ビジネス・コミュニケーション	単位数： 2単位		
指導目標				
(1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	実教出版 ビジネス・コミュニケーション
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/			
2				
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
福祉	こころとからだの理解	単位数：2単位		
指導目標				
(1) 自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				
(2) 自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。				
(3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	実教出版 こころとからだの理解
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「こころとからだの理解」を 学習するにあたって ・こころとからだの理解 (概論)	○/● (△) □限 こころとからだの基礎的理解①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・高齢者の理解 (概論) ・障がい者の理解 (概論)	○/● (△) ※限 こころとからだの基礎的理解②	○/◎ (△)
3		○/◇ (△) □限 総復習	○/◎ (△) □限 生活支援に必要なこころとからだの しくみの理解	○/☆ (△)
4			○/◎ (△) ※限 発達と老化の理解	
5			○/☆ (△) □限 認知症の理解	
6			○/☆ (△) ※限 障害の理解	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
福祉	介護実習	2		
指導目標 (1) 介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。				
	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	ガイドヘルパー研修 テキスト 全身性障がい編
レポート	全 回	6		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		実習オリエンテーション	介護技術の実践① 移動介助の基本技術	
2		実習報告会および 修了証書授与	介護技術の実践② 移動介助の基本技術	
3		総復習	個人的な介護技術の実践① 交通機関利用の介助演習	
4		個人的な介護技術の実践② 交通機関利用の介助演習		
5		個人的な介護技術の実践③ 交通機関利用の介助演習		
6		個人的な介護技術の実践④ 交通機関利用の介助演習		
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回 資格取得のため原則全出席				

教科	科目		担当者	
福祉	介護総合演習	2		
指導目標				
(1) 地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。				
	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	事例で学ぶ知的障害者 ガイドヘルパー入門
レポート	全 回	6		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	実習オリエンテーション	介護演習① コミュニケーション実習	
2		事例研究	介護演習② コミュニケーション実習	
3		総復習	介護演習③ 外出介助実習	
4			介護演習④ 外出介助実習	
5			介護演習⑤ 外出介助実習	
6			介護演習⑥ 外出介助実習	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回 資格取得のため原則全出席				

教科	科目		担当者	
福祉	介護福祉基礎	2		
指導目標				
(1) 介護について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。				
(2) 介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。				
	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	実教出版 介護福祉基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	事例で学ぶ知的障害者 ガイドヘルパー入門
レポート	全 回	6		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		介護福祉の担い手	介護の意義と役割 障がい者（児）福祉制度と移動支援 事業	
2		介護従業者の倫理	介護を必要とする人の理解と介護① 障がい者（児）の心理	
3		総復習	介護を必要とする人の理解と介護② 障がい者の人権	
4		介護を必要とする人の理解と介護③ 障がいの理解（知的障がい）		
5		介護における安全確保と危機管理① 移動介助の基礎知識		
6		介護における安全確保と危機管理② 移動介助の基礎知識		
単位認定試験：（○/◇（△）※限） 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回 資格取得のため原則全出席				

教科	科目		担当者	
福祉	社会福祉基礎	単位数： 2 単位		
(1) 多様化する時代のライフスタイルを理解するとともに社会福祉及び関連の制度が自らの生活と深く関わっていることを理解する。 (2) 社会福祉に関する基礎的な知識を習得し現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに、人間としての尊厳の認識を深める。				
	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	実教出版社会福祉基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		・「社会福祉基礎を学習するにあたって」 ・社会福祉基礎（概論）	社会福祉基礎の基礎的理解①	
2		・生活と福祉（概論） ・高齢者、障がい者福祉（概論）	社会福祉基礎の基礎的理解②	
3		総復習	社会福祉の理念と意義	
4			高齢者福祉と介護保険制度	
5			障がい者福祉	
6			人間関係とコミュニケーション	
単位認定試験：（○/◇（△）※限） 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
福祉	生活支援技術	2		
指導目標				
(1) 自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。				
	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	実教出版 生活支援技術
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	ガイドヘルパー研修 テキスト 全身性障がい編
レポート	全 回	6		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	生活支援の考え方	生活支援の理解① 障がい者（児）福祉制度と移動支援事業	
2		他の職種との役割と協働	生活支援の理解② 障がい者（児）の心理	
3		総復習	生活の理解① 障がい者の人権	
4		自立に向けた生活支援 障がいの理解（全身性障がい）		
5		介護技術の基本① 移動介助の基礎知識		
6		介護技術の基本② 移動介助の基礎知識		
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回 資格取得のため原則全出席				

教科	科目		担当者	
地理歴史	地理総合	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>地理に関わる諸事象に関して、現在世界的な課題となっている地球環境問題と資源・エネルギー問題を取り上げる。概念の説明から現状を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けての力を養う。また、日本の地形と自然災害の関連を地球の構造を切り口に、双方の特色と因果関係を解説し、防災に向けて主体的な意識と追究の態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	東京書籍 地理総合
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		帝国書院 新詳高等地図
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史特講Sa	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)「古代」の社会や文化の特色について考察させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史図説・世界史用語集・山川一問一答世界史・詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「世界史特講Sa」を学習するにあたって ■文明の誕生 ■古代オリエント文明とその周辺 ■南アジアの古代文明 ■中国の古代文明 ■南北アメリカ文明	○/● (△) □限 文明の成立と古代文明の特質	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■中央ユーラシア ■秦・漢帝国 ■中国の動乱と変容 ■東アジア文化圏の形成	○/● (△) □限 中央ユーラシアと東アジア世界	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■仏教の成立と南アジアの統一国家 ■インドの古典文化とヒンドゥー教の定着 ■東南アジア世界の形成と展開	○/☆ (△) □限 南アジア世界と東南アジア世界の展開	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■イラン諸国家の興亡とイラン文明 ■ギリシア人の都市国家 ■ローマと地中海支配 ■キリスト教の成立と発展	○/☆ (△) □限 西アジアと地中海周辺の国家形成	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史特講Sb	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
(3)「中世」の社会や文化の特色について考察させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史図説・世界史用語集・山川一問一答世界史・詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「世界史特講Sb」を学習するにあたって ■アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ■ヨーロッパ世界の形成	○/● (△) □限 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■イスラーム教の諸地域への伝播 ■西アジアの動向	○/● (△) ※限 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■西ヨーロッパの封建社会とその展開 ■東ヨーロッパ世界の展開 ■西ヨーロッパ世界の変容 ■西ヨーロッパの中世文化	○/☆ (△) □限 ヨーロッパ世界の変容と展開	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■アジア諸地域の自立化と宋 ■モンゴルの大帝国	○/☆ (△) ※限 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史特講Sc	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
(3)「近世」の社会や文化の特色について考察させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史図説・世界史用語集・ 山川一問一答世界史・詳説世界史 ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「世界史特講Sc」を学習するにあたって ■アジア交易世界の興隆 ■ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○/● (△) □限 大交易・大交流の時代	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■オスマン帝国とサファヴィー朝 ■ムガル帝国の興隆 ■清代の中国と隣接諸地域	○/● (△) ※限 アジア諸帝国の繁栄	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■ルネサンス ■宗教改革 ■主権国家体制の成立	○/☆ (△) □限 近世ヨーロッパ世界の動向	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■オランダ・イギリス・フランスの台頭 ■北欧・東欧の動向 ■科学革命と啓蒙思想	○/☆ (△) ※限 近世ヨーロッパ世界の動向	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史特講Sd	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)「近代」の社会や文化の特色について考察させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史図説・世界史用語集・山川一問一答世界史・詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「世界史特講Sd」を学習するにあたって ■産業革命 ■アメリカ合衆国の独立と発展 ■フランス革命とナポレオンの支配 ■中南米諸国の独立	○/● (△) □限 産業革命と環大西洋革命	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ■列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ■アメリカ合衆国の発展 ■19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	○/● (△) ※限 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■西アジア地域の変容 ■南アジア・東南アジアの植民地化 ■東アジアの激動	○/☆ (△) □限 アジア諸地域の動揺	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■第2次産業革命と帝国主義 ■列強の世界分割と列強体制の二分化 ■アジア諸国の変革と民族運動	○/☆ (△) ※限 帝国主義とアジアの民族運動	○/◎ (△)
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史特講Se	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)「現代」の社会や文化の特色について考察させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史図説・世界史用語集・山川一問一答世界史・詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「世界史特講Se」を学習するにあたって ■第一次世界大戦とロシア革命 ■ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ■アジア・アフリカ地域の民族運動	○/● (△) □限 第一次世界大戦と世界の変容	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ■第二次世界大戦 ■新しい国際秩序の形成	○/● (△) ※限 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■冷戦の展開 ■第三世界の台頭とキューバ危機 ■冷戦体制の動揺	○/☆ (△) □限 冷戦と第三世界の台頭	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■産業構造の変容 ■冷戦の終結 ■今日の世界 ■現代文明の諸相	○/☆ (△) ※限 冷戦の終結と今日の世界	○/◎ (△)
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史探究Sa	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)「ローマ共和政」「ローマ帝国」「キリスト教の成立」「ゲルマン人の大移動」等について基本的な知識を学ぶとともに、ローマ世界の歴史的意義について考えさせる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「世界史探究Sa」を学習するにあたって ■ローマ共和政 ■地中海征服とその影響 ■内乱の1世紀	○/● (△) □限 ローマと地中海支配	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■ローマ帝国 ■帝国の変容 ■西ローマ帝国の滅亡	○/● (△) ※限 ローマと地中海世界	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■ローマの生活と文化 ■キリスト教の成立	○/☆ (△) □限 ローマと地中海世界	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■ヨーロッパの風土と人々 ■ゲルマン人の移動とイスラーム勢力の侵入	○/☆ (△) ※限 ヨーロッパ世界の形成	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史探究Sb	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
(3)「東アジアの風土と人々」から「魏晋南北朝の文化」までの基本的な知識を学ぶとともに、中国古代史を学ぶ意義について考えさせる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「世界史探究Sb」を学習するにあたって ■東アジアの風土と人々 ■中華文明の発生 ■殷・周王朝	○/● (△) □限 中国の古代文明	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■春秋・戦国時代 ■春秋・戦国時代の社会と文化	○/● (△) ※限 中国の古代文明	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■秦・漢帝国	○/☆ (△) □限 「皇帝」の出現 漢代の政治 漢代の社会と文化	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■動乱の時代 ■魏晋南北朝の社会と文化	○/☆ (△) ※限 中国の動乱と変容	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	世界史探究Sc	単位数：1単位		
指導目標				
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
(3)「封建社会の成立」「教会の権威」「十字軍とその影響」等について基本的な知識を学ぶとともに、西ヨーロッパ中世世界の歴史的意義について考えさせる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説世界史 (世界史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	詳説世界史ノート
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「世界史探究Sc」を学習するにあたって ■封建社会の成立 ■教会の権威	○/● (△) □限 ヨーロッパ世界の形成 西ヨーロッパの封建社会とその展開	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■十字軍とその影響 ■商業の発展 ■中世都市の成立	○/● (△) ※限 西ヨーロッパの封建社会とその展開	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■都市の自治と市民たち ■封建社会の衰退 ■教皇権の衰退	○/☆ (△) □限 西ヨーロッパの封建社会とその展開 西ヨーロッパ世界の変容	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■イギリスとフランス ■百年戦争とバラ戦争 ■スペインとポルトガル ■ドイツ・スイス・イタリア・北欧	○/☆ (△) ※限 西ヨーロッパ世界の変容	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史探究Sa	単位数：1単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
(2)「原始・古代」では、旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。				
(3)「中世」では、中世国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説日本史 (日本史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「日本史演習Sa」を学習するにあたって ■文化の始まり ■農耕社会の成立 ■古墳文化の展開 ■飛鳥の朝廷	○/● (△) □限 日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■律令国家への道 ■平城京の時代 ■律令国家の文化 ■律令国家の変容 ■摂関政治 ■国風文化 ■地方政治の展開と武士	○/● (△) ※限 律令国家の形成 貴族政治の展開	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■院政の始まり ■院政と平氏政権 ■鎌倉幕府の成立 ■武士の社会 ■モンゴル襲来と幕府の衰退 ■鎌倉文化	○/☆ (△) □限 院政と武士の躍進 武家政権の成立	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■室町幕府の成立 ■幕府の衰退と庶民の台頭 ■室町文化 ■戦国大名の登場	○/☆ (△) ※限 武家社会の成長	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史探究Sb	単位数：1単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 (2)「近世」では、近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説日本史 (日本史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「日本史演習Sb」を学習するにあたって ■織豊政権 ■桃山文化 ■幕藩体制の成立 ■幕藩社会の構造	○/● (△) □限 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■幕政の安定 ■経済の発展 ■元禄文化	○/● (△) ※限 幕藩体制の成立と展開②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■藩政の改革 ■宝暦・天明期の文化	○/☆ (△) □限 幕藩体制の動揺①	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■幕府の衰退と近代への道 ■化政文化	○/☆ (△) ※限 幕藩体制の動揺②	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史探究Sc	単位数：1単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
(2)「近代」では、近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させたり、近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	山川出版社 詳説日本史 (日本史探究)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「日本史演習Sc」を学習するにあたって ■開国と幕末の動乱 ■幕府の滅亡と新政府の発足	○/● (△) □限 近世から近代へ	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■明治維新と富国強兵 ■立件国家の成立	○/● (△) ※限 近代国家の成立	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■日清・日露戦争と国際関係 ■第一次世界大戦と日本 ■ワシントン体制 ■近代産業の発展 ■近代文化の発展 ■市民生活の変容と大衆文化	○/☆ (△) □限 近代国家の展開 近代の産業と生活	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■恐慌の時代 ■軍部の台頭 ■第二次世界大戦	○/☆ (△) ※限 恐慌と第二次世界大戦	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	歴史総合	単位数：2単位		
指導目標				
<p>(1)社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(3)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(4)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 新歴史総合
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「歴史総合」を学習するにあたって ■18世紀のアジアの繁栄 ■工業化の進展と国民国家の建設 ■結び付く世界と日本の開国 ■帝国主義とアジア諸国の変容	○/● (△) □限 近代化と私たち ～18世紀・19世紀の世界と日本～	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■第一次世界大戦と大衆社会	○/● (△) ※限 国際秩序の変化や大衆化と私たち① ～第一次世界大戦～	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■経済危機と第二次世界大戦 ■第二次世界大戦後の世界と日本	○/☆ (△) □限 国際秩序の変化や大衆化と私たち② ～第二次世界大戦～	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ■世界秩序の変容と日本	○/☆ (△) ※限 グローバル化と私たち ～冷戦から現代への世界と日本～	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
公民	公共	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に行き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 高等学校公共 これからの社会 について考える
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「公共」を学習するにあたって ■民主社会の基本原則 ■日本社会の基本原則	○/● (△) □限 公共的な空間における基本原則	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■法と契約 ■司法参加の意義	○/● (△) ※限 ルールを作り守る私たち	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■政治参加と民主政治の課題 ■国際政治の動向 ■国際政治の課題と日本の役割	○/☆ (△) □限 政治に参加する私たち	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■経済のしくみと産業の変化 ■市場経済のしくみと金融 ■財政と社会保障 ■国際経済の動向と課題	○/☆ (△) ※限 経済活動を行う私たち	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
公民	政治経済	単位数：2単位		
指導目標				
<p>(1)社会的事象の政治的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(2)近現代の政治の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の政治や国際関係を理解するとともに、諸資料から政治に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(3)近現代の経済体制の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、各国の経済体制に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(4)近現代の経済情勢の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の経済に対する関心、他国や他国の状況を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	東京書籍 政治・経済
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「政治経済」を学習するにあたって ■民主政治の成立 ■現代の民主政治	○/● (△) □限 民主政治の基本原則	第1・2回 ○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■資本主義経済の発展と変容 ■金融のしくみと機能	○/● (△) ※限 現代経済のしくみ	第3・4回 ○/● (△)
3		○/◎ (△) □限 ■戦後政治と政党 ■選挙と政治意識	○/☆ (△) □限 現代政治の特質と課題	第5・6回 ○/● (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■社会保障と福祉 ■雇用と労働問題	○/☆ (△) ※限 福祉社会と日本経済の課題	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
公民	倫理	単位数：2 単位		
指導目標				
(1) 倫理的主体として先哲との対話姿勢を涵養する。 (2) 先哲の様々な概念、理論を自己のあり方と結びつける。つまり垂直的な自己内対話を続ける。 (3) 民主社会をともに生きる他者と向き合う姿勢を身に着ける。つまり水平的対話を続ける。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2 時間以上		
メディア視聴			副教材	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・青年期の課題 ・アイデンティティの確立について ・ソクラテスからプラトン、アリストテレス	○/○ (△) □限 ◎人間の心のあり方 ・人間とは何か ・人間の心の働き ◎さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ ・ギリシャの思想	○/○ (△)
2		○/○ (△) □限 ・旧約聖書と新約聖書の成立 ・イエスと仏陀の生き方と弟子との関係 ・孔子と老子	○/○ (△) □限 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想	○/○ (△)
3		○/○ (△) □限 ・カントにいたる流れとヘーゲルのカント批判 ・ヘーゲル以降 ・実存哲学について ・それ以降の問い	○/○ (△) □限 ◎さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ・人格の尊厳と人倫の思想 ・理性への疑念	○/○ (△)
4		○/○ (△) □限 ・鎌倉仏教の展開 ・江戸期の儒教と国学	○/○ (△) □限 ◎国際社会に生きる自覚 ・仏教の日本的受容 ・儒教の日本的受容と国学の展開	
5		○/○ (△) □限 ◎倫理的主体として生きる (まとめ)	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
公民	公民演習g	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1) 歴史や国際情勢の観点から、ロシアによるウクライナ「侵攻」について考える。 (2) この事態に対する日本の立ち位置について考える。 (3) これからの国際秩序についても考察を進める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2 時間以上		
メディア視聴			副教材	プリント教材
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・ロシア革命の意義 ・社会主義について ・ソ連の崩壊の要因	○/○ (△) □限 ◎ソ連の誕生と崩壊	○/○ (△)
2		○/○ (△) □限 ・中世からロシア革命まで ・第一次大戦以降、独立と侵攻	○/○ (△) □限 ◎ウクライナの歴史	○/○ (△)
3		○/○ (△) □限 ・プーチンの論理とレトリック ・侵攻の過程	○/○ (△) □限 ◎ロシアによるウクライナ「侵攻」	○/○ (△)
4		○/○ (△) □限 ・ウクライナ支援の実態 ・日本の立ち位置	○/○ (△) □限 ◎ウクライナ支援のありよう	
5		○/○ (△) □限 ◎まとめ (今後の展望)	単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
公民	公民演習c	単位数： 2 単位		
指導目標 (1) 近世以降の「沖縄」の歴史を振り返りすることで、沖縄社会の課題を考える。 (2) 戦後の日本社会の矛盾が、沖縄に表れていることを理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2 時間以上		
メディア視聴			副教材	プリント教材
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・琉球王国から薩摩の支配へ ・大和世の実態	○/○ (△) □限 ◎近世の沖縄の歴史	○/○ (△)
2		○/○ (△) □限 ・沖縄戦の特徴	○/○ (△) □限 ◎アジア・太平洋戦下の沖縄	○/○ (△)
3		○/○ (△) □限 ・太平洋の要石としての沖縄 ・日米地位協定について	○/○ (△) □限 ◎米軍基地と沖縄	○/○ (△)
4		○/○ (△) □限 ・太田知事時代から現在まで ・米軍基地のいま	○/○ (△) □限 ◎復帰50年の沖縄	
5		○/○ (△) □限 ◎まとめ (変わらぬ現実、沖縄の文化について)	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	公民演習 f	単位数：2単位		
指導目標				
(1)現代に活躍する大人としての自覚を持たせるため、金融や資産に関する知識や課題を追究したり理解したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。				
(2)日本の租税制度を理解するとともに、諸資料から資産に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	配布プリント
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■様々な資産 ■金融とは	○/● (△) □限 資産に関する知識を知ろう	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■インフレ・デフレとは ■円高・円安とは	○/● (△) ※限 社会で動くお金の流れを知ろう	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ■金利とは ■有価証券とは	○/☆ (△) □限 資産形成の方法を知ろう	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ■納税の種類 ■投資に関する問題	○/☆ (△) ※限 資産運用のリスクを知ろう	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
情報	情報 I Sa	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)情報とICTを活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3)情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 情報 I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 4 回	合格枚数 4 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア ■情報とは何か ■情報源と情報の検証	情報社会の問題解決	
2		第1章 情報とメディア ■情報とメディアの特性 ■問題解決のプロセス	情報メディアと必要な考え方	
3		第2編 コミュニケーションと情報 デザイン 第1章 情報のデジタル表現 ■アナログとデジタル ■デジタル情報の表現 ■文字のデジタル表現	情報のデジタル表現①	
4		第1章 情報のデジタル表現 ■音のデジタル表現 ■画像のデジタル表現 ■動画のデジタル表現 ■データの圧縮	情報のデジタル表現②	
5		第2章 コミュニケーション手 段の発展 ■通信とコミュニケーション ■マスコミュニケーションの進 展 ■情報の発信とメディアの性質	ICTの発展とコミュニケーション	
6		第3章 情報デザイン ■情報を表現する方法 ■ユニバーサルデザイン	情報デザイン	
			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
情報	情報 I S b	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解させ、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について身に付ける。 (2)アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けること。 (3)社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解し、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けること。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 情報 I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 4 回	合格枚数 4 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		第3編 コンピュータとプログラミング 第1章コンピュータのしくみ ■コンピュータの構成 ■コンピュータのソフトウェア	ハードウェアとソフトウェア	
2		第2章プログラミング ■アルゴリズム ■プログラミング言語とは ■プログラミングの方法	プログラミング	
3		第3章モデル化とシミュレーション ■モデル化 ■シミュレーション	解決案の立案	
4		第4編 情報通信ネットワークとデータ活用 第1章ネットワークのしくみ ■コンピュータネットワーク ■通信プロトコル ■パケット通信	インターネットのしくみ	
5		第1章ネットワークのしくみ ■IPアドレスとドメイン名 ■WWWのしくみとURL ■電子メールの送受信のしくみ ■情報の暗号化	ネットワークのしくみ	
6		第2章データベース ■データベース 第3章データ分析 ■データのさまざまな形式 ■データの収集方法 ■データの分析	データサイエンス	
			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
情報	情報演習Saワード	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1) 情報の文書処理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 2 回	合格枚数 2 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		コンピュータの基本的な操作と文書処理	コンピュータの基本的な操作確認と文書処理ソフトウェアとは	
2		タイピング練習	ホームポジション練習	
3		タイピング練習	ホームポジションを意識しながら長文の速度入力	
4		ビジネス文書作成①	ワープロ検定4級で行われた過去の問題の文章入力	
5		ビジネス文書作成②	ワープロ検定3級で行われた過去の問題の文章入力	
6		ポスター制作	文書処理ソフトウェアでポスターを制作する。	
				単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第2回 スクーリング第1回～第6回

教科	科目		担当者	
情報	情報演習Sbエクセル	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1) 情報の文書処理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 2 回	合格枚数 2 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		表計算とは	コンピュータの使用法とExcelの基本的な操作	
2		数表作成とオートフィル	罫線を使った表の作成とオートフィル	
3		四則演算	数値計算とオートフィルの活用	
4		関数	合計や平均など基本的な関数	
5		関数2	if関数やVLOOKUP関数応用的な関数	
6		グラフの挿入 演習問題 (ABC分析)	ABC分析を活用したデータ分析とグラフの作成	
				単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第2回 スクーリング第1回～第6回

教科	科目		担当者	
情報	情報演習Scプログラミング入門	単位数： 1 単位		
指導目標				
<p>(1) コンピュータやデータベース及びネットワークシステムの仕組みについて理解するとともに、情報社会を支えているアルゴリズムやプログラミングに関する基礎的な知識と技術を身に付けること。</p> <p>(2) コンピュータやネットワーク及びプログラミングに関する課題を発見し、情報技術を活用することで創造的に解決すること。</p> <p>(3) コンピュータやネットワーク及び情報セキュリティについて自ら学び、情報社会の安全で持続的な発展のために主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 2 回	合格枚数 2 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		コンピュータの仕組み	ハードウェアとソフトウェア	
2		アルゴリズムとプログラム	アルゴリズム	
3		プログラミング (HTML) ①	Webページの仕組みとプログラム	
4		プログラミング (HTML) ②	CSSを使用したフォントの色の編集	
5		プログラミング (JAVA Script) ①	アラーム作成	
6		プログラミング (JAVA Script) ②	BMIの作成	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第2回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間S(2) いじめ考	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1) 「いじめ」の具体的な事例を通して、いじめを許さない豊かな人間関係を考える。				
(2) 被害者心理、加害者心理とそのメカニズムを学ぶことを通して、いじめを加害の問題として考察する。				
学数支援授業	あり	授業数：全2回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	プリント教材
レポート	全4回	合格枚数 4枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・定義と言葉の意味からの考察 ・いじめ防止対策推進法 ・大河内清輝さんの自死から学ぶ	○/○ (△) □限 ◎いじめの定義の変遷 ◎いじめの事例研究	○/○ (△)
2		○/○ (△) □限 ・中井久夫「いじめの政治学」 ① 孤立化 ② 無力化 ③ 透明化 ・いじめ体験を考えることの意味	○/○ (△) □限 ◎いじめの構造の把握 I	○/○ (△)
3				○/○ (△)
4				○/○ (△)
5				

教科	科目		担当者	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間S9 ～はじめての選挙～	単位数：1単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)選挙年齢の引き下げに伴う有権者としての自覚を持たせ、日本の政治や選挙に関する課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(2)近現代の政党や政治体制の変化に関わる諸事象について、他国と比較しつつ、選挙制度を理解するとともに、諸資料から選挙に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	総務省 わたしたちが拓く日本の未来
レポート	全2回	合格枚数2枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■政党とは ■選挙の種類 ■海外の選挙制度	○/● (△) □限 選挙権年齢引き下げの意義	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ■模擬選挙 ■日本政治の課題	○/● (△) ※限 日本の選挙制度の課題	○/◎ (△)
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間S (12) セクシュアル・ハラスメント研究	単位数： 1 単位		
指導目標 (1) セクシュアル・ハラスメントの被害に遭わないために、それを見抜く力と防止する力をワークショップ形式で学ぶ。 (2) その行為の文脈と状況を見ることでセクハラを否定する言説を論駁できることを学ぶ。				
学数支援授業	あり	授業数：全2回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：1 時間以上		
メディア視聴			副教材	プリント教材
レポート	全 4 回	合格枚数 4 枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・対価型と環境型のセクハラ ・背景としてのフェミニズム ・学校におけるセクハラ ・性別役割意識について	○/○ (△) □限 ◎セクシュアル・ハラスメントとはなにか ◎セクハラの実例研究 I	○/○ (△)
2		○/○ (△) □限 ・職場における環境型のセクハラ ・「言葉が現実を構成する」ことを学ぶ ・前回の事例をロールプレイにする ・異議申し立ての方法を学ぶ	○/○ (△) □限 ◎セクハラの実例研究 II	○/○ (△)
3				○/○ (△)
4				○/○ (△)
5				

教科	科目		担当者
キャリア	e-スポーツFPS講座	単位数： 2単位	
指導目標 ・プロゲーマーという職業について定義から学び、具体的な活動内容を理解する。 ・eスポーツ特にFPSにおけるチームコミュニケーションを理解する。 ・プロゲーマーという職業を理解した上でプレイヤーとして集団の中での立ち回りや連携力を身につける。 【実施場所：向陽台高等学校・eスポーツ施設エキチカ（またはEVOLVE） 実費費用：2,000円】			
学数支援授業	あり	授業数：全0回	教科書・学習図書
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上	
メディア視聴	なし		副教材
レポート	全4回	合格枚数4枚	
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/●(△)□限 ○自己紹介 eスポーツの市場の拡大と実際の競技シーンについて学ぶ。	○/●(△)□限 プロゲーマーという職業について定義から学ぶと同時に実際の活動を見て、日本や世界のチームの活動について学ぶ。	
2		○/●(△)□限 グループに分かれ、コミュニケーションについて学ぶ。実際にeスポーツについて体験する。①	○/●(△)□限 グループに分かれ、コミュニケーションについて学ぶ。実際にeスポーツについて体験する。②	1回・2回 ○/●(△)
3			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。	
4			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。	3回 ○/◎(△)
5			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。	
6			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。	4回 ●/●(△)
				レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第8回

教科	科目		担当者	
アート	e-スポーツ基礎講座	単位数： 2単位		
指導目標 ・ eスポーツの歴史や成り立ち、現在の競技シーンを学んでいく過程で、プロゲーマーの活動内容やマネタイズ方法を学ぶ。 ・ どのような職業であるかを理解する。実際に自身が体験しプロゲーマーという新しい職業について理解する。 ・ チームでの競技が多いことからチーム内のコミュニケーションについても実践的に学ぶ。 【実施場所：向陽台高等学校・eスポーツ施設エキチカ（またはEVOLVE） 実費費用：2,000円】				
学数支援授業	あり	授業数：全0回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全4回	合格枚数4枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	認定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1		○/●(△)□限 ○自己紹介 eスポーツの市場の拡大と実際の競技シーンについて学ぶ。	○/●(△)□限 プロゲーマーという職業について定義から学ぶと同時に実際の活動を見て、日本や世界のチームの活動について学ぶ。		
2		○/●(△)□限 グループに分かれ、コミュニケーションについて学ぶ。実際にeスポーツについて体験する。①	○/●(△)□限 グループに分かれ、コミュニケーションについて学ぶ。実際にeスポーツについて体験する。②	1回・2回 ○/●(△)	
3			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。		
4			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。	3回 ○/◎(△)	
5			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。		
6			○/☆(△)□限 eスポーツ施設を使い模擬的なチーム対抗の大会を行う。大会前にチーム内で戦略会議をし大会に望む。大会終了後に大会について振り返る。	4回 ●/●(△)	
				レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第8回	

教科	科目		担当者	
キャリア	eスポーツ大会運営講座	単位数： 2単位		
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ eスポーツの意味を理解する。 ・ eスポーツにおける大会の概要を理解する。 ・ 実際に大会で使用する機器を使い、大会運営を実践的に学ぶ。 				
【実施場所：向陽台高等学校 実費費用：1,000円（機材保険料）】				
学数支援授業	あり	授業数：全0回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全4回	合格枚数4枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	認定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1		○自己紹介 ○講義目的説明 eスポーツとは何かを学ぶ。	○/●(△)□限 大会運営概要を学ぶ。		
2		○/●(△)□限 大会運営概要を学ぶ。 グループに分かれ、大会の企画について学ぶ。大会の開催（配信や実況）について学ぶ①	○/●(△)□限 大会運営概要を学ぶ。 グループに分かれ、大会の企画について学ぶ。大会の開催（配信や実況）について学ぶ②	1回・2回 ○/●(△)	
3			○/☆(△)□限 実際の大会で使用する機器を使用し、模擬的な大会を開催する。 プレイヤーや、実況、配信オペレーターの役割に分かれ、様々な職業を体験する。		
4			○/☆(△)□限 実際の大会で使用する機器を使用し、模擬的な大会を開催する。 プレイヤーや、実況、配信オペレーターの役割に分かれ、様々な職業を体験する。	3回 ○/◎(△)	
5			○/☆(△)□限 実際の大会で使用する機器を使用し、模擬的な大会を開催する。 プレイヤーや、実況、配信オペレーターの役割に分かれ、様々な職業を体験する。		
6			○/☆(△)□限 実際の大会で使用する機器を使用し、模擬的な大会を開催する。 プレイヤーや、実況、配信オペレーターの役割に分かれ、様々な職業を体験する。	4回 ●/●(△)	
		レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第8回			

教科	科目		担当者	
キャリア	メディアリテラシー講座	単位数： 2単位		
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーとはなにか、特にSNSについて学び、SNSの利用方法について理解する。 ・発信者、受信者としての心構えを理解する ・iPadを使い、動画を制作し発信者としてのメディアリテラシーを実践的に学ぶ。 				
【実施場所：向陽台高等学校】				
学数支援授業	なし	授業数：全0回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全4回	合格枚数4枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	認定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1		○自己紹介 ○講義目的説明 メディアリテラシーとはなにかを学ぶ。	○/●(△)□限 SNSの歴史や、現在のSNSについて学ぶ。		
2		○/●(△)□限 グループに分かれ、スマホの過度な仕様による問題点について学ぶ。インフルエンサーの収益構造を学ぶ。①	○/●(△)□限 グループに分かれ、スマホの過度な仕様による問題点について学ぶ。インフルエンサーの収益構造を学ぶ。	1回・2回 ○/●(△)	
3			○/☆(△)□限 メディア発信者として、グループに分かれ、各グループ同じテーマに沿った動画制作を行う。 制作後各グループで発表相互評価を行い、それぞれの動画について振り返る。		
4			○/☆(△)□限 メディア発信者として、グループに分かれ、各グループ同じテーマに沿った動画制作を行う。 制作後各グループで発表相互評価を行い、それぞれの動画について振り返る。	3回 ○/◎(△)	
5			○/☆(△)□限 メディア発信者として、グループに分かれ、各グループ同じテーマに沿った動画制作を行う。 制作後各グループで発表相互評価を行い、それぞれの動画について振り返る。		
6			○/☆(△)□限 メディア発信者として、グループに分かれ、各グループ同じテーマに沿った動画制作を行う。 制作後各グループで発表相互評価を行い、それぞれの動画について振り返る。	4回 ●/●(△)	
				レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第8回	

教科	科目		担当者	
美容	エステ・メイク実習	単位数： 2単位		
指導目標				
キレイのコツを知って、自分のキレイを発見しよう。メディカルエステ専門学校へ実習に行き、メイクやエステの基礎を学ぶ。				
学数支援授業	あり	授業数：全2回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		【肌の基礎知識】 実習を行うための予備知識	【エステ講義】 ・アロマセラピーって何だろう	
2		【肌の基礎知識】 ターンオーバーとは何かを知る	【エステ実習】 アロマトリートメントとマッサージ ①	レポート第1・第2回
3			【エステ実習】 アロマトリートメントとマッサージ ②	
4			【メイク講義】 初めてのメイク講座～ベースメイク～	レポート第3・第4回
5			【メイク実習】 メイクアップ実習～セルフメイク～ 1	
6			【メイク実習】 メイクアップ実習～セルフメイク～ 2	レポート第5・第6回
評価はレポートと学習成果 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回				

教科	科目		担当者	
アート	ネットワーク実習	単位数： 2単位	後藤将治	
指導目標				
ホームページ作成の実習を通して、ネットワーク社会における「情報受信」「情報発信」について学習する。ホームページを作成するためのマークアップ言語であるHTMLの記述方法およびスタイルシートの役割を理解し、オリジナルホームページを作成する。				
学習支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	『はじめての無料でできるホームページ作成』秀和システム
レポート	全6回	合格枚数 6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		情報通信ネットワークの用語とその内容の理解・データ通信に関わる用語や電子商取引の形態等、基本的な用語とその内容について学ぶ。	・実習形式での操作を通してHTMLの基本的なタグについての理解を深めるとともに、文字、画像の表示方法やリンクの仕組みについて学習する。	
2		情報通信ネットワークの用語とその内容の理解・ネットワークの基本構成に関わる基本的な用語とその内容について学ぶ。	HTML言語の基本的なタグに関する理解・HPは、HTMLと呼ばれるルールに則って記述していくことで具体的なページが形作られることを理解し、htmlファイルの作成、編集、保存の手順を学ぶ。	レポート1・2回目 「データ通信・ネットワークの基本構成に関わる用語と内容の理解」
3			・ホームページをよりよくデザインするためのスタイルシートの役割について学ぶ。	
4			・自分の興味、関心に沿ったテーマでオリジナルのホームページを作成する。その際、インターネットの閲覧を可とし、膨大な情報の中から、必要なものを精選・収集する能力を身につける。	レポート3回目・実習課題① 「基本的なタグについて」 レポート4回目・実習課題② 「画像の表示やリンクについて」
5			・提供するコンテンツの内容、ページのレイアウトやデザイン、リンクの構成の仕方などを工夫する中で、情報受信者にとって分かり易い「情報発信の方法」について考える。	
6			・オリジナルホームページを作成する。授業をすべて振り返り、感想文を書く。	レポート5回目実習課題③ 「オリジナルホームページ作成」 レポート4回目感想文「実習を終えて」
				レポートと学習成果物（オリジナルホームページ）で評価する。

教科	科目		担当者	
ウェルネス	音楽療法（リトミック）	単位数： 2 単位	加戸敬子	
指導目標				
リトミックの歴史と手法、および、音楽療法との相違点について学ぶ 子どもの発達を促す、音楽教育としてのリトミックを音楽療法的視点から捉え、実践動画とワークにより理解を深める。				
学習支援授業	あり	授業数：全2回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：3時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1	/	【リトミック・導入】 リトミックの考案者について学び、その意義と効果を知る。	【リトミック・リズム楽器】 楽器を使ったリズム奏から、リズム楽器の種類と奏法を学ぶ。	レポート第1・2回実践動画から「身体運動を伴うリズム打ち」の記録と考察。実践動画から「即時反応」の記録と考察。	
2		【リトミック・リズム模倣】 身体発達に応じた楽器と合奏の方法	【リトミック・音の高低】 身体運動と伴った歌唱による音の高低の認知	レポート第3・4回実践動画から「リズム模倣」の記録と考察。実践動画から「音階のボディサイン」の記録と考察。	
3		/		【リトミック・音楽療法の観点から】 音楽からイメージする動きとストーリーの一致	レポート第5・6回実践動画から「イメージしながら歩く」の記録と考察。授業内で行ったコミュニケーションツールとしての楽器奏。
4				【リトミック・障がい児に対する音楽によるコミュニケーション】 リトミックを音楽教育と音楽療法の視点から、その意義と方法の相違点	
5					
6					
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第2回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回					

教科	科目		担当者	
アート	リノベーション講座	単位数： 単位		
指導目標				
建築リノベーションとしての、マンション室内改造プラン作成、マンション居室模型作成をおこなう。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	手書き復授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		建築の基本について	建築分野の現状	
2		建築リノベーションについて	マンション室内改造プラン作成①	レポート第1・第2回
3			マンション室内改造プラン作成②	
4			1.模型作成における基本 2.マンション居室模型作成①	レポート第3回・第4回
5			マンション居室模型作成②	
6			マンション居室模型作成③	レポート第5・6回
			単位認定はレポートの内容で認定する。	

教科	科目		担当者	
アート	英会話a	単位数： 2単位		
指導目標				
Learn basic conversation tools using the textbook Timezones 1 WORKBOOK ONLY				
学数支援授業	あり	授業数：全0回	教科書・学習図書	Hello there! English conversation (東京書籍)
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	Time Zone 1 Workbook (第3版)
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/●(△)□限 Introduce/ talk about yourself and your family① TZ1 Unit 1, Unit2	○/●(△)□限 Introduce/ talk about yourself and your family③ TZ1 Unit 1, Unit2	
2		○/●(△)□限 Introduce/ talk about yourself and your family② TZ1 Unit 1, Unit2	○/●(△)□限 Introduce/ talk about yourself and your family④ TZ1 Unit 1, Unit2	○/●(△) 1st report 2nd report
3			○/◎(△)□限 Talk about your room and habits TZ1 Unit 3, Unit4	
4			○/◎(△)□限 Talk about your people and things TZ1 Unit 5, Unit6	○/☆(△) 3rd report 4th report
5			○/☆(△)□限 Talk about favorite things to do and foof TZ1 Unit 7, Unit8	
6			○/☆(△)□限 Talk about hobbies and locations TZ1 Unit 9, Unit10	○/◎(△) 5th report 6th report
7			○/★(△)□限 Review	
8			○/★(△)□限 Review and tests	
レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第8回				

教科	科目		担当者	
ウェルネス	音楽療法（福祉分野）	単位数： 2単位	加戸敬子	
指導目標				
音楽療法を通して音楽の持つ生理的、心理的、社会的な作用について学び、様々な実践領域での音楽療法を、ワークを通して知る。講義と演習により保育、教育、施設での音楽の役割と利用法を学ぶ。				
学数支援授業	あり	授業数：全2回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)		
1	/	【音楽療法の歴史】 音・音楽とは 音楽の起源、音楽療法の歴史、 音楽の機能	【音楽療法の機能】 音楽のもつ生理的、心理的、社会 的、スピリチュアル機能			
2		【障がい児への音楽療法】 近代音楽療法の成り立ちと、障 碍児への音楽療法の意義と実 践、こどもホスピス	【高齢者への音楽療法】 認知症と音楽との関係 音楽を使った身体機能の維持促進	レポート第1回・第2回 授業内で説明した音の三 要素の復習・音楽の起源 に対する自身の意見。音 楽のもつ3つの作用につ いて説明		
3		/		【神経難病患者へ音楽療法】 神経難病の概要と音楽療法の果たす 役割	レポート第3・4回 授業内ワークについての まとめ。高齢者領域の音 楽療法のプログラムのま とめ。	
4				【精神科病棟での音楽療法】 精神障がいと病棟での音楽療法につ いて	レポート第5・第6回 心理療法としての音楽療 法の効果についてのまと め。精神科領域での音楽 療法の実践についてのま とめ。	
5				/		
6						
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第2回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第4回						

教科	科目		担当者	
アート	WEBマガジン編集講座	単位数： 2単位		
指導目標 今、モヤモヤを感じていることを自分が得意とする媒体で表現することで、問題や課題の外在化を図り、解決の糸口とする。作品は本校Webマガジンに掲載する（生徒の任意）。心理カウンセリングのエッセンスを活用する。 生徒自身が言語化できないような問題を明確化し、向き合えるようにしていく。その問題を表現することにより一種のカタルシスを実現する。				
学数支援授業	あり	授業数：全0回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全4回	合格枚数4枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	認定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○自己紹介 ○講義目的・内容説明	○テーマ&スタイルに応じたコンテンツ制作①	レポート第1回 ○問題意識と得意分野
2		○自分が抱えている問題の外在化	○テーマ&スタイルに応じたコンテンツ制作①	レポート第2回 ○フェルトセンスの抽出
3			○テーマ&スタイルに応じたコンテンツ制作②	レポート第3回 ○フェルトセンスの変化
4			○テーマ&スタイルに応じたコンテンツ制作②	レポート第4回 ○スクーリングを通じて得たこと
5			発表会 (= 単位認定試験)	
6			発表会 (= 単位認定試験)	
				レポート第1回～第4回 支援授業第1回～第2回 スクーリング第1回～第6回

教科	科目		担当者	
キャリア	日本文化論	単位数： 2単位		
指導目標 学生の読解力の低下が懸念される昨今、実際に文章を書く、あるいは組み立てることで、読解力の育成を図る。また、視点を変えて物語を構成することを通して、多様性のある視点を持つ力を育成する。 文章を書くための基本となる発想術を学ぶ。また、視点を変えることで、さまざまな物語を構成できることを実践によって身につける。				
学数支援授業	あり	授業数：全0回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	2単位時間×4	合格時間数：6時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全4回	合格枚数4枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評定

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○自己紹介 ○講義目的・内容説明 ○情報分析術	○オノマトベ ○帰納法と演繹法	レポート第1回 ○自己紹介文を書く(自己洞察)
2		○情報分析術	○オノマトベ ○帰納法と演繹法	レポート第2回 ○風が吹けば桶屋が儲かる作文
3			○文章のポジションとモード	レポート第3回 ○昔話の書き換え
4			○文章のポジションとモード	レポート第4回 ○映像の組合せによる物語づくり
5			○映像編集術	
6			○単位認定試験	
レポート第1回～第4回 支援授業第1回～第2回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
キャリア	動画編集講座	単位数： 2 単位		
指導目標				
・ 動画編集を通して、映像編集に関わる技術や知識を身につけ、自己表現やマーケティングに役立つ技能を習得する。 ・ 動画を撮影、編集し、15秒～60秒程度の動画を制作する。動画編集に関する技能と知識を習得する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	動画編集概要	・ 動画を構成する要素 ・ 動画編集に必要なハードウェア、ソフトウェアについて ・ 制作する動画のテーマ	
2		動画編集の技能	・ カメラワークについて ・ 撮影技法と映像表現 ・ 制作の途中経過と計画の確認	レポート第1・第2回
3		作品に関わる法律	・ 映像作品と著作権 ・ 制作の途中経過と計画の確認	レポート第3・第4回
4			・ 学習内容確認試験 ・ 制作動画視聴、合評	レポート第5・第6回
5				
6				
単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
国語	現代の国語S a 新	単位数： 1 単位		
指導目標				
学習単元：論理的な文章、実用的な文章				
学習の仕方を学び、基礎を固める。				
(1) 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する。				
(2) 文章の構成・図表などに含まれている情報を解釈する。				
(3) 根拠の示し方、説明の仕方を学び、自分の考えを深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新編現代の国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 新編現代の国語準拠ワーク 第一学習社 新版五訂カラー版新国語便覧
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味 ②思考・判断・表現：評論の読み方を学ぶ ③主体的に学習に取り組む態度：〇〇になるために、何をすればいいのかわかるか、という思考を学ぶ	書き手の意図をつかむ。 「目指す世界の地図を作る」鴻上尚史 ①地図を作るという比喩に込められた筆者のメッセージを読み取る。②表現について筆者の意図や効果うい考える。	第1回①②③
2		①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味・按分作り ②思考・判断・表現：形式段落と意味段落、例やたとえと筆者の考えを分けて読み、要旨をまとめる。③自分の考えを持つ。	文章の展開を把握する。 「時間とは何か」池内了 ①具体例を手がかりに、人間は時間をどのようにとらえているかを読み解く。②論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。	第2回①②
3		①知識・技能：漢字の書き取り・語句・接続詞・副詞②思考・判断・表現：東西の対比を読み取る。③主体的に学習に取り組む態度：四字熟語の意味から搭載の考え方理解し、自分の考えを持つ。	対比を読み取る 「水の東西」山崎正和 ①二つの文化の比較を通じて、それぞれの長を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。②日本と西洋の違いをみつけ、考察する。	第3回①②
4		書き言葉の技術 文章トレーニング①文章構造を理解する。②要約する。③比較する。④意見文を書く。100次要約の練習をする。	日常の中の文章 実用文の読み方、写真を文章で説明する、広告コピーを書く、表現の工夫を読みおる	
5		総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
国語	現代の国語Sb新	単位数： 1 単位		
指導目標 学習単元：論理的な文章、実用的な文章 学習の仕方を学び、基礎を固める。 (1) 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する。 (2) 文章の構成・図表などに含まれている情報を解釈する。 (3) 根拠の示し方、説明の仕方を学び、自分の考えを深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新編現代の国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 新編現代の国語準拠ワーク 第一学習社 新版五訂カラー版新国語便覧
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味 ②思考・判断・表現：筆者の考えを読み取る。 ③主体的に学習に取り組む態度：筆者の意見を参考にして、自分の考えを持つ。	コミュニケーションと言葉 「世間話はなぜするか」松井智子 ①他者との関係において、世間話や挨拶はどのような意味を持つと述べられているかをつかむ。②日常的な言葉のやりとりの背景や含意をつかむ。	第1回①②
2		①知識・技能：漢字の書き取り・接続語・副詞・助動詞 ②思考・判断・表現：指示語の指示内容や抽象的な表現を正確に読み取る。③主体的に学習に取り組む態度：自己の経験について簡潔に表現し他者に伝えることができる。	言葉の働きをとらえる。 「コインは円形か」佐藤信夫 ①具体例を読み解きレトリックの意義を理解する。②筆者の意見を踏まえて、自分の新式のしかたを振り返る。	第2回①②
3		①知識・技能：漢字の書き取り・接続語 ②思考・判断・表現：抽象的な表現を具体的に読み取る。③主体的に学習に取り組む態度：昔話のあらすじ、教訓を簡潔に表現して他者に伝えることができる。	根拠を読み取る 「わらしべ長者の経済学」梶井厚志 昔話の一般的な理解と対比させて、経済学の考え方をわかりやすく説明する筆者の意図を読み取る。	第3回①②
4		書き言葉の技術 文章トレーニング①文章構造を理解する。②要約する。③比較する。④意見文を書く。100次要約の練習をする。	社会の中の文章 グラフの読み方、文章の構成を工夫して提案する。課題を発見し解決策を考える。	
5		総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
国語	言語文化Sa新	単位数： 1 単位		
指導目標				
学習単元：古典・古典を解説した文章・近代以降の文学的な文章 中学からの学び直しから、基礎をゆっくり学習する。 (1) 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める。 (2) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。 (3) 深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばす。 (4) 言葉がもつ価値への認識を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新編言語文化
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 新編言語文化準拠ワーク 第一学習社 新版五訂カラー版新国語便覧
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		古文：古文に親しもう ①知識・技能：歴史的仮名遣いの読み方・古語の意味。歴史的背景 ②思考・判断・表現：有名作品に触れる。③主体的に学習に取り組む態度：冒頭部分を暗唱する。	言語文化と古文 古文の世界を楽しむ いろは歌・竹折物語・伊勢物語・古今和歌集仮名序・土佐日記・枕草子・源氏物語・方丈記・平家物語・徒然草・おくのほそ道	第1回①②③
2		漢文：日本語の中に生きる漢文 ①知識・技能：訓読の決まりを覚え、書き下し文にする。②思考・判断・表現：格言の意味を覚えて使えるようにする。③熟語の成り立ちを覚え、漢字検定に挑戦する。	言語文化と漢文 訓読のきまり・格言	第2回①②③
3		小説：小説の読み方を学ぶ、登場人物の感情を読み取る。 ①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味 ②思考・判断・表現：題名が持つ意味を考える。③主体的に学習に取り組む態度：自分にとっての思い出の食べ物について文章を書く。	言語文化と近現代 日本語を彩る地域のことば 「とんかつ」三浦哲郎	第3回①②③
4		古典文学史年表 中国文学史年表 近現代文学史年表	漢字伝来から平仮名の誕生、国風文化へ、歴史の流れと文学の流れをつかむ。	
5		復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
国語	言語文化Sb新	単位数： 1 単位		
指導目標				
学習単元：古典・古典を解説した文章・近代以降の文学的な文章 基礎をゆっくり学習し、固めていく。 (1) 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める。 (2) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。 (3) 深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばす。 (4) 言葉がもつ価値への認識を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新編言語文化
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 新編言語文化準拠ワーク 第一学習社 新版五訂カラー版新国語便覧
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		小説：小説の読み方を学ぶ、登場人物の感情を読み取る。 ①知識・技能：漢字の書き取り・語句の意味 ②思考・判断・表現：下人の心の変化をとらえる。③主体的に学習に取り組む態度：老婆の考え方と、下人の今後について考える。	受け継がれる古典 小説「羅生門」芥川龍之介 平安京と羅城門 平安時代について 作者について	第1回①②
2		古文：兼好法師の乱世を生き抜く知恵を読む。 ①知識・技能：古語の意味、時代背景 ②思考・判断・表現：エピソードから導き出された兼好法師の意見を理解する。③主体的に学習に取り組む態度：自分の知っている生活の知恵を紹介する。	現代にも生きる教え 古文「徒然草」兼好法師 高名の木登り 鎌倉時代について 作者について	第2回①②
3		漢文：故事を漢文で読み、成語の意味を覚える。①知識・技能：書き下し文にし、現代語訳をする。②思考・判断・表現：故事成語の意味を覚える。③主体的に学習に取り組む態度：多くの故事成語を覚え、短文を作る。	故事と成語 助長・漁夫の利・虎に井を借る 狐・管鮑の交わり、等	第3回①②
4		「羅生門」と「羅城門の二回に登って死人を見る盗人の話」との違いを考える。 「徒然草」や「故事成語」を今後の人生に役立てる。	比べ読み「今昔物語集」 古典への招待 「ジョブズと徒然草」嵐山光三郎 「故事成語を学ぶ」加藤徹	
5		総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
数学	数学入門 S a 新	単位数：1単位		
<p>指導目標</p> <p>中学の復習から、正の数・負の数の加減乗除、文字式の表し方・決まりを学習し、整式の加法・減法・乗法、展開の公式を学習する。</p> <p>計算の基本と文字式の計算について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学入門Sa新」を学習するにあたって ・正の数、負の数 ・分数計算	○/● (△) □限 計算の基本	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・文字を使った式 ・単項式と多項式	○/● (△) ※限 文字式	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・多項式の加法・減法 ・多項式の乗法	○/☆ (△) □限 多項式の計算	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・展開の公式	○/☆ (△) ※限 整式の展開	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学入門 S b 新	単位数：1単位		
指導目標 因数分解，根号を含む式の計算，方程式と不等式について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学入門Sb新」を学習するにあたって ・因数分解(1)	○/● (△) □限 因数分解	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・因数分解(2)	○/● (△) ※限 因数分解	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・平方根 ・根号を含む式の計算	○/☆ (△) □限 平方根	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・方程式 ・不等式	○/☆ (△) ※限 方程式・不等式	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅠS a 新	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 数と式 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をする。 ②集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 ③二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 ④不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求める。 (2) データの分析 ①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ②コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 ③具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅰ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学ⅠS a」を学習するにあたって ・簡単な無理数の計算 ・集合と命題	○/● (△) □限 数と集合①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・式の展開と因数分解 ・一次不等式	○/● (△) ※限 数と集合②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・データの代表値 ・分散、標準偏差	○/☆ (△) □限 データの散らばり	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・散布図、相関係数 ・仮説検定の考え方	○/☆ (△) ※限 データの相関	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S b 新	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 二次関数				
①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。				
②二次関数の最大値や最小値を求める。				
③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S b」を学習するにあたって ・関数 ・1次関数のグラフ	○/● (△) □限 二次関数とそのグラフ①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・二次関数のグラフ	○/● (△) ※限 二次関数とそのグラフ②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・二次関数の最大値・最小値	○/☆ (△) □限 二次関数の最大・最小	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・グラフと二次方程式 ・グラフと二次不等式	○/☆ (△) ※限 二次関数と二次方程式、二次不等式	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S c 新	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 図形と計量				
①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。				
②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。				
③正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S c」を学習するにあたって ・直角三角形 ・三角比	○/● (△) □限 三角比①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係	○/● (△) ※限 三角比②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・鈍角の三角比 ・正弦定理	○/☆ (△) □限 三角形への応用①	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・余弦定理 ・三角形の面積	○/☆ (△) ※限 三角形への応用②	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
外国語	ベーシック英語Sa新	単位数：1単位		
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 過去形	○/●(△)□限 Lesson1①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 現在進行形 過去進行形	○/●(△)□限 Lesson1②	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson1③	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson2①	
5			○/☆(△)□限 Lesson2②	
6			○/☆(△)□限 Lesson2③	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	ベーシック英語Sb新	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことをめざしていく。中学～高校基礎レベルの、英文法・英単語・成句・会話表現を習得する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 助動詞	○/●(△)□限 Lesson3①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 不定詞	○/●(△)□限 Lesson3②	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson3③	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson4①	
5			○/☆(△)□限 Lesson4②	
6			○/☆(△)□限 Lesson4③	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーション Sa新	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことをめざしていく。中学～高校基礎レベルの、英文法・英単語・成句・会話表現を習得する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 動名詞	○/●(△)□限 Lesson5①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 that節	○/●(△)□限 Lesson5②	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson5③	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson6①	
5			○/☆(△)□限 Lesson6②	
6			○/☆(△)□限 Lesson6③	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーション Sb新	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことをめざしていく。中学～高校基礎レベルの、英文法・英単語・成句・会話表現を習得する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 現在完了	○/●(△)□限 Lesson7①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 受け身	○/●(△)□限 Lesson7②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson7③	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson8①	
5			○/☆(△)□限 Lesson8②	
6			○/☆(△)□限 Lesson8③	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションI新	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことをめざしていく。中学～高校基礎レベルの、英文法・英単語・成句・会話表現を習得する。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	数研出版 COMET English Communication I
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 比較	○/●(△)□限 Lesson9①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 関係代名詞	○/●(△)□限 Lesson9②	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson9③	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson10①	
5			○/☆(△)□限 Lesson10②	
6			○/☆(△)□限 Lesson10③	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
国語	論理国語Saアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 論理国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いいずな書店 大学入試漢字TOP2000
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 データ・図表を活用して展開された主張を理解する	共同体のいま 「家族化するペット」	
2		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など、自分の考えを述べる。	自己と他者 「贈り物としてのノブレス・オブリージュ」	レポート 第1回
3		○/○ (△) □限 前景や前提、含意を補い、教材文の理解を深める	芸術と文化 「ミロのヴィーナス」	レポート 第2回
4		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など自分の考えを述べる	世界・言葉・私 「対話の精神」	レポート 第3回
5		○/○ (△) □限 復習 評論文の読解 筆者の主張を理解し、主張の背景を調べる中で自分の世界を広げ考えを深める。	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語Sbアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 論理国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いわずな書店 大学入試漢字TOP2000
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など自分の考えを述べる	グローバル化の先へ 「心に「海」を持って」	
2		○/○ (△) □限 ほかの教材文や参考文、資料と比較し考えを深める。	政治と社会 「であることとすること」①	レポート 第1回
3		○/○ (△) □限 わからないことや、さらに知りたいことなどを調べる 対立した考え方を分析、理解する	政治と社会 「であることとすること」②	レポート 第2回
4		○/○ (△) □限 データや図表などを活用して考えを深める。	日本語の多様性 「敬語への自覚・他者への自覚」	レポート 第3回
5		○/○ (△) □限 復習 評論文の読解 筆者の主張を理解し、主張の背景を調べる中で自分の世界を広げ考えを深める。	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語Scアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 論理国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いいずな書店 大学入試漢字TOP2000
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 わからないことや知りたいことを調べる	環境へのまなざし 「生物多様性の恩恵」	
2		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など自分の考えを述べる	言語の探究 「猫は後悔するか」	レポート 第1回
3		○/○ (△) □限 主張や根拠の妥当性・信頼性などを検討・吟味する	環境へのまなざし 「地球システムの中の人間」①	レポート 第2回
4		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など自分の考えを述べる	環境へのまなざし 「地球システムの中の人間」②	レポート 第3回
5		○/○ (△) □限 復習 評論文の読解 筆者の主張を理解し、主張の背景を調べる中で自分の世界を広げ考えを深める。	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語Sdアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 論理国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ほかの教材文や参考文、資料と比較し考えを深める	日本語の多様性 「方言コスプレ」現象	
2		○/○ (△) □限 わからないことや知りたいことを調べる	コミュニケーションの手段 「記号メディアと物理的メディア」	レポート 第1回
3		○/○ (△) □限 主張や根拠の妥当性・信頼性などを検討・吟味する	メディアの変容 「消費されるスポーツ」	レポート 第2回
4		○/○ (△) □限 評価・賛否・提案など自分の考えを述べる	存在への問い 「日常に走る亀裂」	レポート 第3回
5		○/○ (△) □限 復習 評論文の読解 筆者の主張を理解し、主張の背景を調べる中で自分の世界を広げ考えを深める。	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	文学国語S a アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)大学受験に必要な語彙力・読解力・表現力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 文学国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いはずな書店 大学入試漢字TOP2000
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ■「文学国語S a アド」を学習するにあたって ■小説の内容や構成、展開を理解する。 ■小説の情景や心情の描写を味わう。	○/● (△) □限 小説「山月記」①	
2		○/○ (△) ※限 ■文体の特徴や表現技巧について理解する。	○/● (△) ※限 小説「山月記」②	レポート 第1回
3		○/◎ (△) □限 ■作品の主題や成立した背景を踏まえ、解釈を深める。 ■随想について理解を深める。	○/☆ (△) □限 随想「陰翳礼讃」①	レポート 第2回
4		○/◎ (△) ※限 ■作品の内容を踏まえ、人間・社会・自然などに対するもの見方を深める。	○/☆ (△) ※限 随想「陰翳礼讃」②	レポート 第3回
5		○/◇ (△) □限 復習 さまざまな作品に触れる	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	文学国語S b アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)大学受験に必要な語彙力・読解力・表現力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	大修館 文学国語
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いはずな書店 大学入試漢字TOP2000
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■小説の内容や構成、展開を理解する。 ■小説の情景や心情の描写を味わう。 ■文体の特徴や表現技巧について理解する。	○/● (△) □限 小説「ころも」①	
2		○/○ (△) □限 ■小説の内容や構成、展開を理解する。 ■小説の情景や心情の描写を味わう。 ■文体の特徴や表現技巧について理解する。成立した時代の背景を理解する。	○/● (△) ※限 小説「ころも」②	レポート 第1回
3		○/○ (△) □限 ■小説の内容や構成、展開を理解する。 ■作者独特の感性を理解し心情の描写を味わう。 ■文体の特徴や表現技巧について理解する。	○/● (△) ※限 小説「檸檬」①	レポート 第2回
4		○/○ (△) □限 ■小説の内容や構成、展開を理解する。 ■作者独特の感性を理解し心情の描写を味わう。 ■文体の特徴や表現技巧について理解する。	○/● (△) ※限 小説「檸檬」②	レポート 第3回
5		○/◇ (△) □限 総復習 さまざまな作品に触れる	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究S a アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)文法事項の整理を通して、受験に対応できる力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社①「新国語便覧」 京都書房②「新修古典文法二訂版」③「新修古典文法二訂版ドリル編」 いづな書店④「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。②話の構成や展開を理解し、登場人物の行動や心情を味わう。	説話 「古本説話集」 「十訓抄」	
2		①説話文学の多様性とおもしろさを知り、古典への興味を養う。②登場人物たちの言動や心の動きが、どのように描写されているかを理解する。	説話 「古今著聞集」 物語 「伊勢物語」	レポート第1回
3		①登場人物たちの言動や心の動きが、どのように描写されているかを理解する。 ②物語の中で和歌が果たす役割について理解する。	物語 「伊勢物語」 「伊勢物語」	レポート第2回
4		①前述の「伊勢物語」と比較し、それぞれの個性や特色を味わい、初期仮名散文の魅力について考える。	物語 「竹取物語」	レポート第3回
5		説話、物語 総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究S b アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 (4)文法事項の整理を通して、受験に対応できる力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社①「新国語便覧」 京都書房②「新修古典文法二訂版」③「新修古典文法二訂版ドリル編」 いわずな書店④「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	①各章段の主題と、文章の構成・展開、表現の方法を理解する。②各章段に通底する作者のものの見方、考え方の特色を把握する。	随筆 「徒然草」	
2		①各章段に取り上げられた問題図が、時代を超えて現代においても人々が日常に遭遇する課題であることを理解する。	随筆 「方丈記」	レポート第1回
3		①表現技巧について理解する。 ②和歌と時代背景との関連を考えながら、和歌の理解を深める。	和歌 「万葉集」	レポート第2回
4		①表現技巧について理解する。 ②和歌と時代背景との関連を考えながら、和歌の理解を深める。 ③三歌集それぞれの独自の歌風を、比較して把握する。	和歌 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	レポート第3回
5		随筆・和歌・俳諧 総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究Scアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)文法事項の整理を通して、受験に対応できる力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社①「新国語便覧」 京都書房②「新修古典文法二訂版」③「新修古典文法二訂版ドリル編」 いづな書店④「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	①古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。②話の構成や展開を理解し、登場人物の行動や心情を味わう。	説話 「沙石集」	
2		①説話文学の多様性とおもしろさを知り、古典への興味を養う。②登場人物たちの言動や心の動きが、どのように描写されているかを理解する。	説話 「宇治拾遺物語」	レポート第1回
3		①随筆である「枕草子」の特色を、表現の面から理解する。②作品の書かれた時代の生活、知識、感情などを理解する。③同じ随筆である「徒然草」「方丈記」との時代の様相の違いを把握する。	随筆 「枕草子」	レポート第2回
4		①日記文学の世界に親しむ。②ある程度の長さの文章を読むことに慣れ、基礎学力を高める。③和歌にこめられた作者の思いを読み取る。	日記 「更級日記」	レポート第3回
5		説話・随筆・日記 総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究S d アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)文法事項の整理を通して、受験に対応できる力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社①「新国語便覧」 京都書房②「新修古典文法二訂版」③「新修古典文法二訂版ドリル編」 いいずな書店④「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①「大鏡」独特の戯曲的設定を認識し、その効果について考える。②敬語表現や会話独特の文末表現に注意して読み味わう。	物語 「大鏡」	
2		①軍記物語特有の語彙、語法、文体などに注意し、適切に口語訳する。②生き生きとした合戦描写や武人たちの人物造形を読み味わう。③「平家物語」全体を貫く諸行無常・盛者必衰の理想について理解する。	物語 「平家物語」	レポート第1回
3		①古典文学を造り育てた人々の、古典に寄せる真摯な思いを理解し、芸術・文化を尊重する気持ちを養う。	評論 「無名草子」	レポート第2回
4		①時代・分野の異なる評論を読み、話題にされている文学のジャンルを超えた共通点・相違点について考える。②各評論に示された個人のもの見方、感じ方を踏まえ、これまで学習した古典作品を味わい直す契機とする。	評論 「玉勝間」	レポート第3回
5		説話・物語・評論 総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典文学の世界 S a	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)文法事項の整理を通して、受験に対応できる力を養う。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	第一学習社 標準 古典探究
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社①「新国語便覧」 京都書房②「新修古典文法二訂版」③「新修古典文法二訂版ドリル編」 いづな書店④「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①長編物語の主人公・光源氏とこれを巡る諸人物たちの人間関係の諸相を理解する。②敬語表現や会話独特の文末表現に注意して読み味わう。	物語 「源氏物語」	
2		①平安朝の代表的な女性日記文学を読み味わい、その特色を理解する。②作者の生きた時代を味わい、作品にこめられた思いを読み取る。③日記文学の多様性に触れる。	日記 「蜻蛉日記」	レポート第1回
3		①助字や語法に注意して、正確に口語訳できるようにし、全体の内容を把握、理解する。②現在、日常的に使われる故事成語や格言の由来を知るとともに、中国人の知恵やものの見方・考え方に触れ、漢文学習への興味を持つ。	故事・寓話	レポート第2回
4		①漢詩について、詩形・押韻・構成などのきまりを理解する。②中国の詩を読み味わうことにより漢文の読解を深め、鑑賞力、ひいては、豊かな人間性を養う。③氏の表現を通して、そこにこめられた作者の心情をとらえる。	漢詩の鑑賞	レポート第3回
5		物語・日記・故事・寓話・漢詩の鑑賞 総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	古典文学の世界 S b	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)古文の基礎的な知識や文法事項を中心に、共通テストおよび一般入試レベルに対応できる読解力の定着を目指し、演習形式で学習する。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	いっぴな書店①「三訂版プログレス古文総演習標準編」②「三訂版わかる・読める・解ける Key&Point古文単語330」 第一学習社③「新国語使覧」 京都書房④「新修古典文法二訂版」⑤「新修古典文法二訂版ドリル編」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①京都産業大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。正格活用の動詞の確認。②法政大学の入試問題から軍記物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。変格活用の動詞の確認。	随筆 「徒然草」 物語 「平家物語」	
2		①神戸親和女子大学の入試問題から日本文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。形容詞の確認。②神戸学院大学の入試問題から説話文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。形容動詞の確認。	日記 「更級日記」 説話 「古今著聞集」	レポート第1回
3		①松山大学の入試問題から説話文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。受身の助動詞「る・らる」の確認。②佛教大学の入試問題から歌物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。使役の助動詞「す・さす・しむ」の確認。	説話 「古本説話集」 物語 「大和物語」	レポート第2回
4		①名城大学の入試問題から説話文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。打消の助動詞「ず」の確認。②京都産業大学の入試問題から江戸時代の文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「過去の助動詞「き・けり」の確認。	説話 「十訓抄」 評論 「癩癩談」	レポート第3回
5		説話・物語・随筆・評論の総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S現代文aアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いわずな書店 大学入試漢字TOP2000 プログレス現代文総演習
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第1回 第2回
2		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第3回 第4回
3		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第5回 第6回
4		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第7回 第8回
5		総復習 大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S現代文bアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いわずな書店 大学入試漢字TOP2000 プログレス現代文総演習
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第1回 第2回
2		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第3回 第4回
3		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第5回 第6回
4		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第7回 第8回
5		総復習 大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S現代文cアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いわずな書店 大学入試漢字TOP2000 プログレス現代文総演習
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第1回 第2回
2		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第3回 第4回
3		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第5回 第6回
4		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第7回 第8回
5		総復習 大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第8回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S現代文dアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたり自ら学び生きる力を身に付けるため、さまざまな文章やデータ・資料に対する理解力を養う。自己の考えを深め表現できるようにする。				
(2)語彙力・漢字力を養成することを通じて、思考力・判断力・表現力を高める。言語感覚を豊かにし、人間、社会、自然などに対し論理的・批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)受験に対応できる国語力を高める。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	第一学習社 カラー版新国語便覧 いわずな書店 大学入試漢字TOP2000 プログレス現代文総演習
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第1回 第2回
2		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第3回 第4回
3		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第5回 第6回
4		大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	大学入試問題演習	レポート 第7回 第8回
5		総復習 大学入試問題現代文の読解 入試に出題されやすいテーマとその理解 文章の構造・発問に対する答え方の理解 入試頻出の漢字と読解に必要な語彙力の 増強	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S 古典 a アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)古文の基礎的な知識や文法事項を中心に、共通テストおよび一般入試レベルに対応できる読解力の定着を目指し、演習形式で学習する。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	いわずな書店①「三訂版プログレス古文総演習標準編」②「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」第一学習社③「新国語使覧」京都書房④「新修古典文法二訂版」⑤「新修古典文法二訂版ドリル編」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①京都産業大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。正格活用の動詞の確認。②法政大学の入試問題から軍記物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。変格活用の動詞の確認。	随筆 「徒然草」 物語 「平家物語」	
2		①神戸親和女子大学の入試問題から日記文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。形容詞の確認。②神戸学院大学の入試問題から説話文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。形容動詞の確認。	日記 「更級日記」 説話 「古今著聞集」	レポート第1回
3		①松山大学の入試問題から説話文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。受身の助動詞「る・らる」の確認。②佛教大学の入試問題から歌物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。使役の助動詞「す・さす・しむ」の確認。	説話 「古本説話集」 物語 「大和物語」	レポート第2回
4		①名城大学の入試問題から説話文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。打消の助動詞「ず」の確認。②京都産業大学の入試問題から江戸時代の文学の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「過去の助動詞「き・けり」の確認。	説話 「十訓抄」 評論 「癩癩談」	レポート第3回
5		説話・物語・随筆・評論の総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S 古典b アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)古文の基礎的な知識や文法事項を中心に、共通テストおよび一般入試レベルに対応できる読解力の定着を目指し、演習形式で学習する。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	いづな書店①「三訂版プログレス古文総演習標準編」②「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」第一学習社③「新国語使覧」京都書房④「新修古典文法二訂版」⑤「新修古典文法二訂版ドリル編」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①愛知学院大学の入試問題から江戸時代の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。助動詞「なり・たり・まほし・たし・ごとし」の確認。②日本大学の入試問題から歴史物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。格助詞の確認。	俳文 「去来抄」 物語 「大鏡」	
2		①立教大学の入試問題から江戸時代の紀行文の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。副助詞・終助詞・間投助詞の確認。②西南学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。二種類の用法を持つ敬語の確認。	紀行文 「折々草」 随筆 「枕草子」	レポート第1回
3		①学習院大学の入試問題から歴史物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。二方面への敬語・二重敬語の確認。②関西学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。識別問題の確認。	物語 「大鏡」 随筆 「方丈記」	レポート第2回
4		①立命館大学の入試問題から軍記物語の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。識別問題の確認。②関西学院大学の入試問題から江戸時代の紀行文の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。助動詞の総復習。	物語 「平家物語」 紀行文 「三野日記」	レポート第3回
5		俳文・紀行文・随筆・物語 総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S 古典c アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)古文の基礎的な知識や文法事項を中心に、共通テストおよび一般入試レベルに対応できる読解力の定着を目指し、演習形式で学習する。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	いわずな書店①「三訂版プログレス古文総演習完成編」②「三訂版わかる・読める・解ける Key&Point古文単語330」 第一学習社③「新国語使覧」 京都書房④「新修古典文法二訂版」⑤「新修古典文法二訂版ドリル編」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①関西学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。用言の確認。②立命館大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「る・らる・す・さす」の確認。	説話 「十訓抄」 「古本説話集」	
2		①京都産業大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「き・けり・つ・ぬ・たり・り」の確認。②同志社大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「む・むず・らむ・けむ」の確認。	随筆 「徒然草」 日記 「讃岐典侍日記」	レポート第1回
3		①神戸女学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「べし・まし・らし・めり・なり」の確認。②駒澤大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。格助詞・接続助詞・係助詞の確認。	物語 「大鏡」 評論 「俊頼髄脳」	レポート第2回
4		①神戸学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。呼応の副詞、品詞分解の確認。②佛教大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。敬意の対象の確認。	物語 「浜松中納言物語」 説話 「古今著聞集」	レポート第3回
5		説話・随筆・日記・物語・評論 総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
国語	国語演習S 古典d アド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
(4)古文の基礎的な知識や文法事項を中心に、共通テストおよび一般入試レベルに対応できる読解力の定着を目指し、演習形式で学習する。				
学習支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	いわずな書店①「三訂版プログレス古文総演習完成編」②「三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330」第一学習社③「新国語使覧」京都書房④「新修古典文法二訂版」⑤「新修古典文法二訂版ドリル編」
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		①京都産業大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「に」の識別。②関西外国語大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「なむ」の識別。	評論 「紫文要領」 物語 「堤中納言物語」	
2		①立命館大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「けれ・し」の識別。②神戸学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「なり・なる」の識別。	日記 「蜻蛉日記」 説話 「宇治拾遺物語」	レポート第1回
3		①同志社大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「る・れ」の識別。②関西学院大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「らむ」の識別。	俳文 「藤箋冊子」 物語 「源氏物語」	レポート第2回
4		①神戸女子大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。「ぬ」の識別。②龍谷大学の入試問題から随筆の読み方および大学の傾向と対策を学ぶ。助動詞・助詞の総復習。	私家集 「建礼門院右京大夫集」 物語 「大鏡」	レポート第3回
5		評論・物語・俳文・私家集 総復習	単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学Ⅱ Sa7d	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 複素数と方程式 式の計算、複素数と方程式、式と証明を学習する。 2次方程式の理解を深め、高次方程式が理解でき、解けるようになること。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学Ⅱ Sa7d」を学習するにあたって ・式の展開と因数分解 ・二項定理 ・分数式の計算	○/● (△) □限 式の計算	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・複素数 ・2次方程式の解と判別式 ・解と係数の関係	○/● (△) ※限 複素数と方程式	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・多項式のわり算 ・因数定理	○/☆ (△) □限 剰余の定理・因数定理	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・高次方程式 ・等式の証明 ・不等式の証明	○/☆ (△) ※限 高次方程式・式と証明	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅡSbアド	単位数：1単位		
指導目標				
(2) 図形と方程式				
点と直線、円を学習する。				
直線、円という代表的な図形について方程式で表すことおよび領域について学習する。				
解析幾何の発想を学習し、図形の状況を文字式で考え、その式を解き調べるといった見方を身につけさせる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学ⅡSbアド」を学習するにあたって ・直線上の点 ・平面上の点	○/● (△) □限 点について	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・直線の方程式 ・2直線の関係	○/● (△) ※限 直線について	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・円の方程式 ・円と直線	○/☆ (△) □限 円について	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・軌跡 ・不等式と領域	○/☆ (△) ※限 軌跡・領域	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ⅡScアド	単位数：1単位		
指導目標				
(3) 三角関数 三角関数の基本をもとに、その特長を考え、活用することができるようにする。				
(4) 指数関数・対数関数 指数関数・対数関数の基本をもとに、その特長を考え、活用することができるようにする。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学ⅡScアド」を学習するにあたって ・一般角と三角関数 ・三角関数の相互関係 ・三角関数の性質 ・三角関数のグラフ	○/● (△) □限 三角関数	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・加法定理 ・いろいろな公式 ・弧度法	○/● (△) ※限 三角関数の応用	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・指数の拡張 ・累乗根 ・指数関数のグラフ	○/☆ (△) □限 指数関数	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・対数 ・対数の性質 ・対数関数のグラフ ・常用対数	○/☆ (△) ※限 対数関数	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学Ⅱ S d アド	単位数：1単位		
指導目標				
(5) 微分法と積分法				
1. 微分法 微分法という方法により関数の値の変化を調べるということを理解させる。				
2. 積分法 面積が積分法によって求められることを理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学Ⅱ S d アド」を学習するにあたって ・微分係数 ・導関数 ・接線	○/● (△) □限 微分法の基本	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・関数の増減 ・関数の極大値、極小値 ・関数の最大値、最小値	○/● (△) ※限 微分法の応用	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・不定積分 ・定積分	○/☆ (△) □限 積分法の基本	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・定積分と面積	○/☆ (△) ※限 積分法の応用	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASaアド	単位数： 1単位		
指導目標				
(1)場合の数と確率（場合の数）				
①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解する。				
②具体的な事象の考察などを通して、順列・いろいろな順列・組合せの意味について理解し、その総数を求める。				
(2)場合の数と確率（確率）				
①確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、事象の確率を求める。				
②不確定な事象を数量的にとらえ、事象を数学的に考察し処理できるようにする。				
③余事象の意味を理解し、確率の求め方を理解する。				
④独立な試行の確率や反復試行の確率の求め方を理解する。				
⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求める。				
⑥物事を判断する場合に、起こりうる期待を数値で表すことの有意義性を理解し、その値を確率の考えを利用して表す。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ・「数学A」を学習するにあたって ・集合 ・集合の要素の個数 ・和の法則と積の法則	○/○(△)□限 場合の数①	○/○(△) 第1回
2		○/○(△)□限 ・順列 ・組合せ	○/○(△)□限 場合の数②	○/○(△) 第2回
3		○/○(△)□限 ・事象と確率 ・確率の計算	○/○(△)□限 確率①	○/○(△) 第3回
4		○/○(△)□限 ・独立な試行と確率 ・条件つき確率 ・期待値	○/○(△)□限 確率②	
5		○/○(△)□限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASbアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)図形の性質（平面図形）				
①平面図形の性質についての理解を深め、活用できるようにする。				
②三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
③円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
(2)数学と人間の生活（整数の性質）				
①素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察する。				
②ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、二つの整数の最大公約数を求める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ・「数学A」を学習するにあたって ・図形の基本 ・角の二等分線と線分の比	○/○(△)□限 図形の性質①	○/○(△) 第1回
2		○/○(△)□限 ・三角形の外心、内心、重心 ・円周角の定理	○/○(△)□限 図形の性質②	○/○(△) 第2回
3		○/○(△)□限 ・円に内接する四角形 ・円の接線 ・方べきの定理	○/○(△)□限 図形の性質③	○/○(△) 第3回
4		○/○(△)□限 ・約数と倍数 ・ユークリッドの互除法	○/○(△)□限 数学と人間の活動	
5		○/○(△)□限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学Bsaアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
1. 数列とその和・・・・・・・・(1)等差数列と等比数列 ① 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。 ② いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し事象の考察に活用すること。 2. 漸化式と数学的帰納法・・・ (1) 漸化式と数列 漸化式について理解し、簡単な漸化式で表される数列について、一般項を求めること、また、漸化式の考察に活用すること。 (2) 数学的帰納法 数学的帰納法について理解し、それをを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること、				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	新 高校数学B (数研出版)
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/◇ (△) ■限 (1)数列 (2)等差数列	○/◇ (△) ■限 数列とその和(1)	○/◇ (△)
2		○/◇ (△) ■限 (1)等比数列 (2)複利法と等比数列	○/◇ (△) ■限 数列とその和(2)	○/◇ (△)
3		○/◇ (△) ■限 (1)階差数列 (2)和の記号Σ	○/◇ (△) ■限 数列とその和(3)	○/◇ (△)
4		○/◇ (△) ■限 (1)漸化式 (2)数学的帰納法	○/◇ (△) ■限 漸化式と数学的帰納法	
5		○/◇ (△) ■限 総復習	単位認定試験：○/◇ (△) ■限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学BSbアド	単位数： 1 単位		
S				
学数支援授業	あり	授業数：全 5 回	教科書・学習図書	新 高校数学B (数研出版)
スクーリング	1単位時間× 4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり	単位認定試験	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/◇ (△) ■限 第1節 確率分布 (1)確率 (2)確率変数と確率分布	○/◇ (△) ■限 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布(2)	○/◇ (△)
2		○/◇ (△) ■限 (1)二項分布 (2)確率密度関数	○/◇ (△) ■限 第1節 確率分布(3)	○/◇ (△)
3		○/◇ (△) ■限 (1)正規分布 (2)二項分布と正規分布	○/◇ (△) ■限 第1節 確率分布(4)	○/◇ (△)
4		○/◇ (△) ■限 (1)母集団と標本 (2)母平均の推定 (3)仮説検定	○/◇ (△) ■限 第3節 統計的な推測	
5		○/◇ (△) ■限 総復習	単位認定試験：○/◇ (△) ■限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学C Saアド	単位数： 1単位		
指導目標				
ベクトル				
①平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。				
②ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ③座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。				
④実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。				
⑤ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 最新数学C
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/● (△) □限 ・「数学C Saアド」を学習するにあたって ・ベクトル ・ベクトルの和・差 ・ベクトルの実数倍 ・ベクトルの成分と演算	○/● (△) □限 平面上のベクトル (1)	○/● (△) □限
2		○/● (△) □限 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル	○/● (△) □限 平面上のベクトル (2)	○/● (△) □限
3		○/● (△) □限 ・ベクトルと平面図形 ・ベクトル方程式	○/● (△) □限 ベクトルと平面図形	○/● (△) □限
4		○/● (△) □限 ・空間の座標 ・空間ベクトル	○/● (△) □限 空間ベクトル	
5		○/● (△) □限 ・総復習	単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学C Sbアド	単位数： 1 単位		
指導目標				
平面上の曲線と複素数平面 ①放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 ②曲線の媒介変数表示について理解すること。 ③極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解すること。 ④複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解すること。 ⑤ド・モアブルの定理について理解すること。				
学数支援授業	あり	授業数：全 5 回	教科書・学習図書	数研出版 最新数学C
スクーリング	1単位時間× 4	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/● (△) □限 ・「数学C Sbアド」を学習するにあたって ・複素数平面 ・複素数の和と差 ・複素数の極形式	○/● (△) □限 複素数平面 (1)	○/● (△) □限
2		○/● (△) □限 ・ド・モアブル ・複素数と平面図形	○/● (△) □限 複素数平面 (2)	○/● (△) □限
3		○/● (△) □限 ・放物線 ・楕円 ・双曲線	○/● (△) □限 2次曲線 (1)	○/● (△) □限
4		○/● (△) □限 ・媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータといろいろな図形	○/● (△) □限 2次曲線 (2)	
5		○/● (△) □限 ・総復習	単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第4回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学演習Saアド	単位数： 1単位		
指導目標				
(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。				
(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	作成プリント
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 「数学演習Saアド」を学習するにあたって 式の展開と因数分解	○/● (△) □限 数と式	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 正弦定理・余弦定理	○/● (△) ※限 図形と計量	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 二次関数の最大・最小	○/☆ (△) □限 二次関数	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 分散、標準偏差	○/☆ (△) ※限 データの分析	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学演習S b アド	単位数： 1単位		
指導目標				
<p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	作成プリント
レポート	全 3 回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 「数学演習Sbアド」を学習するにあたって 平面図形	○/● (△) □限 図形の性質①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 空間図形	○/● (△) ※限 図形の性質②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 場合の数	○/☆ (△) □限 場合の数と確率①	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 確率	○/☆ (△) ※限 場合の数と確率②	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学演習Scアド	単位数： 1単位		
指導目標				
<p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	作成プリント
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 「数学演習Scアド」を学習するにあたって 高次方程式 軌跡と領域	○/● (△) □限 いろいろな式 図形と方程式	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 指数の拡張 対数	○/● (△) ※限 指数関数・対数関数	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 三角関数の加法定理	○/☆ (△) □限 三角関数	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 微分係数と導関数 面積	○/☆ (△) ※限 微分・積分の考え	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学演習Sdアド	単位数： 1単位		
指導目標				
<p>(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(4) 大きさや向きをもった量に着目し, 演算法則やその図形的な意味を考察する力, 図形や図形の構造に着目し, それらの性質を統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	作成プリント
レポート	全 3 回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 「数学演習Sdアド」を学習するにあたって 漸化式と数列	○/● (△) □限 数列	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 正規分布	○/● (△) ※限 統計的な推測	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ベクトルの内積	○/☆ (△) □限 ベクトル	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ド・モアブルの定理	○/☆ (△) ※限 平面上の曲線と複素数平面	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語演習（読解）Sアド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の短文・中文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 View point (Standard) ②駿台文庫 システム英単語（5訂版）
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 名詞（句）を説明する表現① (前置詞句/関係代名詞①)	○/●(△)□限 Lesson 1 ①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 名詞を説明する表現② (現在・過去分詞/関係代名詞 ②)	○/●(△)□限 Lesson 1 ②	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 1) and/but/orの接続詞の働き 2) 総復習+ Lesson4	○/◎(△)□限 Lesson 2 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 2 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 3 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 3 ②	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションSaアド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の短文・中文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 View point (Standard) ②駿台文庫 システム英単語（5訂版）
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①that+完全な文=that節(名詞節) ②関係代名詞thatとの違い	○/●(△)□限 Lesson 5 ①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①what節=things which(that)~ ②It seems that as if~の用法	○/●(△)□限 Lesson 5 ②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 1) and/but/orの接続詞の働き 2) 総復習+Lesson8	○/◎(△)□限 Lesson 6 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 6 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 7 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 7 ②	
			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションII S b アド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の短文・中文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試基本編) ②駿台文庫 システム英単語（5訂版）
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①SV構造の把握 ②Lesson1～3の内容把握 ③設問	○/●(△)□限 Lesson 1 ①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①倒置文(前置詞句+VS) ②法(名詞・代名詞・that節 (名詞節)・関係代名詞・同格)の用法	○/●(△)□限 Lesson 1 ②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 1) What 節(関係詞、間接疑問節) 2) 総復習+Lesson4	○/◎(△)□限 Lesson 2 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 2 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 3 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 3 ②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションII Scアド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の短文・中文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試基本編) ②駿台文庫 システム英単語（5訂版）
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①関係副詞whereの用法 ②Lesson 5～6の内容把握 ③設問	○/●(△)□限 Lesson5①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①The+比較級, the+比較級 ②there is no A that is ~の用法 ③keep+ O + from～ingの用法	○/●(△)□限 Lesson5②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 1) Lesson 7 内容把握 2) 総復習	○/◎(△)□限 Lesson6①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson6②	
5			○/☆(△)□限 Lesson7①	
6			○/☆(△)□限 Lesson7②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅡSdアド	単位数：1 単位		
指導目標 英語の短文・中文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 COMET English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試基本編) ②駿台文庫 システム英単語（5訂版）
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①現在分詞・過去分詞の用法 ②関係詞whoseの用法 ③設問	○/●(△)□限 Lesson 9 ①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①whatの用法 ②Neither A, B nor C ③make+O+Cの用法	○/●(△)□限 Lesson 9 ②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 1) Lesson 1 1 内容把握 2) 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 1 0 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 1 0 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 1 1 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 1 1 ②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語演習 (文法) Sアド	単位数：1 単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことを目指していく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	いいずな書店 be English Grammar26
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 英語の語順 第1文型～第5文型 自動詞と他動詞 There + be動詞	○/●(△)□限 Lesson1	○/●(△)
2		○/○(△)□限 時制 現在形/現在進行形 過去形/過去進行形 未来表現	○/●(△)□限 Lesson2	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 完了形 現在完了形 過去完了形 未来完了形	○/◎(△)□限 Lesson4	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson5	
5			○/☆(△)□限 Lesson6	
6			○/☆(△)□限 Lesson7	
			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現 I Saアド	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことを目指していく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	いいずな書店 be English Grammar26
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 助動詞 can/may must/cannot/should/ought to had better	○/●(△)□限 Lesson8	○/●(△)
2		○/○(△)□限 助動詞 will/shall/would/used to 助動詞+完了形	○/●(△)□限 Lesson9	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 受動態 助動詞を使う受動態/進行形と 完了形の受動態 群動詞を使った受動態	○/◎(△)□限 Lesson10	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Supplement3	
5			○/☆(△)□限 Lesson11	
6			○/☆(△)□限 Supplement4	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現 I Sbアド	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことを目指していく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	いいずな書店 be English Grammar26
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 不定詞 名詞用法/副詞用法/形容詞用法 不定詞の進行形,完了形,受動態 原形不定詞を使う用法	○/●(△)□限 Lesson12/13	○/●(△)
2		○/○(△)□限 動名詞 動名詞の完了形,受動態 動名詞を目的語にする動詞/不 定詞を目的語にする動詞	○/●(△)□限 Lesson14	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 分詞 分詞の限定用法/叙述用法 知覚動詞+名詞+分詞 分詞構文	○/◎(△)□限 Lesson15	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson16	
5			○/☆(△)□限 Lesson17	
6			○/☆(△)□限 Lesson18	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現ⅡSaアド	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことを目指していく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	いいずな書店 be English Grammar26
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 関係詞 主格/目的格/所有格 関係代名詞と前置詞 非限定用法/what	○/●(△)□限 Lesson19	○/●(△)
2		○/○(△)□限 関係詞/名詞の後置修飾 関係副詞 非限定用法 複合関係詞	○/●(△)□限 Lesson20	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 比較 原級 比較級 最上級	○/◎(△)□限 Lesson21	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Supplement6	
5			○/☆(△)□限 Lesson22	
6			○/☆(△)□限 Lesson23	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語論理・表現ⅡSbアド	単位数：1単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な英語能力を養うことを目指していく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	いいずな書店 be English Grammar26
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 比較表現/仮定法 原級/比較級を使う表現 仮定法過去 仮定法過去完了	○/●(△)□限 Supplement7	○/●(△)
2		○/○(△)□限 仮定法/構文 ifを省略し倒置を使う仮定法 関係疑問/強調構文 倒置	○/●(△)□限 Lesson24	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 構文/語法 名詞構文 無生物主語 程度や目的を表す構文	○/◎(△)□限 Lesson25	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Supplement8	
5			○/☆(△)□限 Supplement9	
6			○/☆(△)□限 Lesson26	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	コミュニケーション英語III Saアド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の中・長文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 New One World Communication III
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試標準編) ②駿台文庫 システム英単語 (5訂版)
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①SV構造の把握 ②Lesson1～3の内容把握 ③設問	○/●(△)□限 Lesson 1 ①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①文法(名詞・代名詞・that節(名詞節)・関係代名詞・同格)の用法 ②パラグラフ毎の内容把握	○/●(△)□限 Lesson 1 ②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 2 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 2 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 3 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 3 ②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	コミュニケーション英語ⅢS b アド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の中・長文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 New One World Communication III
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試標準編) ②駿台文庫 システム英単語 (5訂版)
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①SV構造の把握 ②Lesson 4～6の内容把握 ③設問	○/●(△)□限 Lesson4①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①文法(名詞・代名詞・that節(名詞節)・関係代名詞・同格)の用法 ②パラグラフ毎の内容把握	○/●(△)□限 Lesson 4 ②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 5 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 5 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 6 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 6 ②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	コミュニケーション英語IIIScアド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の中・長文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 New One World Communication III
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試標準編) ②駿台文庫 システム英単語 (5訂版)
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①SV構造の把握 ②Lesson 7～9の内容把握 ③設問	○/●(△)□限 Lesson 7 ①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①文法(名詞・代名詞・that節(名詞節)・関係代名詞・同格)の用法 ②パラグラフ毎の内容把握	○/●(△)□限 Lesson 7 ②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 8 ①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 8 ②	
5			○/☆(△)□限 Lesson 9 ①	
6			○/☆(△)□限 Lesson 9 ②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	コミュニケーション英語ⅢS d アド	単位数： 1 単位		
指導目標 英語の中・長文を通じて、英文の構造・文法・語彙・熟語を中心に英文の読解力を身につけていくことを目標とする。また、リスニングも取り入れ、英語コミュニケーションでの表現も扱っていくことにより、英語の4技能をバランス良く育成していく。短文・中文は、大学入試で出題された英文を扱っていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	啓林館 New One World Communication III
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	①数研出版 Skillbuilder(入試標準編) ②駿台文庫 システム英単語 (5訂版)
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ①SV構造の把握 ②Lesson10～11の内容把握 ③設問	○/●(△)□限 Lesson10①	○/●(△)
2		○/○(△)□限 ①文法(名詞・代名詞・that節(名詞節)・関係代名詞・同格)の用法 ②パラグラフ毎の内容把握	○/●(△)□限 Lesson10②	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson11①	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson11②	
5			○/☆(△)□限 Lesson12①	
6			○/☆(△)□限 Lesson12②	
単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語表現II Saアド	単位数：1 単位		
指導目標 幅広いジャンルのさまざまな入試長文に取り組むことで、語彙力、文法力だけでなく、英文全体の展開や流れ、背景知識などを身につけることを目標とする。継続的に長文を読むことにより、入試長文に慣れさせる。スクーリングでは、英文の構造や内容が十分理解できるように、基礎項目から詳しく解説する。予習よりも復習に重点を置いて取り組ませる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	New ONE WORLD Expressions II (教育出版)
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	SPOTLIGHT BOOK3 (数研出版)
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 Lesson 4-1 長文読解問題 (不定詞)	○/●(△)□限 Lesson 1-1 長文読解問題 (時制)	○/●(△)
2		○/○(△)□限 Lesson 4-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/●(△)□限 Lesson 1-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 2-1 長文読解問題 (助動詞)	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 2-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
5			○/☆(△)□限 Lesson 3-1 長文読解問題 (受動態)	
6			○/☆(△)□限 Lesson 3-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語表現ⅡSbアド	単位数：1 単位		
指導目標 幅広いジャンルのさまざまな入試長文に取り組むことで、語彙力、文法力だけでなく、英文全体の展開や流れ、背景知識などを身につけることを目標とする。継続的に長文を読むことにより、入試長文に慣れさせる。スクーリングでは、英文の構造や内容が十分理解できるように、基礎項目から詳しく解説する。予習よりも復習に重点を置いて取り組ませる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	New ONE WORLD Expressions II (教育出版)
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	SPOTLIGHT BOOK3 (数研出版)
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 Lesson 8-1 長文読解問題 (比較②)	○/●(△)□限 Lesson 5-1 長文読解問題 (動名詞)	○/●(△)
2		○/○(△)□限 Lesson 8-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/●(△)□限 Lesson 5-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 6-1 長文読解問題 (分詞)	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 6-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
5			○/☆(△)□限 Lesson 7-1 長文読解問題 (比較①)	
6			○/☆(△)□限 Lesson 7-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
外国語	英語演習Saアド	単位数：1単位		
指導目標 幅広いジャンルのさまざまな入試長文に取り組むことで、語彙力、文法力だけでなく、英文全体の展開や流れ、背景知識などを身につけることを目標とする。継続的に長文を読むことにより、入試長文に慣れさせる。スクーリングは演習形式を取り、復習よりも予習に重点を置いて取り組ませる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	New ONE WORLD Expressions II (教育出版)
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	SPOTLIGHT BOOK3 (数研出版)
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 Lesson 12-1 長文読解問題 (仮定法②)	○/●(△)□限 Lesson 9-1 長文読解問題 (関係詞①)	○/●(△)
2		○/○(△)□限 Lesson 12-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/●(△)□限 Lesson 9-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 10-1 長文読解問題 (関係詞②)	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 10-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
5			○/☆(△)□限 Lesson 11-1 長文読解問題 (仮定法①)	
6			○/☆(△)□限 Lesson 11-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語演習Sbアド	単位数： 単位		
指導目標 幅広いジャンルのさまざまな入試長文に取り組むことで、語彙力、文法力だけでなく、英文全体の展開や流れ、背景知識などを身につけることを目標とする。継続的に長文を読むことにより、入試長文に慣れさせる。スクーリングは演習形式を取り、復習よりも予習に重点を置いて取り組ませる。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	New ONE WORLD Expressions II (教育出版)
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	SPOTLIGHT BOOK3 (数研出版)
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 佛教大学入試問題 (適語補充問題・語句整序問題・読解問題)	○/●(△)□限 Lesson 13-1 長文読解問題 (否定)	○/●(△)
2		○/○(△)□限 龍谷大学入試問題 (適語補充問題・語句整序問題・読解問題)	○/●(△)□限 Lesson 13-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 14-1 長文読解問題 (注意すべき構文)	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 14-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
5			○/☆(△)□限 Lesson 15-1 長文読解問題 (名詞・代名詞)	
6			○/☆(△)□限 Lesson 15-2 選択問題・適語補充・語句整序・英作文	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
国語	現代の国語o	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編現代の国語
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめる 言葉と生活1 世界とつながる 		<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめる 	第1回・第2回
2	<ul style="list-style-type: none"> 他者に出会う 視野を広げる 		<ul style="list-style-type: none"> 他者に出会う 	第3回・第4回
3	<ul style="list-style-type: none"> 社会と関わる 言葉と生活2 未来に目を向ける 		<ul style="list-style-type: none"> 言葉と生活 	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	言語文化o	単位数： 2 単位		
指導目標 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編言語文化
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	現代文編	/	・ 詩歌 ・ 小説	第1回・第2回
2	古文編	/	・ 随筆 ・ 物語	第3回・第4回
3	漢文編	/	・ 漢文入門 ・ 故事成語	第5回・第6回
4	/	/	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究ao	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編古典探究
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の世界 ・歌話、歌論を読む ・俳諧に親しむ ・作り物語を読む ・説話に親しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の世界 	第1回・第2回
2	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を味わう ・歴史物語を読む ・歌物語を楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を味わう 	第3回・第4回
3	漢文編Ⅰ部		<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語を楽しむ 	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	現代の国語ahs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編現代の国語
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	東京書籍 新編現代の国語学習課題ノート 第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめる 言葉と生活1 世界とつながる 		<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめる 	第1回・第2回
2	<ul style="list-style-type: none"> 他者に出会う 視野を広げる 		<ul style="list-style-type: none"> 他者に出会う 	第3回・第4回
3	<ul style="list-style-type: none"> 社会と関わる 言葉と生活2 未来に目を向ける 		<ul style="list-style-type: none"> 言葉と生活 	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	言語文化ahs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編言語文化
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	東京書籍 新編言語文化学習課題ノート 第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	現代文編 ・随筆 ・詩歌 ・小説		・詩歌 ・小説	第1回・第2回
2	古文編 ・古文入門 ・随筆 ・詩歌 ・物語 ・紀行		・随筆 ・物語	第3回・第4回
3	漢文編 ・漢文入門 ・漢詩 ・論語 ・史話		・漢文入門 ・故事成語	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語ahs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的似考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編論理国語
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	東京書籍 新編論理国語学習課題ノート 第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	・広がる風景 ・考える手がかり		・対話とは何か ・「ふしぎ」ということ	第1回・第2回
2	・人間と知性 ・現実の中で		・学ぶことと人間の知恵	第3回・第4回
3	・ものの見方 ・働くよるこび		・楽に働くこと、楽しく働くこと	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	論理国語 bhs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的似考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編論理国語
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	東京書籍 新編論理国語学習課題ノート 第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	・時代をひらく ・新しい視点から		・カフェの開店準備	第1回・第2回
2	・科学と人間 ・豊かな認識		・鏡としてのアンドロイド	第3回・第4回
3	・知のゆくえ ・明日をみつめて		・もう一つの知性	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究ahs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編古典探究
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	東京書籍 新編古典探究学習課題ノート 第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の世界 ・歌話、歌論を読む ・俳諧に親しむ ・作り物語を読む ・説話に親しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の世界 	第1回・第2回
2	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を味わう ・歴史物語を読む ・歌物語を楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を味わう 	第3回・第4回
3	漢文編Ⅰ部		<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語を楽しむ 	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	古典探究 bhs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	東京書籍 新編古典探究
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	東京書籍 新編古典探究学習課題ノート 第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	東京書籍 教科書授業インターネット講座
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読む 随筆を味わう 伝承の世界 		<ul style="list-style-type: none"> 随筆を味わう 	第1回・第2回
2	<ul style="list-style-type: none"> 日記を読む 作り物語を味わう 近世文学の世界 		<ul style="list-style-type: none"> 日記を読む 	第3回・第4回
3	漢文編Ⅱ部		<ul style="list-style-type: none"> 作り物語を味わう 	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
国語	国語表現hs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学数支援授業	なし	なし	教科書・学習図書	教育出版 国語表現改訂版（旧課程）
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 1 枚	副教材	第一学習社 新国語便覧
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	メディア視聴教材	教育出版 国語表現DVD
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	・文章表現の基礎 ・声の表現		・コミュニケーションのために ・言葉遊びと創作	第1回・第2回
2	・人とつながる言葉		・話し合いの方法 ・小論文	第3回・第4回
3	・面接 ・プレゼンテーションの方法		・社会に働きかける表現 ・言葉を届ける ・メディア・リテラシー	第5回・第6回
4			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 メディア視聴レポート第1回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S a o	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 数と式 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をする。 ②集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 ③二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 ④不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求める。 (2) データの分析 ①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ②コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 ③具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×1	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	あり	N H K 高校講座	副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	N H K 高校講座 〈数と式〉 ・循環小数 ・式の展開 ・因数分解 ・式の展開と因数分解の応用 ・実数、有理数、無理数 ・ルートの基本計算 ・有理化 ・無理数の近似値 ・1次不等式を解く ・1次方程式不等式の応用 〈データの分析〉 ・平均 ・分散、標準偏差 ・散布図 ・相関係数	/	○/● (△) □限 数と式 データの分析	○/● (△)
				○/◎ (△)
				○/☆ (△)
2	・表計算ソフト ・仮説検定 ・いろいろな統計量		単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S b o	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 二次関数				
①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。				
②二次関数の最大値や最小値を求める。				
③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×1	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	あり	N H K 高校講座	副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	N H K 高校講座 ・関数 ・2次関数の頂点 ・2次関数のグラフをかく ・2次関数の最大値・最小値 ・2次関数のグラフを応用する ・2次方程式を解く ・グラフと2次方程式 ・2次方程式の応用 ・2次不等式 ・2次不等式の応用 ・2次関数を情報機器でかく	/	○/● (△) □限 二次関数とそのグラフ	○/● (△)
				○/◎ (△)
				○/☆ (△)
2			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はメディア視聴、レポート第1回～第3回、 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S c o	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 図形と計量				
①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。				
②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。				
③正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×1	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	あり	N H K 高校講座	副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3 回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	N H K 高校講座 ・鋭角の三角比の定義 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比 ・三角形の面積 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角比と図形の計量 ・三角形の形状 ・立体図形への応用 ・いろいろな高さを測る	/	○/● (△) □限 三角比①	○/● (△)
				○/◎ (△)
				○/☆ (△)
2			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はメディア視聴、レポート第1回～第3回、 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S a h s	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 数と式 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をする。 ②集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 ③二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 ④不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求める。 (2) データの分析 ①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ②コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 ③具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○ (△) □限 ・「数学 I S a」を学習するにあたって ・簡単な無理数の計算 ・集合と命題	○/● (△) □限 数と集合①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・式の展開と因数分解 ・一次不等式	○/● (△) ※限 数と集合②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・データの代表値 ・分散、標準偏差	○/☆ (△) □限 データの散らばり	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・散布図、相関係数 ・仮説検定の考え方	○/☆ (△) ※限 データの相関	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S b h s	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 二次関数				
①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。				
②二次関数の最大値や最小値を求める。				
③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解する。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S b」を学習するにあたって ・関数 ・1次関数のグラフ	○/● (△) □限 二次関数とそのグラフ①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・二次関数のグラフ	○/● (△) ※限 二次関数とそのグラフ②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・二次関数の最大値・最小値	○/☆ (△) □限 二次関数の最大・最小	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・グラフと二次方程式 ・グラフと二次不等式	○/☆ (△) ※限 二次関数と二次方程式、二次不等式	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学 I S c h s	単位数：1単位		
指導目標				
(1) 図形と計量				
①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。				
②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。				
③正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学 I S c」を学習するにあたって ・直角三角形 ・三角比	○/● (△) □限 三角比①	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係	○/● (△) ※限 三角比②	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・鈍角の三角比 ・正弦定理	○/☆ (△) □限 三角形への応用①	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・余弦定理 ・三角形の面積	○/☆ (△) ※限 三角形への応用②	
5		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第3回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
数学	数学II a h s	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1) 複素数と方程式 式の計算、複素数と方程式、式と証明を学習する。 2次方程式の理解を深め、高次方程式が理解でき、解けるようになること。</p> <p>(2) 図形と方程式 点と直線、円を学習する。 直線、円という代表的な図形について方程式で表すことおよび領域について学習する。 解析幾何の発想を学習し、図形の状況を文字式で考え、その式を解き調べるという見方を身につけさせる。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全10回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学II
スクーリング	1単位時間×9	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格回数6回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学II a h s」を学習するにあたって ・式の展開と因数分解 ・二項定理 ・分数式の計算	○/● (△) □限 式の計算	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・複素数 ・2次方程式の解と判別式 ・解と係数の関係	○/● (△) ※限 複素数と方程式	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・多項式のわり算 ・因数定理	○/☆ (△) □限 剰余の定理・因数定理	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・高次方程式	○/☆ (△) ※限 高次方程式	
5		○/◇ (△) □限 ・等式の証明 ・不等式の証明	○/☆ (△) □限 式の証明	
6		○/○ (△) □限 ・直線上の点 ・平面上の点	○/● (△) □限 点について	○/● (△)
7		○/○ (△) ※限 ・直線の方程式 ・2直線の関係	○/● (△) ※限 直線について	○/◎ (△)
8		○/◎ (△) □限 ・円の方程式 ・円と直線	○/☆ (△) □限 円について	○/☆ (△)
9		○/◎ (△) ※限 ・軌跡 ・不等式と領域	○/☆ (△) ※限 軌跡・領域	
10		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～10回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第9回	

教科	科目		担当者	
数学	数学Ⅱ b h s	単位数：2単位		
指導目標 (3) 三角関数 三角関数の基本をもとに、その特長を考え、活用することができるようにする。 (4) 指数関数・対数関数 指数関数・対数関数の基本をもとに、その特長を考え、活用することができるようにする。指導目標 (5) 微分法と積分法 1. 微分法 微分法という方法により関数の値の変化を調べるということを理解させる。 2. 積分法 面積が積分法によって求められることを理解させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全10回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学Ⅱ
スクーリング	1単位時間×9	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格回数6回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ・「数学Ⅱ bhs」を学習するにあたって ・一般角と三角関数 ・三角関数の相互関係 ・三角関数の性質 ・三角関数のグラフ	○/● (△) □限 三角関数	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 ・加法定理 ・いろいろな公式 ・弧度法	○/● (△) ※限 三角関数の応用	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 ・指数の拡張 ・累乗根 ・指数関数のグラフ	○/☆ (△) □限 指数関数	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 ・対数 ・対数の性質		
5		○/◇ (△) □限 ・対数関数のグラフ ・常用対数	○/☆ (△) □限 対数関数	○/● (△)
6		○/○ (△) □限 ・「数学Ⅱ S d」を学習するにあたって ・微分係数 ・導関数 ・接線	○/● (△) □限 微分法の基本	
7		○/○ (△) ※限 ・関数の増減 ・関数の極大値、極小値 ・関数の最大値、最小値	○/● (△) ※限 微分法の応用	○/◎ (△)
8		○/◎ (△) □限 ・不定積分 ・定積分	○/☆ (△) □限 積分法の基本	○/☆ (△)
9		○/◎ (△) ※限 ・定積分と面積		
10		○/◇ (△) □限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～10回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第9回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASao	単位数： 1 単位		
指導目標				
(1)場合の数と確率 (場合の数)				
①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解する。				
②具体的な事象の考察などを通して、順列・いろいろな順列・組合せの意味について理解し、その総数を求める。				
(2)場合の数と確率 (確率)				
①確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、事象の確率を求める。				
②不確定な事象を数量的にとらえ、事象を数学的に考察し処理できるようにする。				
③余事象の意味を理解し、確率の求め方を理解する。				
④独立な試行の確率や反復試行の確率の求め方を理解する。				
⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求める。				
⑥物事を判断する場合に、起こりうる期待を数値で表すことの有意義性を理解し、その値を確率の考えを利用して表す。				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×1	合格時間数： 1 時間以上		
メディア視聴	あり	数研出版 授業解説動画	副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	数研出版 教科書解説動画 (場合の数) ・数え上げの原則 ・順列・組合せ (確率) ・確率とその基本的な法則 * 余事象, 排反, 期待値 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率	/	○/○(△)□限 場合の数と確率	○/○(△) 第1回
				○/○(△) 第2回
				○/○(△) 第3回
2			単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は メディア視聴 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASbo	単位数： 1単位		
指導目標				
(1)図形の性質（平面図形）				
①平面図形の性質についての理解を深め、活用できるようにする。				
②三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
③円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
(2)数学と人間の生活（整数の性質）				
①素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察する。				
②ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、二つの整数の最大公約数を求める。				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×1	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	あり	数研出版 教科書解説動画	副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	数研出版 教科書解説動画 (1)図形の性質 〈平面図形〉 ・ 三角形の性質 ・ 円の性質 (2)数学と人間の活動 〈数量や図形と人間の活動〉 〈遊びの中の数学〉 * ユークリッドの互除法	/	○/○(△)□限 図形の性質	○/○(△) 第1回
				○/○(△) 第2回
				○/○(△) 第3回
2			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第10回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第9回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASahs	単位数： 1単位		
指導目標				
(1)場合の数と確率(場合の数)				
①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解する。				
②具体的な事象の考察などを通して、順列・いろいろな順列・組合せの意味について理解し、その総数を求める。				
(2)場合の数と確率(確率)				
①確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、事象の確率を求める。				
②不確定な事象を数量的にとらえ、事象を数学的に考察し処理できるようにする。				
③余事象の意味を理解し、確率の求め方を理解する。				
④独立な試行の確率や反復試行の確率の求め方を理解する。				
⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求める。				
⑥物事を判断する場合に、起こりうる期待を数値で表すことの有意義性を理解し、その値を確率の考えを利用して表す。				
学数支援授業	あり	授業数：全10回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×8	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ・「数学A」を学習するにあたって ・集合 ・集合の要素の個数 ・和の法則と積の法則	○/○(△)□限 場合の数①	○/○(△) 第1回NO.1
2		○/○(△)□限 ・順列①	○/○(△)□限 場合の数②	○/○(△) 第1回NO.2
3		○/○(△)□限 ・順列② ・組合せ①	○/○(△)□限 場合の数③	○/○(△) 第2回
4		○/○(△)□限 ・組合せ②	○/○(△)□限 場合の数④	○/○(△) 第3回
5		○/○(△)□限 ・総復習	○/○(△)□限 場合の数⑤	
6		○/○(△)□限 ・事象と確率 ・確率の計算①	○/○(△)□限 確率①	
7		○/○(△)□限 ・確率の計算②	○/○(△)□限 確率②	
8		○/○(△)□限 ・独立な試行と確率 ・条件つき確率①	○/○(△)□限 確率③	
9		○/○(△)□限 ・条件つき確率② ・期待値	○/○(△)□限 確率④	
10		○/○(△)□限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第10回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第9回	

教科	科目		担当者	
数学	数学ASbhs	単位数： 1単位		
指導目標				
(1)図形の性質（平面図形）				
①平面図形の性質についての理解を深め、活用できるようにする。				
②三角形に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
③円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明し、具体的に問題が解ける。				
(2)数学と人間の生活（整数の性質）				
①素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察する。				
②ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、二つの整数の最大公約数を求める。				
学数支援授業	あり	授業数：全10回	教科書・学習図書	数研出版 新高校の数学A
スクーリング	1単位時間×8	合格時間数： 1時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格回数 3回		
単位認定試験	あり		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 ・「数学A」を学習するにあたって ・図形の基本①	○/○(△)□限 図形の性質①	○/○(△) 第1回NO.1
2		○/○(△)□限 ・図形の基本② ・角の二等分線と線分の比	○/○(△)□限 図形の性質②	○/○(△) 第1回NO.2
3		○/○(△)□限 ・三角形の外心、内心、重心①	○/○(△)□限 図形の性質③	○/○(△) 第2回
4		○/○(△)□限 ・三角形の外心、内心、重心②	○/○(△)□限 図形の性質③	○/○(△) 第3回
5		○/○(△)□限 ・総復習	○/○(△)□限 図形の性質④	
6		○/○(△)□限 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形	○/○(△)□限 図形の性質⑤	
7		○/○(△)□限 ・円の接線 ・方べきの定理	○/○(△)□限 図形の性質⑥	
8		○/○(△)□限 ・約数と倍数①	○/○(△)□限 数学と人間の活動①	
9		○/○(△)□限 ・約数と倍数② ・ユークリッドの互除法	○/○(△)□限 数学と人間の活動②	
10		○/○(△)□限 ・総復習	単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第10回 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第9回	

教科	科目		担当者	
理科	科学と人間生活(オンライン学習コース)	単位数： 2単位	辻本 雅哉	
指導目標				
自然の事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験(動画)を行うことなどを通して、自然の事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験(動画)などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験(動画)などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 科学と人間生活
スクーリング	1単位時間×8	合格時間数： 8時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 6枚	副教材	なし
レポート	全 6回	合格枚数 6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	・材料とその再利用 1	・メディア視聴 1	○/○ (△) □限 ① ・材料とその再利用 1	▽/▲ (◆)
2	・材料とその再利用 2	・メディア視聴 2	○/○ (△) ※限 ② ・材料とその再利用 2	
3	・微生物とその利用	・メディア視聴 3	○/● (△) □限 ③ ・微生物とその利用 1	
4	・光の性質とその利用 1	・メディア視聴 4	○/● (△) ※限 ④ ・微生物とその利用 2	
5	・光の性質とその利用 2	・メディア視聴 5	○/◎ (△) □限 ⑤ ・光の性質とその利用 1	
6	・自然景観と自然災害	・メディア視聴 6	○/◎ (△) ※限 ⑥ ・光の性質とその利用 2	
7	/	/	○/☆ (△) □限 ⑦ ・自然景観と自然災害 1	
8			○/☆ (△) ※限 ⑧ ・自然景観と自然災害 2	
			単位認定試験： (○/◇ (△) ■限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第6回、 レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第8回	

教科	科目		担当者	
理科	生物基礎(オンライン学習コース)	単位数： 2単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 【生物と遺伝子】生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。 <ア.生物の特徴> (7) 生物の共通性と多様性生物は多様でありながら共通性をもって理解させる。 (4) 細胞とエネルギー生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。 <イ.遺伝子とその働き> (7) 遺伝情報とDNA遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解させる。(4) 遺伝情報の分配DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解させる。(9) 遺伝情報とタンパク質の合成DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解させる。 (2) 【生物の体内環境の維持】生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識させる。 <ア.生物の体内環境> (7) 体内環境が保たれていることを理解させる。(4) 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解させる。(9) 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解させる。 (3) 【生物の多様性と生態系】生物の多様性と生態系について観察、実験などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解させ、その保全の重要性について認識させる。 <ア.種生の多様性と分布> (7) 陸上には様々な種生がみられ、種生は長期的に移り変わっていくことを理解させる。(4) 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解させる。 <イ.生態系とその保全> (7) 生態系と物質循環生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解させる。(4) 生態系のバランスと保全生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 科学と人間生活
スクーリング	1単位時間×8	合格時間数： 8時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 6枚	副教材	なし
レポート	全 6回	合格枚数 6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

教科	科目		担当者	
理科	生物特論Sao (オンライン学習コース)	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標 生物の細胞内および細胞外において機能性分子としての役割を担うタンパク質について、その細胞内外での機能と構造(1次構造から4次構造)とを関連付けて学ぶ。 また、DNAの遺伝情報からタンパク質の1次構造が決定する仕組み(セントラルドグマ)を学と共に、人工的にタンパク質をデザインするための遺伝子組換え技術についても学ぶ。 1. タンパク質とその構造 2. 細胞内外での機能分子としてのタンパク質 3. セントラルドグマ 4. 遺伝子組換え技術とその応用				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 生物
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 4時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 3枚	副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7	/	/		
8				

教科	科目		担当者	
理科	生物特論Sbo (オンライン学習コース)	単位数： 1単位	住田 靖弘	
指導目標				
<p>有性生殖を行う動物(特に棘皮動物と両生類)について、受精卵からの細胞分裂と分化によって個体が発生してゆく過程とその仕組みについて学ぶ。 また、受精に先立つ配偶子の形成の仕組みを減数分裂と関連させながら学び、更に有性生殖において遺伝的多様性が生じる仕組みについても学ぶ。</p> <p>1. 減数分裂と配偶子形成 2. 動物の受精と初期発生 3. 実験発生生物学 4. 有性生殖と遺伝的多様性</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 生物
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数： 4時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 3枚	副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数 3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7	/	/		
8				

教科	科目		担当者	
理科	生物基礎hs	単位数： 2単位	住田 靖弘	
指導目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察等の活動を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 【生物と遺伝子】生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。 <ア.生物の特徴> (7) 生物の共通性と多様性生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解させる。 (4) 細胞とエネルギー生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。 <イ.遺伝子とその働き> (7) 遺伝情報とDNA遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解させる。 (4) 遺伝情報の分配DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解させる。 (9) 遺伝情報とタンパク質の合成DNAの複製に基づいてタンパク質が合成されることを理解させる。 (2) 【生物の体内環境の維持】生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識させる。 <ア.生物の体内環境> (7) 体内環境が保たれていることを理解させる。 (4) 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解させる。 (9) 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解させる。 (3) 【生物の多様性と生態系】生物の多様性と生態系について観察、実験などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解させ、その保全の重要性について認識させる。 <ア.種生の多様性と分布> (7) 陸上には様々な種生がみられ、種生は長期的に移り変わっていくことを理解させる。 (4) 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解させる。 <イ.生態系とその保全> (7) 生態系と物質循環生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解させる。 (4) 生態系のバランスと保全生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識させる。				
学数支援授業	あり	授業数：全6回	教科書・学習図書	数研出版 新編 生物基礎
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数： ?時間以上		
メディア視聴	あり	合格枚数 6枚	副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数 6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 50%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7	/	/		
8				

教科	科目		担当者	
保健体育	保健1	0	単位数：1単位	
指導目標				
<p>・生活習慣病などの予防と回復 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることなどを理解できるようにする。</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることなどを理解できるようにする。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	現代高等保健体育
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全回	合格枚数 4枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		<ul style="list-style-type: none"> 「保健1」を学習するにあたって 生活習慣病の種類と要因 生活習慣病の予防方法 (○月○日)	「生活習慣病の予防と回復」 (○月○日)	レポートNo.1 (□月□日)
2		<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者やその周囲の人に起こる害 喫煙対策 (□月□日)	「喫煙と健康」 (□月□日)	レポートNo.2 (△月△日)
3		<ul style="list-style-type: none"> 飲酒による健康への影響 飲酒対策 (△月△日)	「飲酒と健康」 (△月△日)	レポートNo.3・No.4 (◆月◆日)
4		<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用が及ぼす影響 薬物乱用防止のための対策 (◆月◆日)	「薬物乱用と健康」 (◆月◆日)	
5		<ul style="list-style-type: none"> 総復習 (☆月☆日)	単位認定試験：(☆月☆日※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
保健体育	保健2	単位数：1単位		
指導目標				
<p>・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	現代高等保健体育
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全回	合格枚数 4枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	<ul style="list-style-type: none"> 「保健2」を学習するにあたって 男女の思春期における体の変化 心の発達にかかわって起こる問題 (○月○日)	「思春期と健康」 (○月○日)	レポートNo.1 (□月□日)
2		<ul style="list-style-type: none"> 性意識の男女差について 性情報が性行動の選択に及ぼす影響 (□月□日)	「性意識と性行動の選択」 (□月□日)	レポートNo.2 (△月△日)
3		<ul style="list-style-type: none"> 妊娠と出産の過程における健康問題 母子保健サービス (△月△日)	「妊娠・出産と健康」 (△月△日)	レポートNo.3・No.4 (◆月◆日)
4		<ul style="list-style-type: none"> 家族計画の意義と適切な避妊法 人工妊娠中絶が心身及ぼす影響 (◆月◆日)	「避妊法と人工妊娠中絶」 (◆月◆日)	
5		<ul style="list-style-type: none"> 総復習 (☆月☆日)	単位認定試験：(☆月☆日)※限 試験範囲は 学習支援授業第1回～第5回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
芸術	美術 I hs	単位数： 単位2	谷川 竜次	
指導目標 美術の幅広い創造活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現活動と鑑賞の能力を伸ばす。				
学数支援授業	あり	授業数：全8回	教科書・学習図書	光村図書 美術 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：8時間以上		
メディア視聴	あり	4時間分	副教材	日本文教出版 表現と技法
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		第1回スクーリング オリエンテーション 明暗のスケール	美術I受講上の心得と第1～5回までの内容を説明する。美術実習制作の楽しさを理解させる。 グラデーション演習 明度による色彩基礎 遠近法について	第1回レポート配布 授業最終日まで
2		第2回スクーリング デッサン 植木鉢 前半	目の前にある植木鉢を写真的に形をとらえる。 進学入試での心構えと対策 合格作品の鑑賞 デッサン 鉛筆画 制作	第2回レポート配布 授業最終日まで
3		第3回スクーリング デッサン 植木鉢 後半 色彩基礎演習 基本的な色彩理論	モノトーンの効果を理解しデッサンの技法を修得し平面の紙であるが立体的に表現する。 デッサン 鉛筆画 制作 色彩・配色の基礎知識を身につける。 (色の三要素・三原色・補色・トーンなど) 色彩・配色によるグラデーション	第3回レポート配布 授業最終日まで
4		第4回スクーリング トランスペアレンシー構成 色彩+線の構成	形体が重なることによって新しい形を生み出し色彩によって美しく表現する。 トランスペアレンシー構成 色彩+線の構成からの可能性	第5回/第6回レポート配布 翌週レポート回収

教科	科目		担当者	
芸術	美術 I o	単位数： 単位2	谷川 竜次	
指導目標 美術の幅広い創造活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現活動と鑑賞の能力を伸ばす。				
学数支援授業	あり	授業数：全8回	教科書・学習図書	光村図書 美術 I
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：8時間以上		
メディア視聴	あり	4時間分	副教材	日本文教出版 表現と技法
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚		
単位認定試験	なし		評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		第1回スクーリング オリエンテーション 明暗のスケール	美術Ⅰ受講上の心得と第1～5回までの内容を説明する。美術実習制作の楽しさを理解させる。 グラデーション演習 明度による色彩基礎 遠近法について	第1回レポート配布 授業最終日まで
2		第2回スクーリング デッサン 植木鉢 前半	目の前にある植木鉢を写真的に形をとらえる。 進学入試での心構えと対策 合格作品の鑑賞 デッサン 鉛筆画 制作	第2回レポート配布 授業最終日まで
3		第3回スクーリング デッサン 植木鉢 後半 色彩基礎演習 基本的な色彩理論	モノトーンの効果を理解しデッサンの技法を修得し平面の紙であるが立体的に表現する。 デッサン 鉛筆画 制作 色彩・配色の基礎知識を身につける。 (色の三要素・三原色・補色・トーンなど) 色彩・配色によるグラデーション	第3回レポート配布 授業最終日まで
4		第4回スクーリング トランスペアレンシー構成 色彩＋線の構成	形体が重なることによって新しい形を生み出し色彩によって美しく表現する。 トランスペアレンシー構成 色彩＋線の構成からの可能性	第4回レポート配布 (翌週提出)

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅠ ahs	単位数： 1 単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどをできるだけ理解したり、伝えたりする能力を学習していく。また、英語コミュニケーションⅠの履修へと繋げていくステップとする。 英語コミュニケーションⅠaで扱われる語彙、提携表現、構文などを学習していき、徐々にそれらを用いて、自らの考えを表現したり、相手の意見をできるだけ理解できるような能力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	東京書籍 All Aboard! English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 過去形	○/●(△)□限 Lesson 1 Breakfast around the World	○/●(△)
2		○/○(△)□限 進行形	○/●(△)□限 Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	○/◎(△)
3		○/◇ (△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 3-1 A Train Driver in Sanriku	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 3-2 A Train Driver in Sanriku	
5			○/☆(△)□限 Lesson 3のまとめ	
6			○/☆(△)□限 助動詞	
単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅠbhs	単位数：1 単位		
指導目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどをできるだけ理解したり、伝えたりする能力を学習していく。また、英語コミュニケーションⅠの履修へと繋げていくステップとする。 英語コミュニケーションⅠaで扱われる語彙、提携表現、構文などを学習していき、徐々にそれらを用いて、自らの考えを表現したり、相手の意見をできるだけ理解できるような能力を養う。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	東京書籍 All Aboard! English Communication I
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○(△)□限 不定詞	○/●(△)□限 Lesson 4-1 A Miracle Mirror	○/●(△)
2		○/○(△)□限 動名詞 受け身	○/●(△)□限 Lesson 4-2 A Miracle Mirror	○/◎(△)
3		○/◇(△) ※限 総復習	○/◎(△)□限 Lesson 5-1 Learning from the Sea	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 Lesson 5-2 Learning from the Sea	
5			○/☆(△)□限 Lesson 6-1 A Funny Picture from the Edo Period	
6			○/☆(△)□限 Lesson 6-2 A Funny Picture from the Edo Period	
単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回				

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅡahs	単位数： 1 単位		
指導目標 中学での既習事項を復習しながら、視聴教材を活用して、高校英語での語彙や構文を増やす。同時に、文法事項を深めていき、短文を導入として、徐々に長文読解へと発展させていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	東京書籍 All Aboard! English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)	
1	/	○/○(△)□限 Itを用いた時間の表現	○/●(△)□限 Lesson1 Part1~Part2 Expressions	○/●(△)	
2		○/○(△)□限 because of…などの熟語 関係代名詞whatの用法	○/●(△)□限 step1,2,3, Target ExerciseA,B	○/◎(△)	
3		○/◇ (△) ※限 スクーリングの総復習	○/◎(△)□限 Lesson 2 Part1~Part	○/☆(△)	
4		/		○/◎(△)□限 step1,2,3, Target ExerciseA,B	
5				○/☆(△)□限 Lesson3 Part1~Part2	
6				○/☆(△)□限 step1,2,3, Target ExerciseA,B	
			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回~第3回、 レポート第1回~第3回 スクーリング第1回~第6回		

教科	科目		担当者	
外国語	英語コミュニケーションⅡbhs	単位数：1単位		
指導目標 中学での既習事項を復習しながら、視聴教材を活用して、高校英語での語彙や構文を増やす。同時に、文法事項を深めていき、短文を導入として、徐々に長文読解へと発展させていく。				
学数支援授業	あり	授業数：全3回	教科書・学習図書	東京書籍 All Aboard! English Communication II
スクーリング	1単位時間×6	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	なし		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合70%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	/	○/○(△)□限 動詞の目的語になるIf節	○/●(△)□限 Lesson6Part1～Part2 Expressions	○/●(△)
2		○/○(△)□限 関係副詞の用法 知覚動詞の語法	○/●(△)□限 step1,2,3, Target ExerciseA,B	○/◎(△)
3		○/◇(△)※限 スクーリングの総復習	○/◎(△)□限 Lesson7Part1～Part	○/☆(△)
4			○/◎(△)□限 step1,2,3, Target ExerciseA,B	
5			○/☆(△)□限 Lesson8 Part1～Part2	
6			○/☆(△)□限 step1,2,3, Target ExerciseA,B	
			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第3回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
家庭	家庭基礎 0	単位数：2 単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>				
学数支援授業	あり	授業数：全5回	教科書・学習図書	東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴			副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1		○/○ (△) □限 ■「地理総合」を学習するにあたって ■地球環境問題Ⅰ ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・熱帯林の減少	○/● (△) □限 資源・エネルギー問題Ⅰ ・エネルギー資源の種類 ・エネルギー利用の変遷	○/● (△)
2		○/○ (△) ※限 地球環境問題Ⅱ ・砂漠化 ・生物多様性の喪失 ・国際会議	○/● (△) ※限 資源・エネルギー問題Ⅱ ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎ (△)
3		○/◎ (△) □限 世界の大地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊	○/☆ (△) □限 自然災害と防災Ⅰ ・断層と地震 ・地震の種類と津波	○/☆ (△)
4		○/◎ (△) ※限 日本の地形 ・日本列島の地形 ・日本の河川と海岸	○/☆ (△) ※限 自然災害と防災Ⅱ ・火山と火山災害 ・防災・減災	
5		○/◇ (△) □限 総復習	単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は学習支援授業1回～5回、レポート第1回～第6回、スクーリング第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
商業	ビジネス基礎 h s	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	実教出版 ビジネス基礎
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1				
2				
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
商業	ビジネス・コミュニケーション h s	単位数： 2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
学数支援授業	なし		教科書・学習図書	実教出版 ビジネス・コミュニケーション
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1				
2				
3				
4				
5				

教科	科目		担当者	
地理歴史	地理総合bhs	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>地球に関わる諸事象に関して、現在世界的な課題となっている地球環境問題と資源・エネルギー問題を取り上げる。概念の説明から現状を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けての力を養う。また、人口・食料問題においては世界と日本の対比から日本の現状を説明し、政治的・社会的な背景にも触れる。</p>				
学数支援授業	なし	授業数：全4回	教科書・学習図書	東京書籍 地理総合
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		帝国書院 新詳高等地図
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK高校講座「地理総合」	(メディア視聴)	○/●(△) □限 「地理総合S a h s」を学習するにあたって 地球環境問題 ・地球温暖化 ・プラスチックごみ ・生物多様性の喪失	○/●(△)
2	NHK高校講座「地理総合」	(メディア視聴)	○/●(△) ※限 資源・エネルギー問題 ・エネルギー資源の種類 ・再生可能エネルギー ・日本の発電の変遷	○/◎(△)
3	NHK高校講座「地理総合」	(メディア視聴)	○/☆(△) □限 人口・食料問題 ・世界人口 ・日本の人口問題 ・日本の食料問題	○/☆(△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回～第3回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
地理歴史	地理総合 0	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>地理に関わる諸事象に関して、日本の地形と自然災害の関連を地球の構造を切り口に、双方の特色と因果関係を解説し、防災に向けて主体的な意識と追究の態度を養う。また、世界の気候に関して、地球の構造との関連において気候区分その特色、さらには諸地域の多様な生活文化にも触れ、グローバルな視野の育成を目指す。</p>				
学数支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	東京書籍 地理総合
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		帝国書院 新詳高等地図
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK高校講座「地理総合」	(メディア視聴)	「地理総合0」を学習するにあたって 生活文化と自然環境①地形 ・地球の地形 ・変動帯と安定陸塊 ・日本列島の地形	○/● (△)
2	NHK高校講座「地理総合」	(メディア視聴)	生活文化と自然環境②気候 ・世界の気候と人々の暮らし さまざまな自然災害と防災 ・震災 ・火山災害 ・防災と減災	○/● (△)
3				
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回・第2回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史探究ao	単位数：2単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
(2)「原始・古代」では、旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。				
(3)「中世」では、中世国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	山川出版社 詳説日本史
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「日本史」 第1回原始社会の生活と文化 第2回弥生文化と小国家の形成 第3回大和王権と古墳文化 第4回飛鳥の朝廷と律令国家の形成	(メディア視聴)	○/●(△) □限 「日本史演習ao」を学習するにあたって 日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権 律令国家の形成	○/●(△)
2	NHK 高校講座 「日本史」 第6回平安遷都と律令制の変容 第7回貴族社会と摂関政治	(メディア視聴)	○/●(△) □限 貴族政治の展開	○/◎(△)
3				○/☆(△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第3回、 スクーリング第1回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史探究bo	単位数：2単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
(2)「近世」では、近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	山川出版社 詳説日本史
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「日本史」 第17回鉄砲の伝来 第18回豊臣秀吉の全国統一 第19回江戸幕府と大名・朝廷 第20回キリスト教禁止と鎖国	(メディア視聴)	○/● (△) □限 「日本史演習Sbo」を学習するにあたって 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開①	○/● (△)
2	NHK 高校講座 「日本史」 第21回幕府政治の進展と元禄文化 第22回江戸時代の経済と産業の発達 第23回幕藩体制の動揺と政治改革	(メディア視聴)	○/● (△) □限 「日本史演習Sbo」を学習するにあたって 幕藩体制の成立と展開② 幕藩体制の動揺	○/◎ (△)
3				○/☆ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回、第2回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史演習ahs	単位数：2単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
(2)「原始・古代」では、旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。				
(3)「中世」では、中世国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「日本史」	(メディア視聴)	○/● (△) □限 「日本史演習 b h s を学ぶにあたって」 日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権 律令国家の形成	○/● (△)
2	NHK 高校講座 「日本史」	(メディア視聴)	○/● (△) ※限 貴族政治の展開	○/◎ (△)
3	NHK 高校講座 「日本史」	(メディア視聴)	○/☆ (△) □限 院政と武士の躍進 武家政権の成立	○/☆ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回～第3回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
地理歴史	日本史演習bhs	単位数：2単位		
指導目標				
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
(2)「近世」では、近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全3回	合格枚数3枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「日本史」	(メディア視聴)	○/● (△) □限 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開①	○/● (△)
2	NHK 高校講座 「日本史」	(メディア視聴)	○/● (△) ※限 幕藩体制の成立と展開②	○/◎ (△)
3	NHK 高校講座 「日本史」	(メディア視聴)	○/☆ (△) □限 幕藩体制の動揺①	○/☆ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回～第3回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
地理歴史	歴史総合bhs	単位数：2単位		
指導目標 近現代の歴史において、世界恐慌から第二次世界大戦後の日本占領までを扱う。各事象の意味や意義また特色などを時期や年代、日本内外の歴史的背景などに着目して、論理的かつ効果的に説明することで、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉える力を養う。				
学数支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	第一学習社 新歴史総合
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座「歴史総合」	(メディア視聴)	○/●(△) □限 「歴史総合Sbhsを学ぶにあたって」 経済危機と第二次世界大戦 ・恐慌の嵐が吹き荒れる ・大衆は新たな勢力に期待をかけた ・日本と中国の対立が深まった ・世界は戦争の道を歩みはじめた ・ふたたび世界大戦がはじまった	○/●(△)
2	NHK 高校講座「歴史総合」	(メディア視聴)	○/●(△) ※限 第二次世界大戦後の世界と日本 ・新しい世界秩序が築かれた ・日本連合国に占領された ・冷戦の影響は東アジアにもおよんだ	○/◎(△)
3	NHK 高校講座「歴史総合」	(メディア視聴)	○/☆(△) □限 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ・アジア・アフリカの国々が独立した ・核戦争の危機に世界が恐怖した ・奇跡の高度成長が始まった ・アメリカも中国もゆれ動いた	○/☆(△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇(△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回～第3回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
地理歴史	歴史総合o	単位数： 2単位		
<p>(1)社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(3)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(4)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学数支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	第一学習社 新歴史総合
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「歴史総合」		○/○ (△) □限 ■「歴史総合」を学習するにあたって■ 帝国主義とアジア諸国の変容	○/● (△)
2	NHK 高校講座 「歴史総合」		○/○ (△) □限 ■冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	○/● (△)
3				
4				
5			単位認定試験： (○/◇ (△) ※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 スクーリング第1回・第2回 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
公民	公共b h s	単位数：2 単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に行き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	数研出版 高等学校公共 これからの社会 について考える
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座「公共」	(メディア視聴)	○/● (△) □限 「公共Sbhs」を学習するにあたって 政治に参加する私たち①	○/● (△)
2	NHK 高校講座「公共」	(メディア視聴)	○/● (△) ※限 政治に参加する私たち②	○/◎ (△)
3	NHK 高校講座「公共」	(メディア視聴)	○/☆ (△) □限 経済活動を行う私たち①	○/☆ (△)
4	NHK 高校講座「公共」	(メディア視聴)	○/☆ (△) ※限 経済活動を行う私たち②	
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第3回、 スクーリング第1回～第4回、 メディア視聴第1回～第4回	

教科	科目		担当者	
公民	公共 o	単位数：2単位		
<p>指導目標</p> <p>(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に行き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	数研出版 高等学校公共 これからの社会 について考える
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座「公共」	(メディア視聴)	○/● (△) □限 「公共Sbhs」を学習するにあたって ルールを作り守る私たち	○/● (△)
2	NHK 高校講座「公共」	(メディア視聴)	○/● (△) ※限 政治に参加する私たち	○/◎ (△)
3				
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回・第2回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
公民	公民演習 a h s	単位数：2 単位		
指導目標				
(1) 日本社会の労働事情、課題について理解する。 (2) 労働者としての自覚を深めるための教養を積む。				
学数支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	プリント教材
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座「政治経済」	(メディア視聴)	○/○ (△) □限 ◎労働法の基礎知識 ・労働法成立の背景とその内容理解 ◎労働基準法の基礎内容の理解 ・アルバイトでも適用される労働法	○/○ (△)
2	NHK 高校講座「政治経済」	(メディア視聴)	○/○ (△) □限 ◎求人票の見方 ◎日本の労働事情 ・やがて働く自分の姿をイメージしながら自身の生活を想像する。	○/○ (△)
3	NHK 高校講座「政治経済」	(メディア視聴)	○/○ (△) □限 ◎日本の労働事情 ・「失われた20年」と言われる日本の労働事情	○/○ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回～第3回、 メディア視聴	

教科	科目		担当者	
公民	公民演習 b h s	単位数：2 単位		
指導目標				
(1) 冷戦が世界、アジア、日本社会に与えた影響について考える。 (2) それを踏まえて、今後の日本社会の安全保障を考える。				
学数支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×3	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	プリント教材
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座「政治経済」	(メディア視聴)	○/○ (△) □限 ◎国際社会における日本の役割 ・戦後外交の歩み ・東アジアの国際環境と日本外交の課題	○/○ (△)
2	NHK 高校講座「政治経済」	(メディア視聴)	○/○ (△) □限 ◎日本の平和主義と自衛隊 ・憲法9条と自衛隊 ・文民統制 ・冷戦と自衛隊の増強	○/○ (△)
3	NHK 高校講座「政治経済」	(メディア視聴)	○/○ (△) □限 ◎日米安保と日本の安全保障 ・日米安保の改訂と再定義 ・日米安保の課題と東アジア	○/○ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲は レポート第1回～第6回 スクーリング第1回～第3回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	公民演習ao	単位数：2単位		
指導目標				
(1)近現代の思想および社会問題などを通じて、様々な倫理観や観念形態に関する知識を追究したり理解し、一人の人間として広い視野に立ち、グローバル化する国際社会の中で主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。				
(2)諸資料から倫理に関する様々な課題を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「倫理」 ～本来の自己を求めて～	(メディア視聴)	○/● (△) □限 自分とは何か なぜ人は生きるのか	○/● (△)
2			○/◎ (△) 自己の存在を見つめる	○/◎ (△)
3				○/☆ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回、第2回	

教科	科目		担当者	
地理歴史	公民演習bo	単位数：2単位		
指導目標				
(1)三大宗教および民族宗教などを通じて、様々な倫理観や観念形態に関する知識を追究したり理解し、一人の人間として広い視野に立ち、多様性にあふれた情報化社会の中で主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
(2)諸資料から宗教に関する様々な課題を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×2	合格時間数：2時間以上		
メディア視聴	あり		副教材	なし
レポート	全6回	合格枚数6枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	NHK 高校講座 「倫理」 ～日本人の宗教観と倫理観～	(メディア視聴)	○/● (△) □限 宗教とは何か 愛とは何か	○/● (△)
2			○/◎ (△) 日本人の倫理観	○/◎ (△)
3				○/☆ (△)
4				
5			単位認定試験：(○/◇ (△) ※限) 試験範囲はレポート第1回～第6回、 スクーリング第1回、第2回	

教科	科目		担当者	
情報	情報 I hs	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)情報とICTを活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3)情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	情報 I step Forward! 東京書籍
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	全 4 回	合格枚数 2 枚	副教材	なし
レポート	全 4 回	合格枚数 4 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	情報とメディア	第1章 情報社会 ・情報とその特徴 ・メディアとその特徴 ・問題を解決する方法	情報社会の問題解決	
2	どこまで信じる？ネット情報	・知的財産 ・個人情報 ・情報セキュリティ ・情報モラルと個人の責任	情報社会の光と影	
3	デジタルとアナログ	第2章 情報デザイン ・情報のデジタル化 ・数値の表現	情報のデジタル表現①	
4	デジタルデータの特徴	・音のデジタル表現 ・画像のデジタル表現 ・動画のデジタル表現 ・データの圧縮	情報のデジタル表現②	
5	/	/		
6				
			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
情報	情報 I o	単位数： 2 単位		
指導目標				
(1)情報とICTを活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3)情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を深める。				
学数支援授業	あり	授業数：全4回	教科書・学習図書	情報 I step Forward! 東京書籍
スクーリング	1単位時間×4	合格時間数：4時間以上		
メディア視聴	全 4 回	合格枚数 2 枚	副教材	なし
レポート	全 4 回	合格枚数 4 枚		
単位認定試験	あり	単位認定試験 評価割合60%以上	評定	5段階評価

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	情報とメディア	第1章 情報社会 ・情報とその特徴 ・メディアとその特徴 ・問題を解決する方法	情報社会の問題解決	
2	どこまで信じる？ネット情報	・知的財産 ・個人情報 ・情報セキュリティ ・情報モラルと個人の責任	情報社会の光と影	
3	デジタルとアナログ	第2章 情報デザイン ・情報のデジタル化 ・数値の表現	情報のデジタル表現①	
4	デジタルデータの特徴	・音のデジタル表現 ・画像のデジタル表現 ・動画のデジタル表現 ・データの圧縮	情報のデジタル表現②	
5	/	/		
6				
			単位認定試験：(○/◇(△)※限) 試験範囲は 学習支援授業第1回～第3回、 レポート第1回～第4回 スクーリング第1回～第6回	

教科	科目		担当者	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間Sao	単位数：1単位		
指導目標				
(1)コミュニケーションの方法や課題を具体的に理解し、将来の人間関係が円滑にできる社会人としての資質を高める。				
(2)対話技法の傾聴を通じて、相手や周囲の考え方や気持ちを賢察することで、自己と他者の適度な距離感覚を理解する。				
学習支援授業	(メディア視聴)	(メディア視聴)	教科書・学習図書	なし
スクーリング	1単位時間×1	合格時間数：1時間以上		
メディア視聴			副教材	配布プリント
レポート	全2回	合格枚数2枚		
単位認定試験	なし	単位認定試験 評価割合 %以上	評定	単位認定のみ

回	メディア視聴	学習支援授業 (単元・学習内容)	スクーリング (学習内容)	レポート (締切期日)
1	本校で作成した動画 「コミュニケーションスキルを 高めよう」	(メディア視聴)	○/●(△) □限 傾聴とは 会話の方法	○/●(△)
2				○/◎(△)
3				
4				
5				